

草津市における買物弱者の実態に関する
調査研究報告書

2026(令和8)年3月

草津市 草津未来研究所

要旨

本市は現在も人口が増加し、高齢化率は全国と比較しても低水準であるが、今後高齢者の増加や高齢化率の上昇に伴い、日常の買い物に支障をきたす高齢者が増加することが懸念される。

本調査研究においては、草津市における買物弱者の実態を把握するため、草津市の買い物を取り巻く現在の状況を整理したうえで、65歳以上の要介護1～5の認定を受けていない市民2,000人を対象に、三段階(性別・5歳区切りの年齢区分・学区)による無作為抽出を行い、アンケート調査を実施した。調査に当たっては、回答者の包括的な食料品アクセス状況、主観的幸福感、フレイル度を測るため、「包括的食料品アクセス指標」「改訂版PCGモラル・スケール(以下、「モラルスケール」という。)」 「イレブンチェック」を用いて調査票を作成した。

アンケート調査の結果、1,295件(回答率64.8%)の回答が得られた。今回の調査は、今後の政策提案を見据え、買物弱者の実態を把握することを目的と位置付けており、分析については日常生活圏域ごとに地域特性をみることを主旨とした。

結果として、食料品アクセスについては、駅を中心とした市街地を要する地域は「買い物しやすい環境」が良好で困難度は低い傾向が見られた。いずれの地域においても食料品アクセス指標とモラルスケールに正の相関、食料品アクセス指標とイレブンチェックに負の相関、モラルスケールとイレブンチェックに負の相関もしくはその傾向が示唆された。一部、特徴的な結果を示す地域も存在した。また、市民意識調査との比較で、本調査と同傾向が見られた部分も確認できた。

本調査結果は、今後の地域特性に応じた買物支援施策の検討に資する基礎資料となる。今回の調査研究は地域特性の分析に留まるが、引き続き、立命館大学との共同研究として詳細な分析を実施し、政策提案につなげていく予定である。

目次

はじめに	1
第1章 買物弱者問題の概要	2
1 買物弱者の定義と類似概念	2
2 買物弱者問題の背景要因と発生機序	4
3 買物弱者問題から派生する課題	6
4 国における買物弱者対策に資する取組	8
5 支援策の類型	8
第2章 草津市における現状と取組	10
1 高齢者人口等の推移・推計	10
2 買物を取り巻く環境	14
3 買物弱者対策に資する取組	18
第3章 草津市における買物弱者の実態	22
1 草津市における買物環境に関する実態調査	22
2 分析	24
3 その他調査との比較	38
第4章 地域特性	45
1 地域における状況	45
2 まとめ	48
おわりに	49
関係者一覧	50
参考文献	51

参考資料..... 53

はじめに

2023(令和 5)年度に内閣府が行った「高齢社会対策総合調査(高齢者の住宅と生活環境に関する調査)」では、「日常の買い物に不便を感じる」と回答した 65 歳以上の高齢者は 23.9%にのぼった。本市においては、今なお京阪神のベッドタウンとして人口が増加しているが、今後は高齢者人口の増加や高齢化率の上昇が想定され、買物弱者問題はより身近な課題となることが考えられる。加えて、買物が困難になることは、単に栄養が不足し健康状態が悪化することに留まらず、引きこもりがちになり社会的なつながりが低下するなど、間接的に他の問題を引き起こし、主観的幸福感を低下させることも危惧される。

本調査研究は、今後の地域特性に応じた買物支援施策を提案するための基礎調査として、本市の高齢者における買物弱者の実態を明らかにする。なお、「買物」「買い物」の表記については、引用する文献等の表記をそのまま使用する。

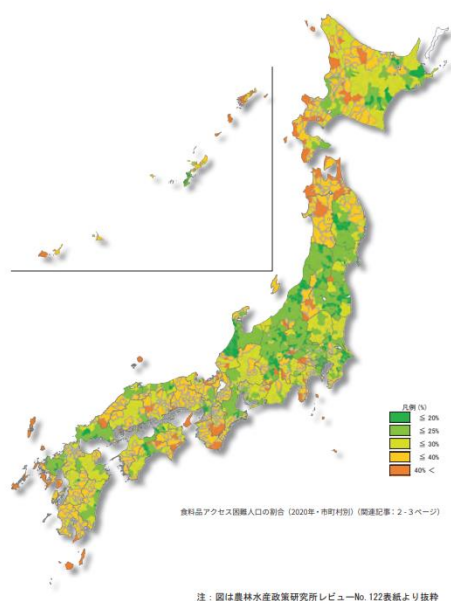
第1章 買物弱者問題の概要

1 買物弱者の定義と類似概念

2008(平成20)年、「買物難民」という用語を用い、日々の買物に困難を来す人々の出現が示されたのは、『買物難民—もうひとつの高齢者問題』¹においてである。この「買物難民」という用語は、新聞、雑誌等のメディアで報じられることで、広く認知されるようになった。

2010(平成22)年には、経済産業省が、流通機能や交通網の弱体化とともに、食料品等の日常の買物が困難な状況に置かれている人々を「買物弱者」とし、600万人程度存在するとの推計を報告した(経済産業省 2010)。農林水産省では、高齢化や単身世帯の増加、地元小売業の廃業、既存商店街の衰退等により、過疎地域のみならず都市部においても、高齢者等を中心に食料品の購入や飲食に不便や苦勞を感じる方を「買物困難者」として、食品アクセス問題を社会的課題と捉えている。

農林水産政策研究所では、地域メッシュ統計と店舗の所在地が分かる情報から、食料品アクセス問題がどこでどの程度発生しているのか、地理的視点で把握しようとしている(図1-1)。店舗まで500m以上かつ自動車利用が困難な65歳以上の高齢者を「食料品アクセス困難人口」と定め、2020(令和2)年において全国で904万人存在すると推計している。



出所 農林水産政策研究所

図1-1 食料品アクセス困難人口の割合
(2020(令和2)年・市町村別)

¹ 杉田聡(2008)『買物難民—もうひとつの高齢者問題』大月書店。

「フードデザート」は、何らかの生活環境の悪化により、地域住民が健康的な食生活を営むことが困難となった地域を指すが、国や地域によって性質が大きく異なる。日本におけるフードデザートは、①社会的弱者(高齢者、低所得者など)が集住し、②買い物利便性の悪化(買い物先の減少：食料品アクセスの低下)と、家族・地域コミュニティの希薄化(相互扶助の減少：ソーシャルキャピタル²の低下)のいずれか、あるいは両方が生じた地域とされる(公益財団法人長寿科学振興財団 2024)。食生活の悪化に伴う健康被害を、空間的要因と社会的要因から捉えるものであるといえる。

以上のように、買物弱者問題は様々な視点から捉えられ定義づけされている(表 1-1)が、法的な定義や一般的合意が存在するわけではない。「買物難民」は広く周知された用語であるものの、UNHCR³によると「難民」の定義は、「人種、宗教、国籍、政治的意見または特定の社会集団に属するという理由で、自国にいと迫害を受けるおそれがあるため他国に逃れ、国際的保護を必要とする人々」とされるため、本調査研究においては、経済産業省による「買物弱者」の呼称を用いて買物弱者問題を概観し、第3章で包括的食料品アクセス評価指標⁴により本市における食料品アクセス状況を包括的にアセスメントすることを試みる。

表 1-1 用語比較

用語	買物弱者	買物困難者	食料品アクセス困難人口	フードデザート
定義	流通機能や交通網の弱体化とともに、食料品等の日常が買物が困難な状況に置かれている人々	高齢者等を中心に食料品の購入や飲食に不便や苦勞を感じる方	店舗まで500m以上かつ自動車利用が困難な65歳以上の高齢者	①社会的弱者が集積し、②買い物利便性の悪化と、家族・地域コミュニティの希薄化のいずれかあるいは両方が生じた地域
主体	経済産業省	農林水産省	農林水産政策研究所	岩間信之

出所 草津未来研究所作成

² 人々の協調行動を活発にすることによって社会の効率性を高めることのできる、「信頼」「規範」「ネットワーク」といった社会組織の特徴(パットナム(1993)『Making Democracy Work』)。

³ 国連難民高等弁務官事務所(United Nations High Commissioner for Refugees)の略称。難民や国内避難民、無国籍者などを支援する国際機関で、1950(昭和25)年に設立され、国連の一部門として活動している。

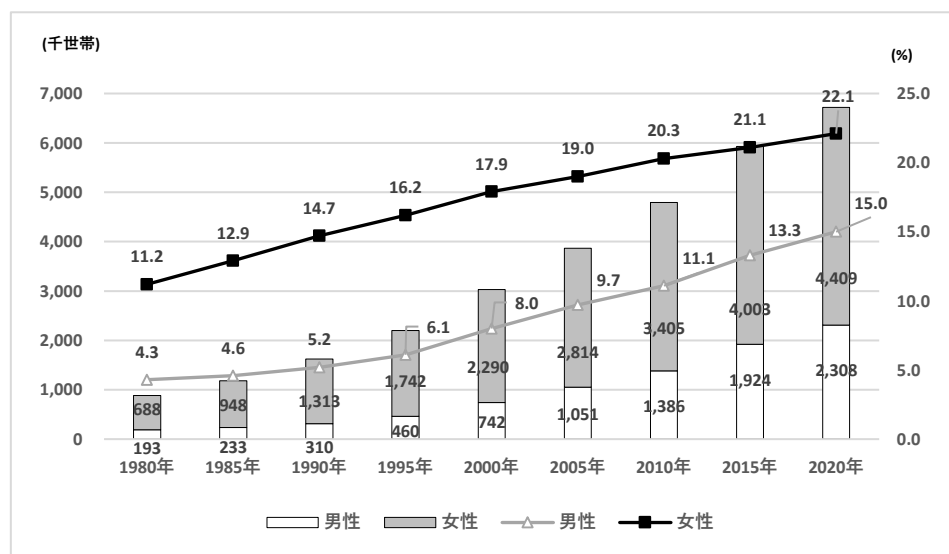
⁴ 飯坂真司ほか(2021)『厚生指針』第68巻第3号。

2 買物弱者問題の背景要因と発生機序

全国 1,741 市町村⁵を対象にしたアンケート調査⁶によると、都市規模に関わらず、食品の買物が不便・困難な住民に対し何らかの対策が必要だとする背景として、「住民の高齢化」が最も多く挙げられている。

社人研⁷によると、第二次ベビーブーム期に誕生した「団塊ジュニア世代」が 65 歳以上になる 2040(令和 22)年には、高齢化率は 34.8%に、2070(令和 52)年には 38.7%に到達すると推計される。

高齢者の中でも高齢世帯や高齢者の単独世帯は、家族からのサポートが得られず、買物に困難を抱える可能性が高いと考えられる。特に高齢者の単独世帯は男女ともに年々増加傾向にあり、2020(令和 2)年の国勢調査では、人口に占める割合が男性 15.0%、女性 22.1%となり、65 歳以上の男性の 7 人に 1 人、女性の 5 人に 1 人が一人暮らしである(図 1-2)。高齢化の進行、一人暮らしの高齢者の増加に伴い、今後、買物弱者問題が全国的に深刻化することが危惧される。



出所 国勢調査

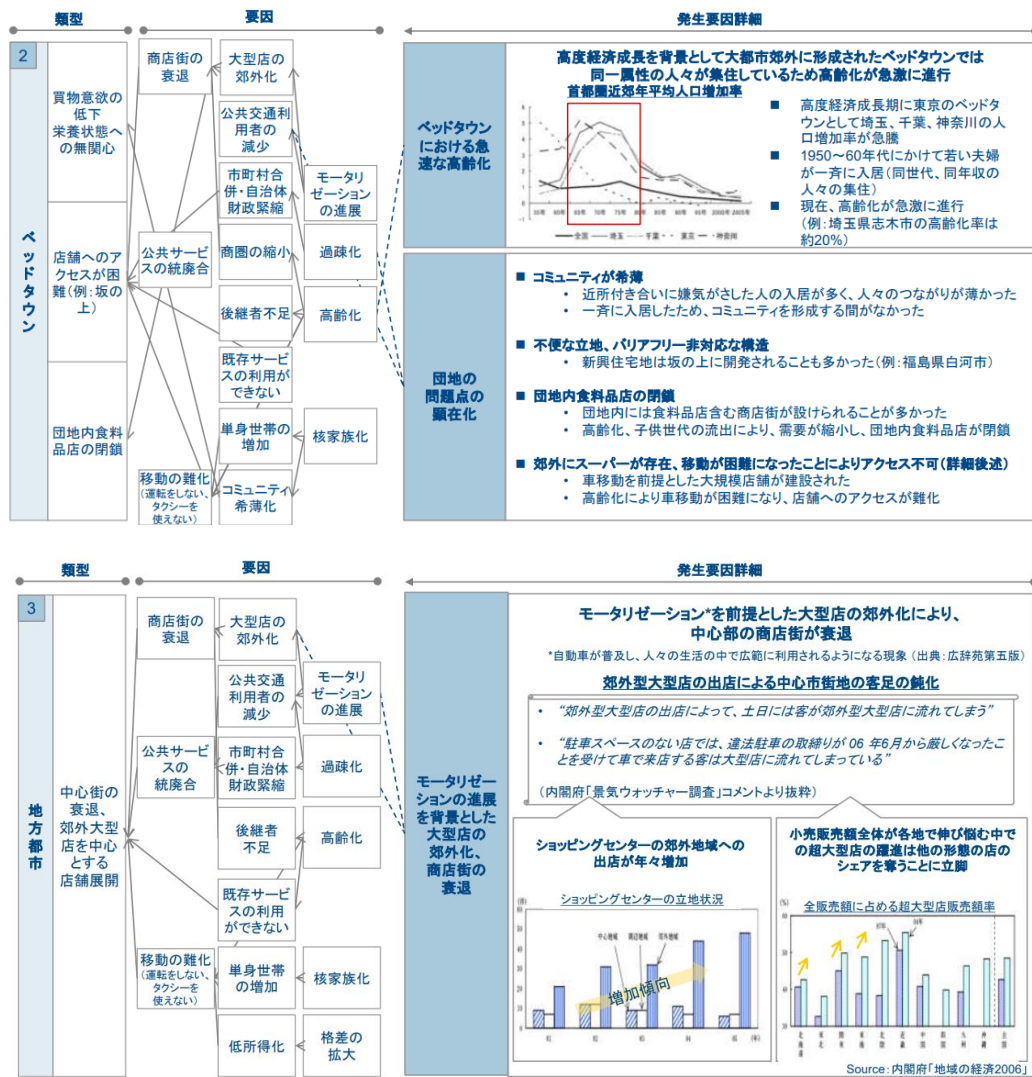
図 1-2 65 歳以上単独世帯の推移

⁵ 東京都特別区を含む。

⁶ 農林水産省「食品アクセス問題(買物困難者)に関する全国市町村アンケート調査(令和 7 年 3 月)」。

⁷ 国立社会保障・人口問題研究所。

経済産業省では、先行研究を踏まえ、買物弱者の発生要因の観点から、「大都市」「ベッドタウン」「地方都市」「農村・山間部」の四つの地域に類型化が行われている(図1-3)。これは、買物弱者問題は地域によってそのメカニズムが異なるため、地域ごとに発生要因と展望の検討がなされているものである。



出所 経済産業省

図1-3 各地域類型における買物弱者問題の発生要因

この類型に草津市を照らし合わせてみると、「ベッドタウン」「地方都市」の要素が混在する。まず、都市の規模としては、大都市郊外圏に存在しベッドタウンとして機能する「ベッドタウン」に該当する。ベッドタウンでは、高齢化やこども世代の流出を背景として不便な立地に位置する等の団地の問題点が顕在化し、買物弱者が発生していると

される。本市においても、昭和 40 年代から 50 年代に開発が行われた若草⁸や桜ヶ丘⁹では、高齢化率が 50%を超える町もあり、住民の高齢化が進んでいる(表 1-2)。いずれの地域も丘陵地にあることから、住民の高齢化により車での移動が困難になると、平坦な住宅地よりも店舗へのアクセスの困難さは増す。また、本市では中心街が衰退し、郊外に大型店が存在するとされる「地方都市」の要素もあると考えられる。モータリゼーションの進展を背景とした大型店の郊外化は、イオンモール草津¹⁰の出店に代表される。

表 1-2 若草・桜ヶ丘の高齢化率

町名	人口(人)	うち、65歳以上人口(人)	高齢化率(%)	平均年齢	世帯数
若草一丁目	292	145	49.7	55	152
若草二丁目	282	129	45.7	53	121
若草三丁目	241	140	58.1	59	110
若草四丁目	256	126	49.2	55	118
若草五丁目	222	114	51.4	56	96
若草六丁目	318	186	58.5	60	160
若草七丁目	249	114	45.8	52	108
若草八丁目	218	100	45.9	53	100
桜ヶ丘一丁目	484	183	37.8	52	218
桜ヶ丘二丁目	211	103	48.8	55	93
桜ヶ丘三丁目	387	194	50.1	57	182
桜ヶ丘四丁目	498	249	50.0	56	222
桜ヶ丘五丁目	222	98	44.1	55	96

令和7年3月31日現在(住民基本台帳登録人口)

出所 草津未来研究所作成

3 買物弱者問題から派生する課題

経済産業省では、買物弱者問題から生じる波及課題についても取りまとめが行われている(図 1-4)。買物弱者問題は都市の抱える問題の入り口であるとし、その影響を受けるとされる項目を、個人もしくは地域社会に分類し、更に個人を精神と身体に、地域社会をハードとソフトに分類して整理が行われている。

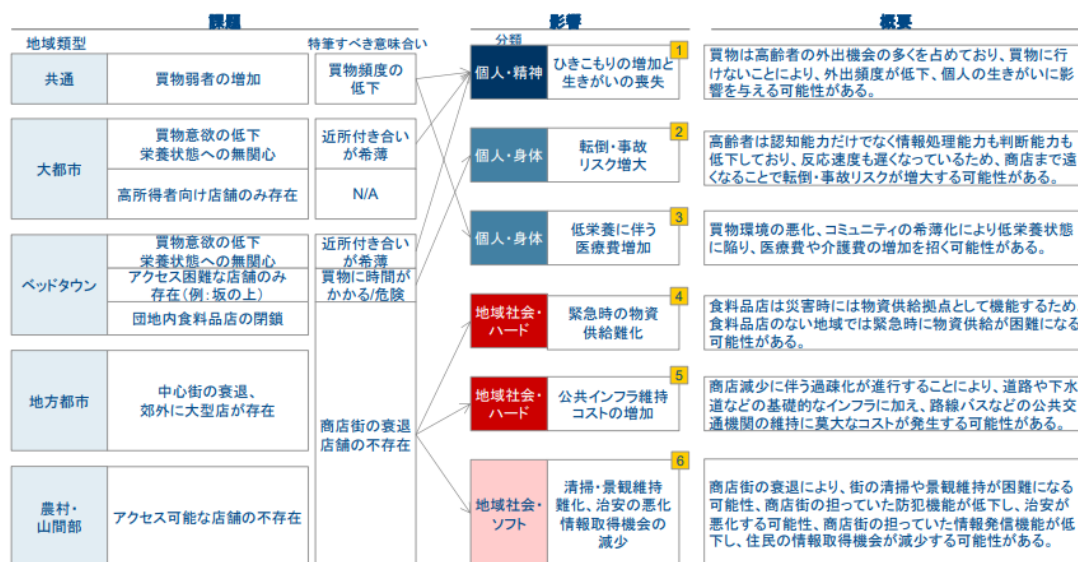
具体的には、買物弱者問題から派生する影響として、①引きこもりの増加と生きがいの喪失(個人・精神)、②転倒・事故リスク増大(個人・身体)、③低栄養に伴う医療費増加(個人・身体)、④緊急時の物資共有難化(地域社会・ハード)、⑤公共インフラ維持コ

⁸ びわこ文化公園都市構想区域内の宅地で、1980 年代に開発された。立命館大学びわこ・くさつキャンパスに隣接している。

⁹ 企業誘致により工業ゾーンと住宅ゾーンが計画され、住宅ゾーンは 1970 年代に開発、分譲された。工業ゾーンに建設されたパナソニック株式会社に隣接している。

¹⁰ 2008(平成 20)年に新浜町 300 に開業した商業施設。敷地面積約 165,000 m²、延床面積約 177,000 m²、駐車台数約 4,400 台。イオンモールホームページ <<https://www.aeonmall.com/facility/detail/3312/>>(2025.8.8 閲覧)。

ストの増加(地域社会・ハード)、⑥清掃・景観維持難化、治安の悪化、情報取得機会の減少(地域社会・ソフト)の六つの視点が挙げられている。



出所 経済産業省

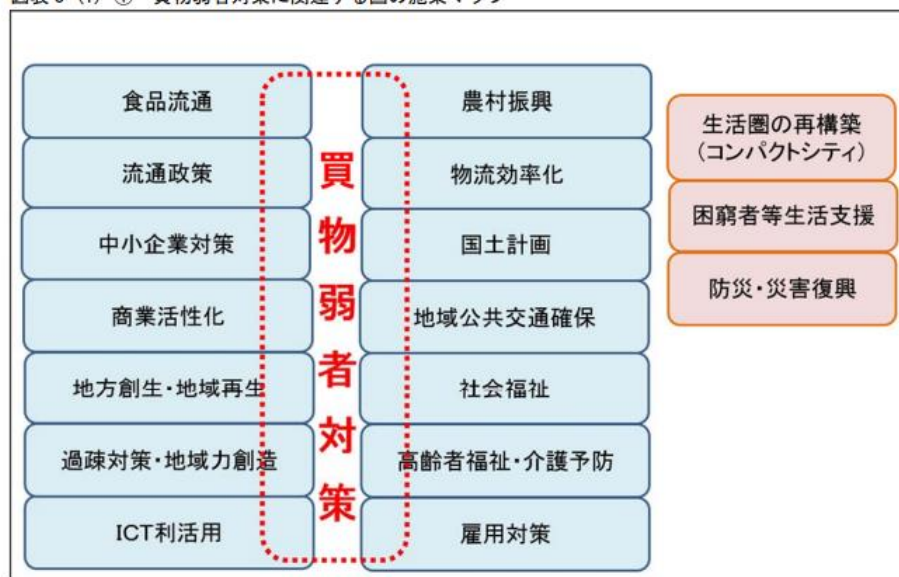
図 1-4 買物弱者問題から生じる波及課題

①引きこもりの増加と生きがいの喪失については、買物は外出機会の多くを占め、買物に行けないことによる外出頻度の低下は、引きこもり状態や生きがい喪失を招く可能性がある。買物は自己実現や生きがいに直結し、食物の摂取以上の意味合いがあるとしている。②転倒・事故リスク増大は、高齢者は認知機能だけでなく情報処理能力、判断能力も低下しており、反応速度も遅くなっているため、商店まで遠くなることで転倒・事故リスクが増大する可能性がある。③低栄養に伴う医療費増加については、買物環境の悪化、コミュニティの希薄化により低栄養状態の陥り、医療費や介護費の増加を招く可能性がある。④緊急時の物資共有難化は、食料品店は災害時には物資供給拠点となり、近くに食料品店が存在しない場合、緊急時の物資供給が困難になる可能性が考えられる。⑤公共インフラ維持コストの増加については、社会資本に関して従来どおりの維持管理・更新をした場合、公共インフラを維持するコストは莫大なものとなる。⑥清掃・景観維持難化、治安の悪化、情報取得機会の減少については、商店街の衰退により、街並みや景観の維持が困難となる、治安が悪化するなどの影響が生じる可能性を示している。

4 国における買物弱者対策に資する取組

総務省では、買物弱者対策の実態を明らかにするとともに、持続的かつ効果的な対策を促進する観点から、国および地方公共団体における買物弱者対策に資する事業の実施状況や、事業者における買物弱者対策の取組状況等を調査する「買物弱者に関する実態調査」を行った。その結果、国において買物弱者対策を中心となって取りまとめている府省は存在せず、内閣府、経済産業省、農林水産省、国土交通省、厚生労働省などの関係府省において、所管行政として推進している施策が、結果的に買物弱者対策に資するものとなっていることに留まる(図 1-5)。政策領域も、流通、中小企業対策、地方創生、公共交通、高齢者福祉など、多様な分野にまたがっている。また、各府省で実施する調査や報告においても、頻回に実施されているものばかりでないため、最新のデータを「買物弱者」の視点で収集することも困難な状況にある。

図表 3-(1)-① 買物弱者対策に関連する国の施策マップ



(注) 当省の調査結果による。

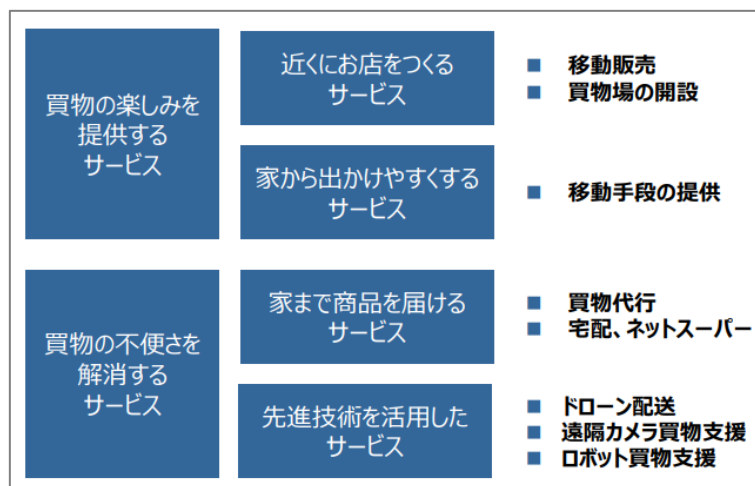
出所 総務省

図 1-5 買物弱者対策に関連する国の施策マップ

5 支援策の類型

買物弱者に対する支援策については、全国で様々な取組が行われているが、経済産業省発行の「買物弱者事業者事例集」では、「買物の楽しみを提供するサービス」および

「買物の不便さを解消するサービス」の大きく二つに分類した上で、事業形態ごとに取り組事例を紹介し、その事業の成功ポイント、今後の取組課題などを明らかにしている(図1-6)。



出所 経済産業省

図 1-6 買物弱者に対する事業形態の整理

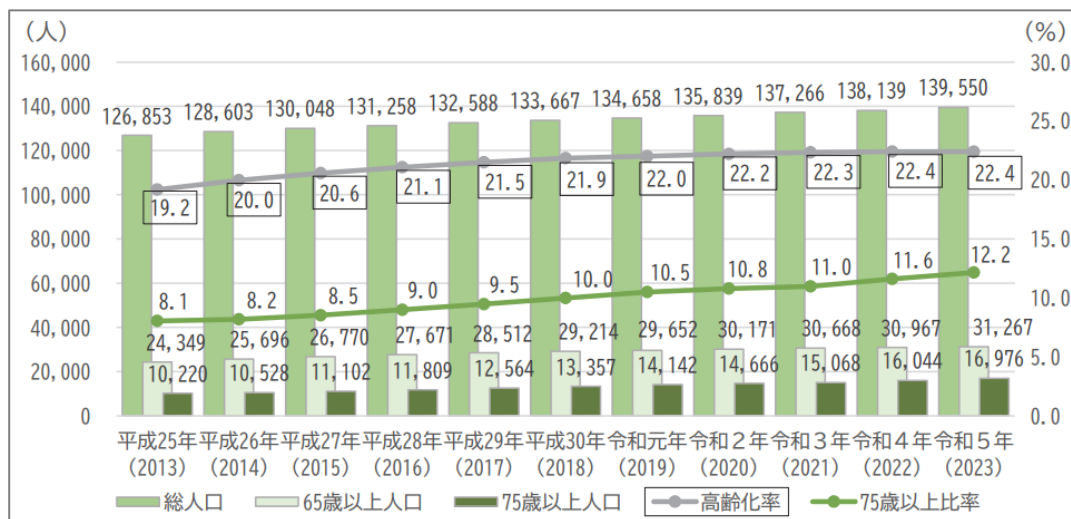
事業を拡大、継続していくポイントとして、例えば、移動販売事業においては、見込み客が利用しやすいルート組みを行うことで、事前に集客数、売上見込みを推計でき、赤字ルートとならない可能性が高いことや、買物代行においては、代行スタッフの拘束時間をベースにした料金体系では料金が高くなるため、代行スタッフの拘束時間を短縮する必要があることなどが挙げられている。このように、既に取り組が進められている先行事例から、事業上の想定される課題や事業継続のポイントが整理されており、本市で具体的に施策を検討し実施していくに当たっては参考にすることができる。

第2章 草津市における現状と取組

1 高齢者人口等の推移・推計

(1) 高齢者人口、高齢化率の推移

全国的に人口減少が叫ばれる中、草津市の人口は増加し続けており、住民基本台帳における2023(令和5)年の人口は139,550人となっている。65歳以上の高齢者人口についても同様に増加の一途を辿り、同時点で31,267人、高齢化率は22.4%で緩やかに増加している(図2-1)。

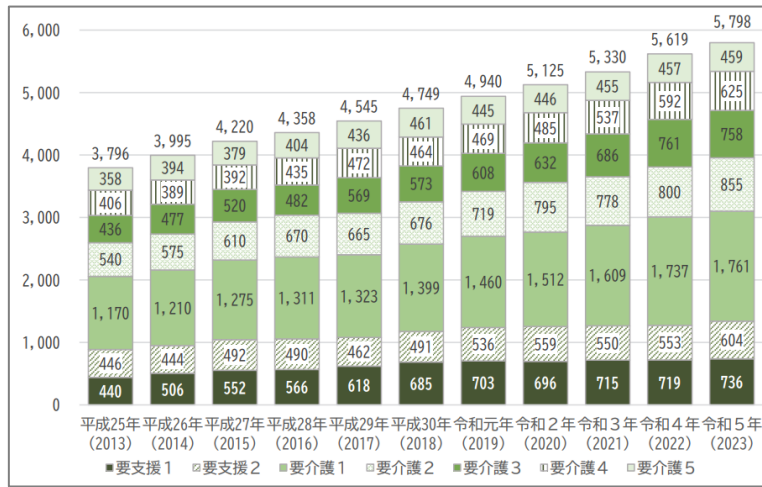


出所 草津あんしんいきいきプラン第9期計画

図2-1 高齢者人口・高齢化率の推移(住民基本台帳人口)

(2) 要支援・要介護認定者数の推移

要支援・要介護認定者数についても増加傾向で推移している。2023(令和5)年の認定者数は5,798人で、2013(平成25)年の3,796人から2,000人以上増加している。内訳は、要支援認定者(要支援1、2)が1,340人、要介護認定者(要介護1~5)が4,458人となっており、割合としては要介護1の1,761人が最も多く、次に要介護2の855人と続く(図2-2)。

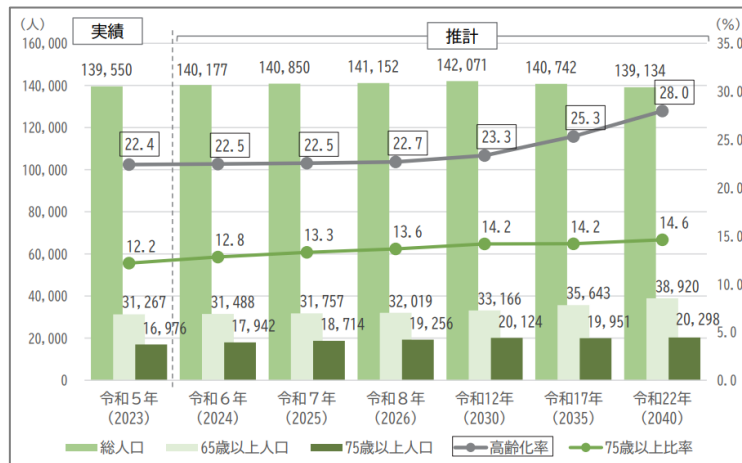


出所 草津あんしんいきいきプラン第9期計画

図 2-2 要支援・要介護認定者

(3) 高齢者人口、高齢化率の推計

草津あんしんいきいきプラン第9期計画における推計によると、総人口は2030(令和12)年の142,071人でピークを迎える¹¹が、65歳以上の高齢者数、高齢化率はいずれも増加し続け、2040(令和22)年には38,920人、高齢化率28.0%となると想定されている(図2-3)。



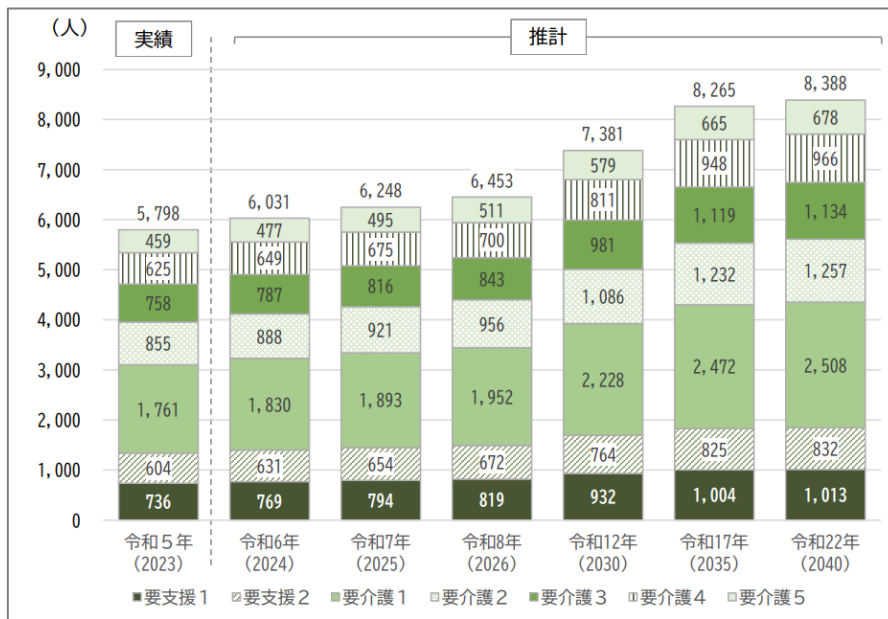
出所 草津あんしんいきいきプラン第9期計画

図 2-3 高齢者人口の将来推計 (住民基本台帳人口)

¹¹ 住民基本台帳登録人口を基に推計されている。なお、国勢調査人口を基に推計された第6次草津市総合計画における人口のピークは2030(令和12)年の147,000人であるが、社人研では2035(令和17)年の149,947人がピークと推計されている。

(4) 要支援・要介護認定者数の推計

草津あんしんいきいきプラン第9期計画によると、要支援・要介護認定者の推計についても増加が続くと見込まれている。2040(令和22)年には、認定者数が8,388人に昇ることが想定されており、これは2023(令和5)年度の1.44倍となる(図2-4)。

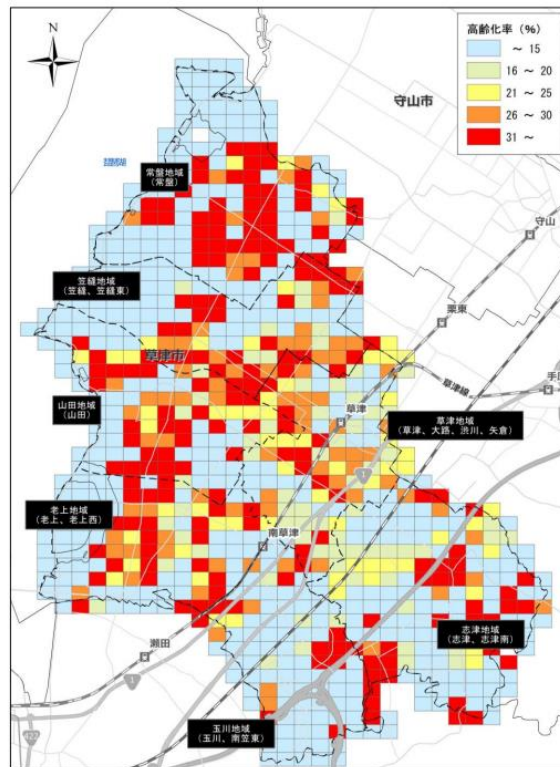


出所 草津あんしんいきいきプラン第9期計画

図2-4 要支援・要介護認定者数の将来推計

(5) 高齢者人口の分布

草津市地域公共交通計画(令和6年5月)によると、2020(令和2)年国勢調査における草津市の65歳以上の高齢化率が図示されている。高齢化率が30%を超える地域は市内の各地域に散らばっているものの、湖岸に近いエリアである常盤学区や山田学区で高齢化率が高いことが見て取れる(図2-5)。



出所 草津市地域公共交通計画

図 2-5 草津市の高齢化率の分布

(6) 運転免許保有者数・自主返納者数

草津市の自動車運転免許保有者数は、近年では毎年 600 人から 1,300 人程度増加しており、65 歳以上の高齢者においても、同様に増加傾向にある。一方で、草津市の運転免許証の自主返納者数をみると、毎年 400 人から 500 人前後の返納があり、年齢が高くなるにつれて返納者数が増加し、2024(令和 6)年においては、返納者の約 68%を 75 歳以上の高齢者が占めている(図 2-6、2-7)。

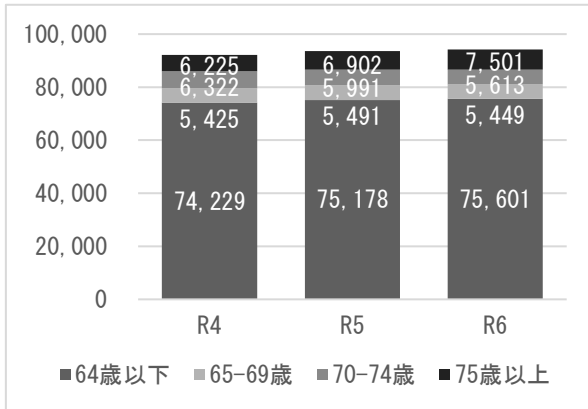
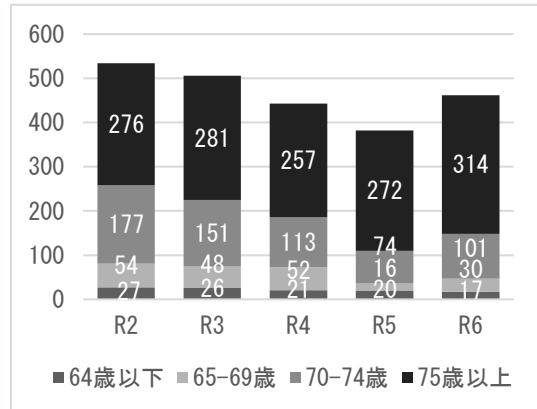


図 2-6 自動車運転免許保有者数



出所 滋賀の交通データより草津未来研究所作成

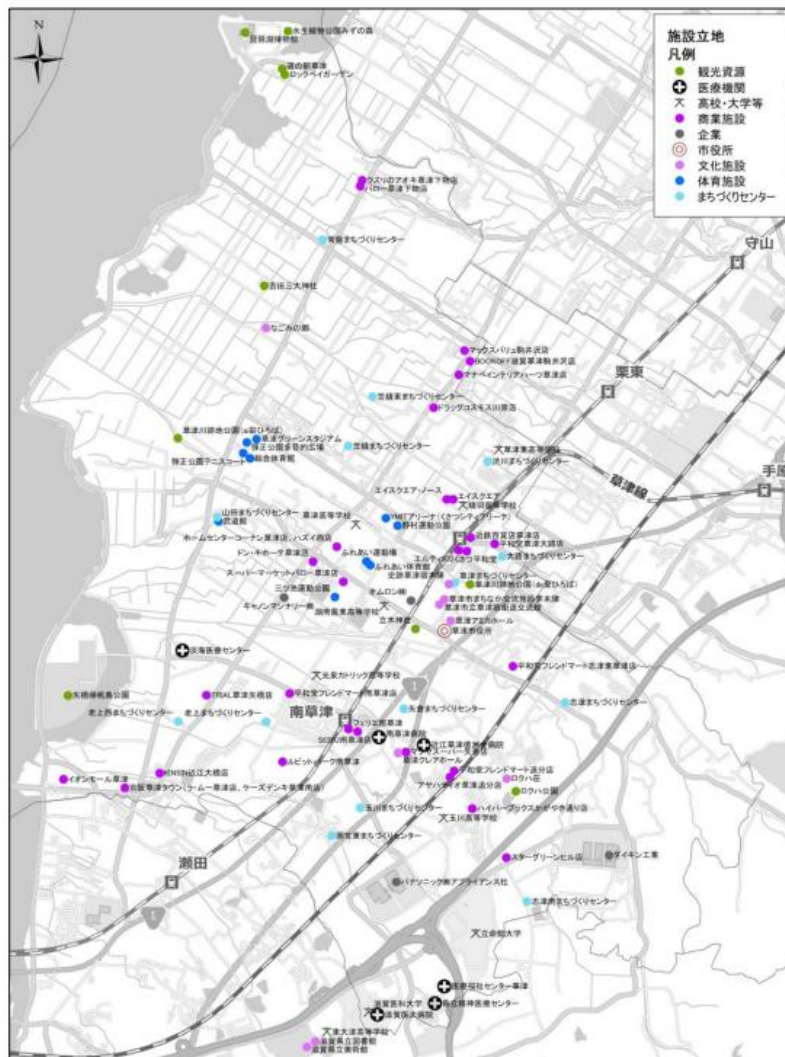
図 2-7 自動車運転免許証返納者数

2 買物を取り巻く環境

(1) 大規模商業施設¹²の立地状況

草津市内の大型商業施設の立地状況を見ると、JR 草津駅、南草津駅の周辺や、幹線道路の沿道に多く立地している。また、市街化区域のみならず市街化調整区域においても、地区計画制度により、常盤学区にバロー草津下物店が立地するなどしている。最近では、ドラッグストアで生鮮食品や冷凍食品などを販売している店舗も存在したり、1,000 m²以下の小売店もあるものの、自宅近くに小売店が存在しない地域もある(図 2-8)。

¹² 大規模小売店立地法の届出を要する店舗面積 1,000 m²超のもの。



出所 草津市地域公共交通計画

図 2-8 大型商業施設等の立地

(2) 商業施設の徒歩圏カバー率

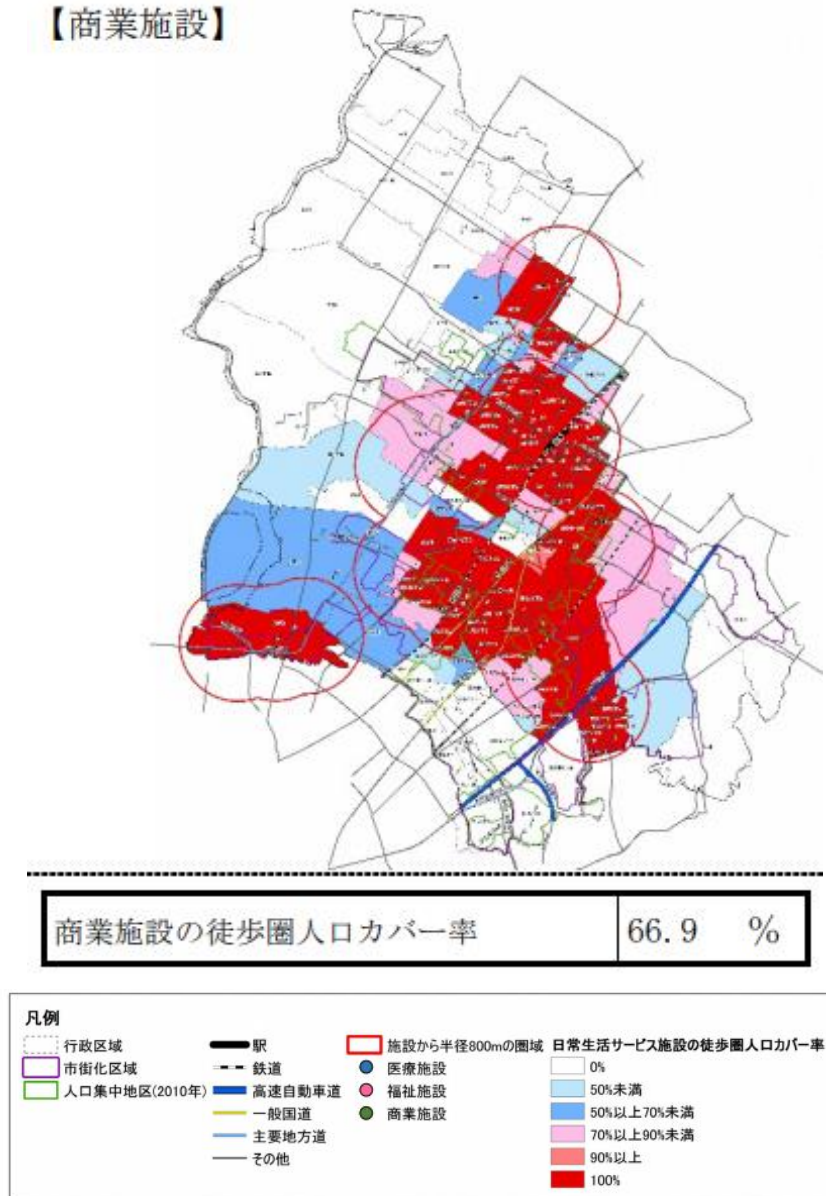
草津市立地適正化計画(令和6年3月)によると、徒歩圏を半径800mの範囲内と設定¹³した場合、草津市の商業施設の徒歩圏人口カバー率¹⁴は66.9%となっている。対象となる人口は約8.8万人となっており、類似都市¹⁵のカバー率65.1%を上回る効率的な施設配置であるとされている(図2-9)。

¹³ 国土交通省(2018)『都市構造の評価に関するハンドブック』による。

¹⁴ 対象施設の位置を中心とした徒歩圏内に存在する人口の総人口に占める割合。

¹⁵ 国土交通省(2018)『都市構造の評価に関するハンドブック』に、人口規模別に整理されたもので、概ね30万人都市(地方圏に属する10~40万人の都市)を比較対象としている。

【商業施設】



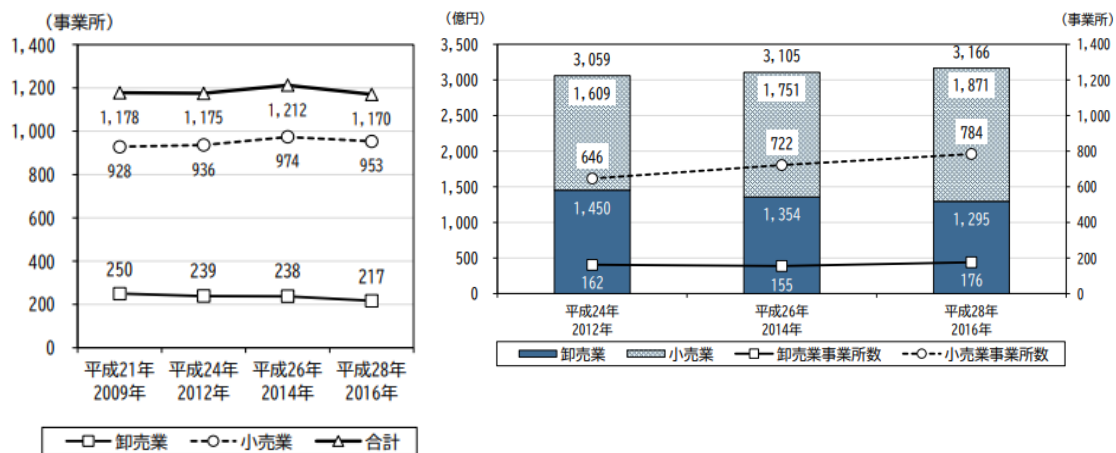
出所 草津市立地適正化計画

図 2-9 商業施設の徒歩圏人口カバー率

(3) 卸売業・小売業の状況

草津市産業振興計画(2023-2032)によると、草津市の卸売業・小売業の事業所数は、多少の増減はあるものの、ほぼ横ばいで推移している(図 2-10)。

年間商品販売額については、卸売業は減少傾向にあるものの、小売業ならびに卸売業・小売業を合わせた合計額については、増加傾向で推移している(図 2-11)。

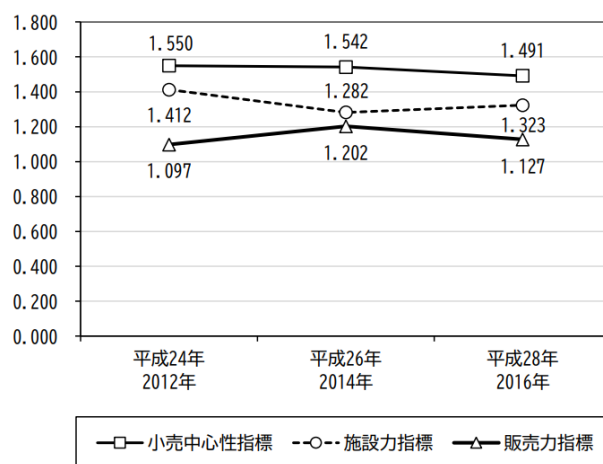


出所 草津市産業振興計画

図 2-10 草津市の卸売業・小売業の事業所数(左図)

図 2-11 草津市の卸売業・小売業の年間商品販売額(右図)

また、草津市の小売中心性指標¹⁶は、2016(平成28)年は1.491とされており、市内小売業の顧客吸引力は強い(図2-12)。



出所 草津市産業振興計画

図 2-12 草津市の小売中心性指標等の推移

¹⁶ 市内の小売業の吸引力を表し、小売中心性指標が1より大きいときは、他の都市から買い物客が流入し、1より小さければ買い物客が流出していると判断される。

3 買物弱者対策に資する取組

農林水産省では、2011(平成 23)年から、各地方自治体等の抱える課題や対策の状況を把握し、今後の施策の参考として活用するために、「食品アクセス(買物困難者等)問題に関するアンケート調査」を実施している。2024(令和 6)年度調査¹⁷によると、草津市は、「食品の買物が不便・困難な住民に対して、それらの軽減や解消を主たる目的とした事業を現在実施しているか」との問いに対して、買物弱者支援として位置づけた事業ではないとしたうえで、①デマンドタクシー事業、②(社会福祉協議会事業への補助として)地域支え合い運送支援事業の二点を回答している。

(1) デマンドタクシー事業

本市では、交通不便地の解消を図るため、路線バスが走っていない地域にコミュニティバスである「まめバス」を運行しているが、まめバスや民間の路線バスでは通行が困難な地域の移動手段を確保するため、デマンド型乗合タクシーである「まめタク」の事業を実施している。まめタクは運行時間や路線が決まっているが、完全予約制であり、予約がない便は運行しないデマンド型で運用している(表 2-1)。

表 2-1 まめタクの概要(2025年11月19日時点)

概要	<ul style="list-style-type: none">・タクシー車両による公共交通・予約があった便のみ運行する「デマンド型」タクシー・路線、停留所、運行時間が決まっていて、停留所間を乗車可能・同便を予約した人と乗合乗車
運休日	日曜日、国民の祝・休日、年末年始
料金	大人(中学生以上)200円　　こども(小学生)100円 ※草津駅山寺新田線で、草津駅を乗降する場合は大人500円・こども250円
割引	<ul style="list-style-type: none">・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害保健福祉手帳を持っている方・往復、乗換割引　　・回数券　　・まめタク応援店利用割引

出所 草津未来研究所作成

¹⁷ 2024(令和6)年10月1日現在の全国の1,741市町村の状況を調査したもの。この調査でいう「食品の買物が不便・困難な住民」には、別途支援措置が講じられている身体障害者、生活保護、介護保険等の対象者は含まない。

まめタクは、2025(令和7)年11月19日現在、13路線で運行されているが、起終点を小売店とし、また、まめタク応援店として、まめタクで来店し2,000円以上購入すると100円分の回数券が進呈されるなど、買い物に利用しやすいよう工夫がされている(表2-2)。

表2-2 まめタク路線(2025年11月19日時点)

	学区等	路線名	起終点となる小売店	停留所にある小売店
1	志津・志津南学区	青地笠井線	フレンドマート	—
2	東草津地域	追分線	志津東草津店	スターグリーンヒル店
3		山寺新田線	※	—
4		馬場線	—	—
5		岡本線	—	スターグリーンヒル店
6		草津駅山寺新田線	—	—
7		笠縫東・常盤学区	下寺津田江線	バロー草津下物店
8	志那吉田線		※	※
9	芦浦上寺線		—	—
10	集新堂線		マックスバリュ 駒井沢店 ※	—
11	山田学区	北山田線	フレンドマート	—
12		不動浜線	上笠店	—
13		木川線	—	コーナン・ハズイ

※まめタク応援店

出所 草津未来研究所作成

2024(令和6)年度のまめタクの各停留所の利用状況をみると、路線にもよるが小売店が指定されている起終点や、小売店が停留所となっている停留所の利用率は高いものとなっている。特に、青地笠井線、山寺新田線、馬場線、下寺津田江線、北山田線、不動浜線、木川線では当該路線の全乗降客の4割以上が小売店のある起終点や停留所を利用している(表2-3)。

表 2-3 まめタク停留所利用率(令和 6 年度)

	路線名	起終点	停留所利用率 ¹⁸	停留所にある小売店	停留所利用率
1	青地笠井線	フレンドマーケット	49%	—	—
2	追分線	志津東草津店	14%	スターグリーンヒル店	1%
3	山寺新田線	※	44%	—	—
4	馬場線		43%	—	—
5	岡本線	—	—	スターグリーンヒル店	11%
6	草津駅山寺新田線	—	—	—	—
7	下寺津田江線	バロー草津下物	49%	マックスバリュ駒井沢店	11%
8	志那吉田線	店	15%	※	22%
9	芦浦上寺線	※	8%		29%
10	集新堂線	マックスバリュ 駒井沢店 ※	0%	—	—
11	北山田線	フレンドマーケット	50%	—	—
12	不動浜線	上笠店	50%	—	—
13	木川線		26%	コーナン・ハズイ	43%

※まめタク応援店

出所 草津未来研究所作成

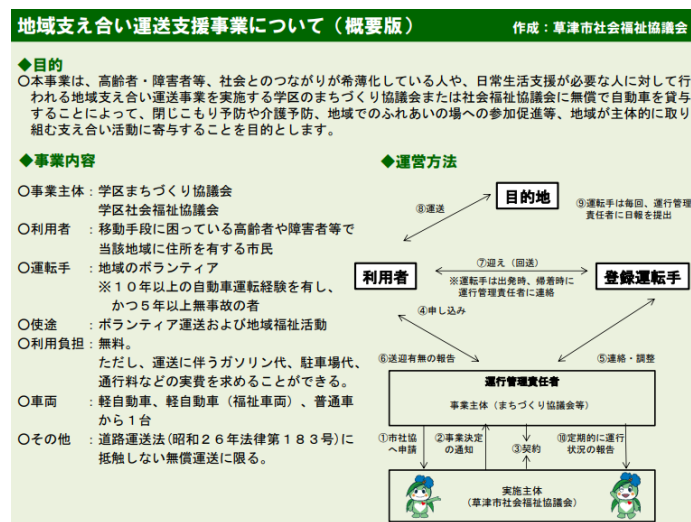
(2) 地域支え合い運送支援事業

地域支え合い運送支援事業は、高齢者、障害者など、社会とのつながりが希薄化している人や、日常生活支援が必要な人に対して行われる事業で、学区のまちづくり協議会や社会福祉協議会で実施されている。草津市社会福祉協議会によると、志津南学区、山田学区、老上学区・老上西学区、南笠東学区で実施¹⁹されていて、草津市では車検代等

¹⁸ その路線における 1 年間の全ての乗降数のうち、その停留所の乗降数が占める割合。なお、乗降者が同一人物かどうかはみていない。

¹⁹ 草津市社会福祉協議会ホームページ (https://www.kusa-shakyo.or.jp/chiiki/support/carry.html) (2025. 11. 19 閲覧)。なお、老上学区・老上西学区は合同で実施。

の車両点検費用や保険料に要する経費を助成することで、地域における支え合い活動を推進している(図 2-13、表 2-4)。



出所 草津市社会福祉協議会

図 2-13 地域支え合い運送支援事業の概要

表 2-4 地域支え合い運送支援事業利用者数等(令和6年度)

学区	志津南	山田	老上・老上西	南笠東
事業主体	志津南学区まちづくり協議会	山田学区社会福祉協議会	老上学区・老上西学区社会福祉協議会	南笠東学区社会福祉協議会
実施主体	志津南学区社会福祉協議会	山田学区社会福祉協議会	老上送迎サポート	南笠東学区まちづくり協議会
利用登録者数	38人	23人	55人	150人
延べ送迎人数	112人	305人	147人	366人
送迎ボランティア数	7人	11人	8人	5人
送迎日数	102日	124日	147日	175日
送迎先	・近隣病院 ・地域の会館	・まちづくりセンター ・病院	・近隣商業施設 ・近隣病院	・近隣病院 ・公共施設 ・近隣商業施設

出所 草津市社会福祉協議会 HP より草津未来研究所作成

第3章 草津市における買物弱者の実態

1 草津市における買物環境に関する実態調査

(1) 調査の概要

- ・調査名：草津市食料品アクセス(買い物のしやすさ)基礎調査(令和7年度)
 - ・調査目的：草津市における食料品アクセス(買い物のしやすさ)の実態を把握し、今後の地域特性に応じた買物支援施策の検討に資する基礎資料とする。
 - ・調査票：参考資料1のとおり。
 - ・調査対象：2025(令和7)年9月1日現在、住民基本台帳に登録のある草津市在住の65歳以上の人のうち、要介護1から5の認定を受けていない2,000人を無作為抽出。なお、無作為抽出に当たっては、性別、年齢区分(65-69歳、70-74歳、75-79歳、80-84歳、85-89歳、90歳以上)、学区(13学区・1地区)による三段階で人数を按分。
 - ・調査期間：2025(令和7)年10月27日から2025(令和7)年11月20日まで。
 - ・回収状況：郵送による回答1,295件(回収率64.8%)。学区別回答数は表3-1のとおり。
- 以下、本章において掲載する図表はすべて出所を「草津未来研究所作成」とする。また、掲載している図表は、端数処理の関係上合計が100%とならない場合がある。

表3-1 学区別回答数

学区	人数(人)	割合(%)
志津	104	8.0%
志津南	68	5.3%
草津	139	10.7%
大路	101	7.8%
渋川	77	5.9%
矢倉	91	7.0%
老上	99	7.6%
老上西	56	4.3%
玉川	92	7.1%
南笠東	61	4.7%
山田	81	6.3%
笠縫	114	8.8%
笠縫東	117	9.0%
常盤	70	5.4%
無回答	25	1.9%
合計	1,295	100.0%

(2) 調査に用いた指標

今回の実態調査にあたっては、地域在住高齢者の食料品アクセス状況を包括的に測定するために開発された「包括的食料品アクセス指標(飯坂真司ほか、厚生労働省 2021, 68(3):33-42)」を調査指標として取り入れた。当該指標は、食料品アクセス状況と特に問題となる要因を標準化することで、各因子の点数により個々の回答者に適した食料品アクセス支援に繋がれることに加え、地域単位で集計することで、地理情報のみでは判断できない地域住民の食料品アクセスの自立度や認識を地域レベルで定量化でき、地域の実情に応じた具体的な支援事業を提案できる可能性があるため、採用した。併せて、食料品アクセスと、高齢者の主観的幸福感およびフレイル²⁰度との関係性をみるため、「改訂版 PCG モラル・スケール(The Philadelphia Geriatric Center Morale Scale)」「イレブンチェック(東京大学高齢社会総合研究機構)」を用いた。

(3) 回答者の属性

性別については、男性の回答者が 543 人で 41.9%、女性の回答者が 732 人で 56.5%であった。年齢については、65 歳から 69 歳が 21.6%、70 歳から 74 歳が 23.9%、75 歳から 79 歳が 27.2%、80 歳から 84 歳が 16.7%を占めている(図 3-1)。

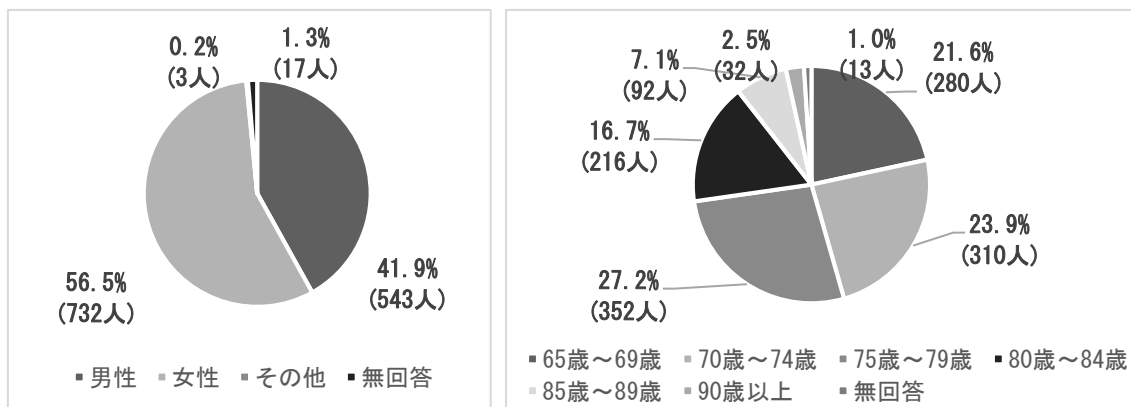


図 3-1 回答者の属性(左：性別、右：年齢別)

今回の調査は地域で自立して生活する高齢者を想定しているため、「要介護認定 1 から 5 の認定を受けていない 65 歳以上の高齢者」を調査対象とした。回答者の要介護度をみると、「要介護認定を受けていない」と回答した人が、1,176 人で全体の 90.8%を占

²⁰ 要介護状態に至る前段階として位置づけられるが、身体的脆弱性のみならず精神・心理的脆弱性や社会的脆弱性などの多面的な問題を抱えやすく、自立障害や死亡を含む健康障害を招きやすいハイリスク状態を意味する。(日本老年医学会・国立長寿医療研究センター(2018)『フレイル診療ガイド 2018 年版』)

めており、「要支援 1」「要支援 2」「事業対象者」については、合計すると 73 人で全体の 5.7%となった。家族構成については、「一人暮らし」「夫婦二人暮らし(配偶者 65 歳以上)」「夫婦二人暮らし(配偶者 64 歳以下)」「その他」の選択肢で尋ねた。回答が最も多かったのが、「夫婦二人暮らし(配偶者 65 歳以上)」で 46.8%と、全体の半数近くに上った。次に多いのが「一人暮らし」で 16.9%を占める(図 3-2)。

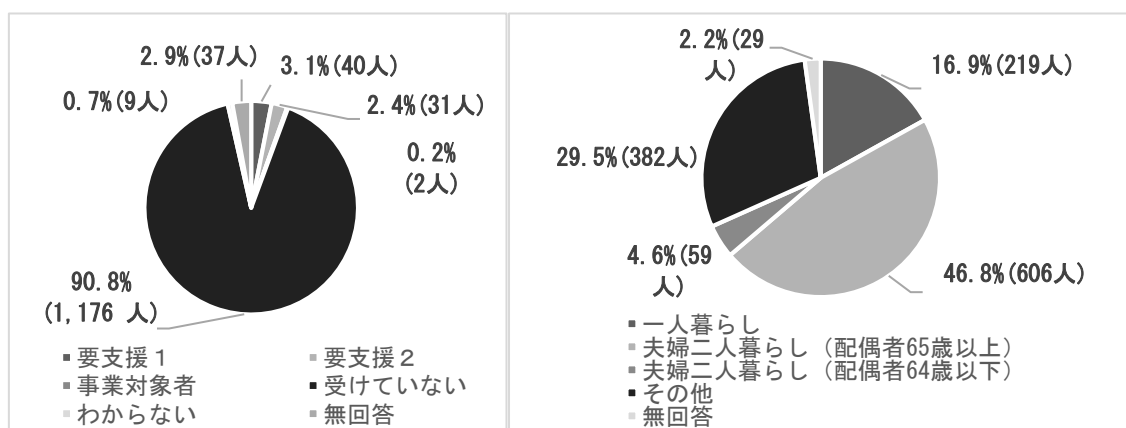


図 3-2 回答者の属性(左：要介護度、右：家族構成)

2 分析

(1) 日常生活圏域別の分析

草津市では中学校区を日常生活圏域としている(参考資料3)。地域の特徴を把握するため、日常生活圏域別に確認する。なお、日常生活圏域別の回答者数は図3-3のとおりである。

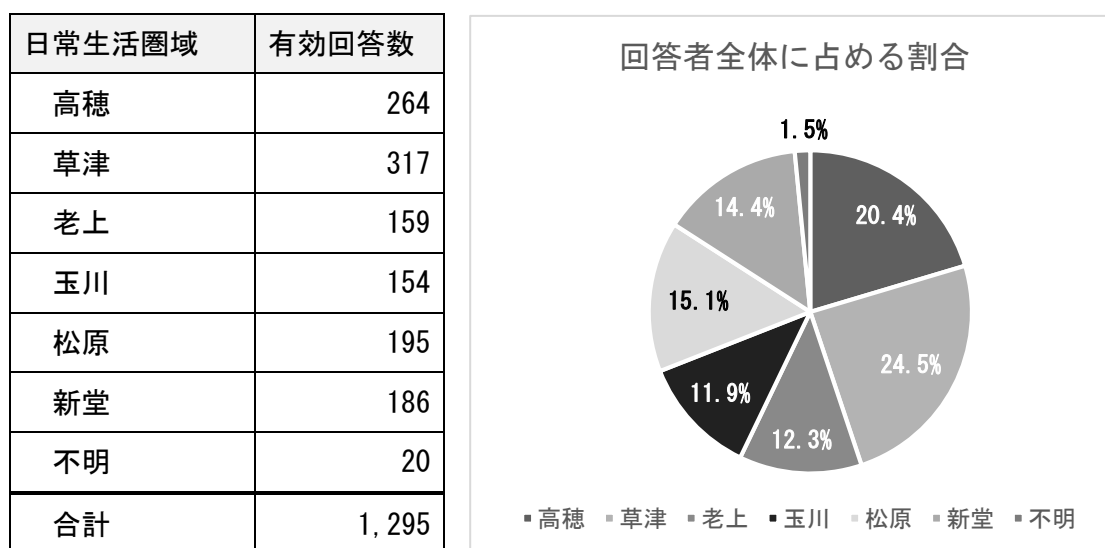


図 3-3 日常生活圏域別回答者数

①食料品アクセス指標

包括的食料品アクセス指標を使用して、日常生活圏域別の食料品アクセスを確認した。なお、有効回答数は表3-2のとおりである。

表3-2 食料品アクセス指標有効回答数

日常生活圏域	有効回答数
高穂	226
草津	275
老上	132
玉川	140
松原	159
新堂	160

食料品アクセス指標は23点～92点の間で、合計点数が高いほど食料品アクセスが良好であり、買い物に困難を抱える可能性が低いとされている。点数を便宜的に23点(全て1点)、24～46点、47～69点、70～92点の4つに分け地域別に点数の分布を確認すると、特に目立って点数の低い地域は確認できず、平均点においても全ての地域が66～69点であったが、高穂・玉川においては他の地域と比べ70～92点となった割合が少なかった(図3-4)。

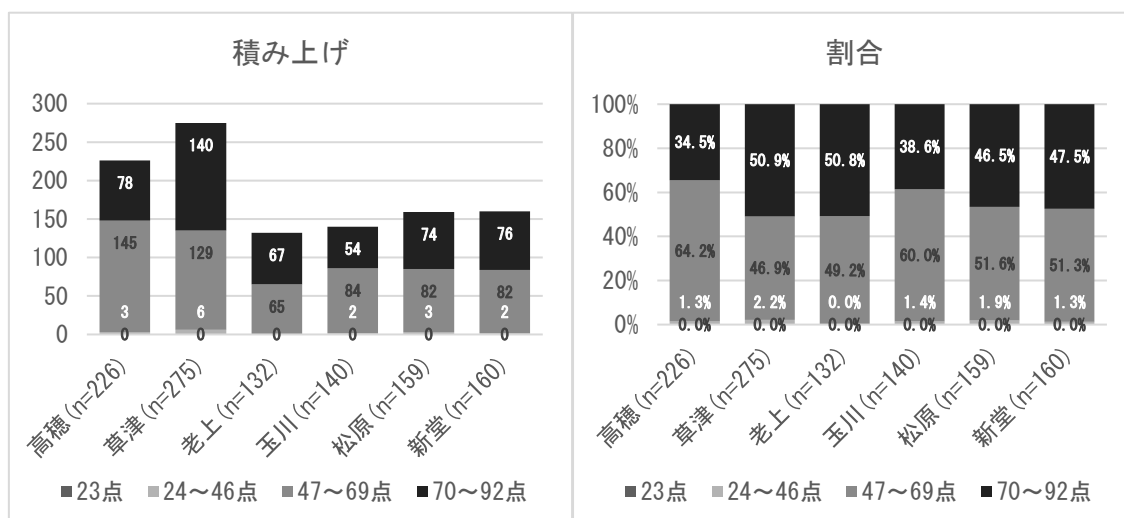


図3-4 日常生活圏域別食料品アクセス指標分布

各問は図 3-5 に示す 5 つの因子に分類され、点数が低いほどアクセスに困難を抱える可能性が高いとされる。

因子1 買い物自立度 *反転項目		因子3 食料品入手の社会的動機	
1	体の問題で、買い物に行くのに苦労する*	1	買い物に行った時に、知り合いと会って会話することがある
2	体の問題で、買った品を持ち帰るのに苦労する*	2	買い物は日常の楽しみの一つである
3	道路の問題（坂道、階段、狭さなど）で、買い物に行くのに苦労する*	3	近所の人と料理をおすそわけしたり、買ったものを分けあったりする
4	お会計に手間取ったり、焦ったりする*	4	近所の人や友人と一緒に買い物に行く
5	カートや杖をもって、店内を移動するのに苦労する*	5	よく行くお店の店員は親切だと感じる
6	自分が行きたい時に、買い物に行くことができない*	6	食事は日常の楽しみの一つである
因子2 買い物しやすい環境		因子4 食生活面のサポート	
1	私の住んでいる地域では、スーパーが充実している	1	体調の悪い時に、代わりに買い物を頼める人がいる
2	私の住んでいる地域では、食料品を買うのに色々な店を使い分けられる	2	買い物に行きたい時に、送り迎えしてもらえる人がいる
3	よく食料品を買いに行く店は家から歩いていける場所にある	3	1日1回は、誰かと一緒に食事をする
4	よく食料品を買いに行く店は、必要な食料品がすべてそろう	因子5 食生活の経済的余裕 *反転項目	
5	よく食料品を買いに行く店は、何かのついでに行くことができる場所にある	1	家計が苦しいため、欲しい食料品を購入できない*
		2	食事にはなるべくお金をかけたくない*
		3	少しでも安い店や割引がある店を優先して利用する*

直近1週間について、4件法(とても/ややあてはまる、あまり/まったくあてはまらない)で回答

出所 第66回日本老年医学会 02-4 資料より抜粋

図 3-5 包括的食料品アクセス指標の各因子

各因子における日常生活圏域別の結果を確認した。なお、各問における基準点は淑徳大学看護栄養学部栄養学科飯坂研究室が発行した「買い物便利帳」を参考にしている(参考資料 4)。

図 3-6 については、各因子における基準点以下の割合を示しており、全体結果より割合が高いものを赤字で表示している。高穂においては全ての因子が、玉川においては因子 1 以外が赤字となっていたが、老上においては因子 5 のみ、新堂においては因子 2 のみが赤字となっていた。また、駅周辺地域である草津と老上においては、因子 2 における基準点以下となる割合が他地域より少なくなっていた(図 3-6、図 3-7)。

	因子1	因子2	因子3	因子4	因子5	
高穂		18.1%	44.2%	40.7%	19.0%	35.0%
草津		16.4%	19.6%	40.4%	21.8%	33.1%
老上		10.6%	28.0%	33.3%	13.6%	34.1%
玉川		15.0%	42.9%	45.0%	17.9%	34.3%
松原		15.1%	43.4%	30.2%	15.1%	32.1%
新堂		11.3%	47.5%	35.6%	12.5%	31.9%
全体		15.0%	36.5%	38.4%	17.5%	33.6%

図 3-6 各因子における基準点以下の割合(日常生活圏域別)

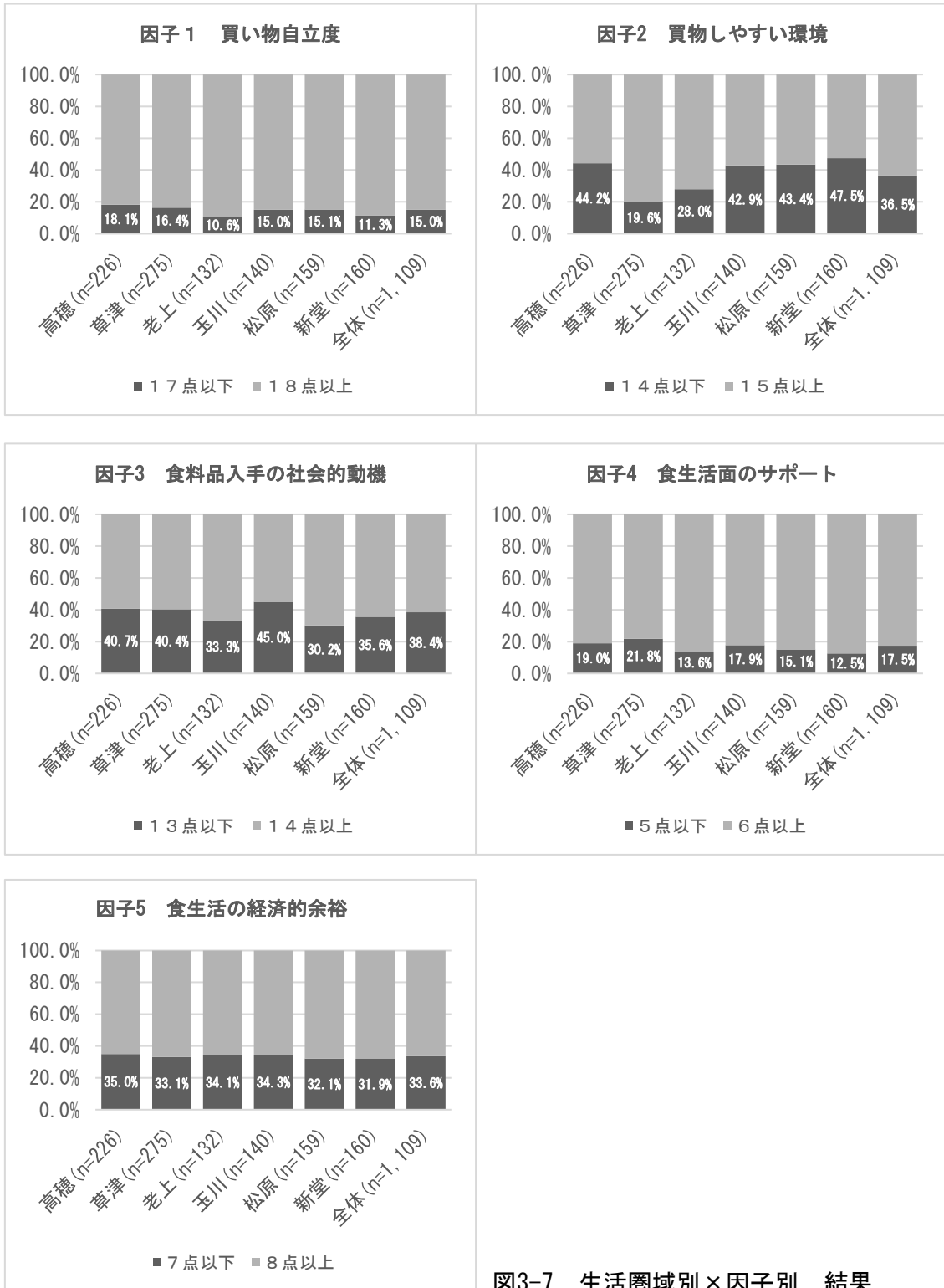


図3-7 生活圏域別×因子別 結果

②モラールスケール

次にモラールスケールを使用して、高齢者の主観的幸福感を確認した。なお、有効回

答数は表3-3のとおりである。

表3-3 モラールスケール有効回答数

日常生活圏域	有効回答数
高穂	225
草津	287
老上	140
玉川	142
松原	162
新堂	162

モラールスケールでは点数が高いほど主観的幸福感が高いとされており、17項目の質問を使用している。各地域における点数の割合は図3-8のとおりであり、回答者における0～5点の層が多いのは草津・松原であり、16・17点の層が多いのは玉川・松原であった。

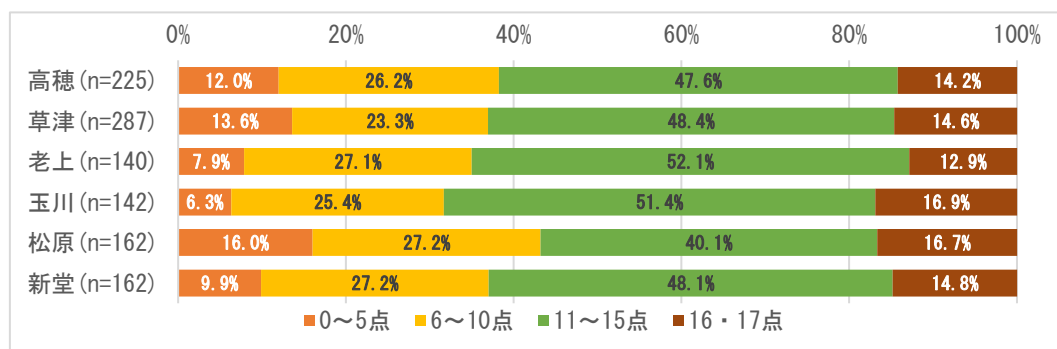


図3-8 日常生活圏域別モラールスケール結果

また、各質問において加点となる回答割合を確認したところ、玉川において回答者が7割を超える項目が多くあり、草津は回答者が7割を超える項目が少なかった(図3-9)

	はい	いいえ	高穂(n=225)	草津(n=287)	老上(n=140)	玉川(n=142)	松原(n=162)	新堂(n=162)
1 人生は年をとるにつれて、悪くなっていくと思いますか	0	1	56.9%	56.8%	49.3%	54.2%	50.0%	48.1%
2 去年と同じくらい元気ですか	1	0	63.1%	67.2%	65.7%	70.4%	56.8%	64.8%
3 さびしいと思うことがありますか	0	1	70.7%	68.3%	71.4%	77.5%	67.9%	72.8%
4 最近になって、ささいなことが気になるようになりましたか	0	1	66.7%	64.5%	69.3%	75.4%	66.7%	66.7%
5 家族や親戚や友人によく会いますか	1	0	72.4%	69.7%	80.0%	80.3%	77.2%	84.0%
6 年をとるにつれて役に立たなくなると感じますか	0	1	54.7%	45.6%	49.3%	49.3%	49.4%	46.9%
7 心配だったり気になったりして、眠れないことがありますか	0	1	64.0%	65.5%	63.6%	66.2%	61.7%	64.2%
8 年をとるということは、若い時に考えていたよりも良いことだと思いますか	1	0	36.9%	28.9%	32.1%	33.1%	32.1%	37.7%
9 生きていても仕方がないと思うことがよくありますか	0	1	83.6%	85.7%	90.7%	90.8%	87.0%	87.0%
10 若い時と同じように幸福ですか	1	0	68.0%	68.6%	75.7%	78.2%	66.7%	68.5%
11 悲しいことがたくさんありますか	0	1	85.3%	83.3%	89.3%	86.6%	84.6%	85.8%
12 心配なことがたくさんありますか	0	1	68.0%	66.6%	66.4%	73.9%	67.9%	67.9%
13 前より腹を立てることが多くなりましたか	0	1	76.9%	76.3%	80.7%	79.6%	77.8%	80.9%
14 生きることが大変なことだと思いますか	0	1	44.9%	43.9%	47.1%	51.4%	43.8%	46.3%
15 今の生活に満足していますか	1	0	76.0%	78.7%	85.7%	84.5%	79.0%	82.7%
16 物事を深刻に考えるほうですか	0	1	57.3%	60.3%	62.9%	68.3%	53.7%	63.0%
17 心配事があると、すぐにおそろするほうですか	0	1	68.0%	69.0%	78.6%	80.3%	67.3%	74.7%

図 3-9 日常生活圏域別モラールスケール

③イレブンチェック

次にイレブンチェックを使用して、フレイル度を確認した。なお、有効回答数は表3-4のとおりである。

表3-4 イレブンチェック有効回答数

日常生活圏域	有効回答数
高穂	239
草津	298
老上	154
玉川	142
松原	183
新堂	175

イレブンチェックは点数が3・4点でフレイル予備軍、5点以上になるとフレイルの可能性が高いとされている。地域別に点数の分布を確認すると、松原においてフレイル度が高いとされる人の割合が高かった(図3-10)。

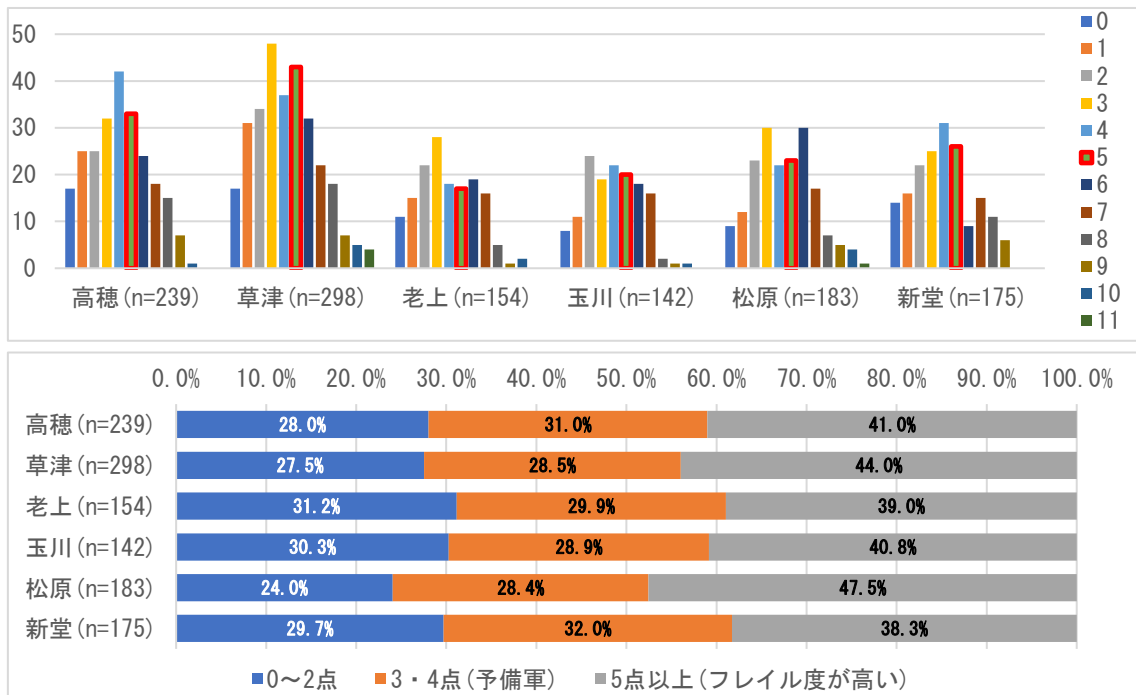


図 3-10 日常生活圏域別イレブンチェック分布

④食料品アクセス指標との関係

食料品アクセス指標の因子別に、それぞれアクセス困難と判断される層とアクセスが良好と判断される層のモラールスケールの違いを確認した。回答者が少ないことに留意すべきではあるが、アクセス困難と判断される層よりもアクセスが良好と判断される層の方が、モラールスケールの点数が高い人の割合が多かった(図3-11～図3-15)。

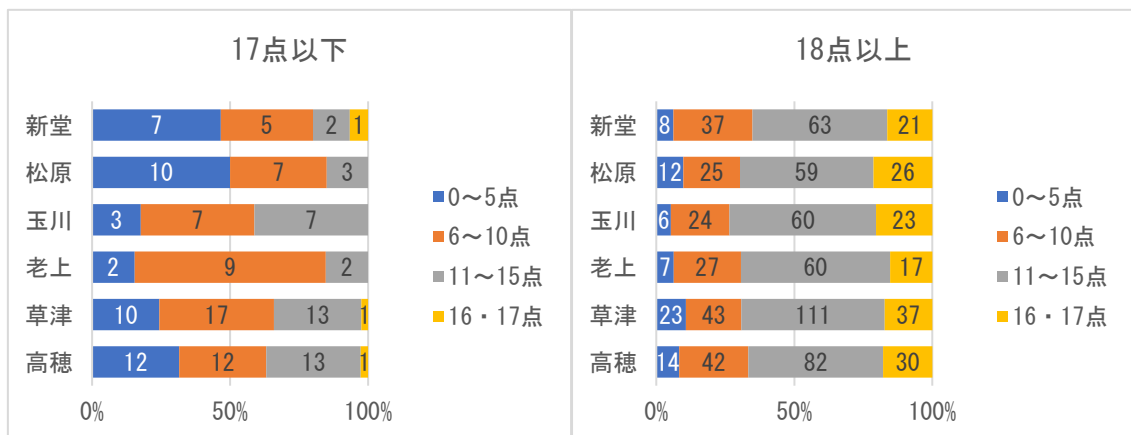


図 3-11 因子 1：買い物自立度×モラールスケール

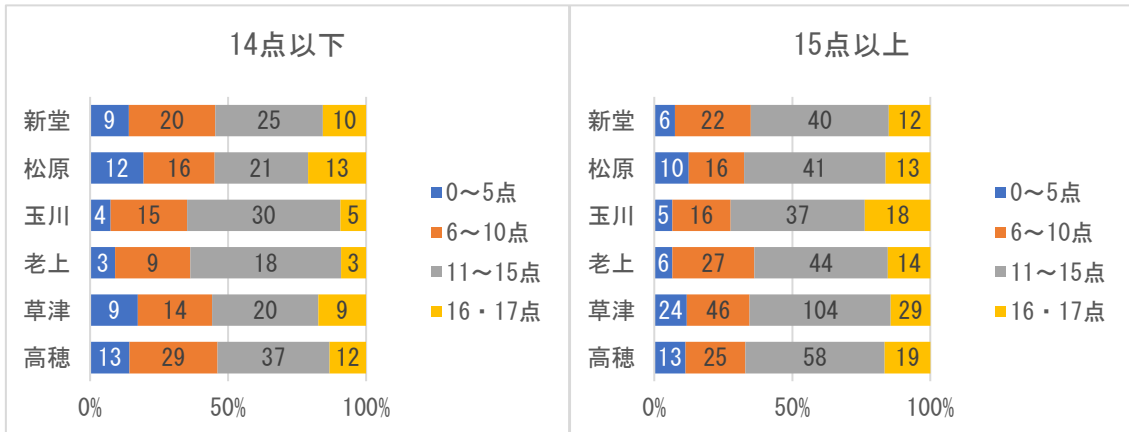


図 3-12 因子 2：買物しやすい環境×モラルスケール

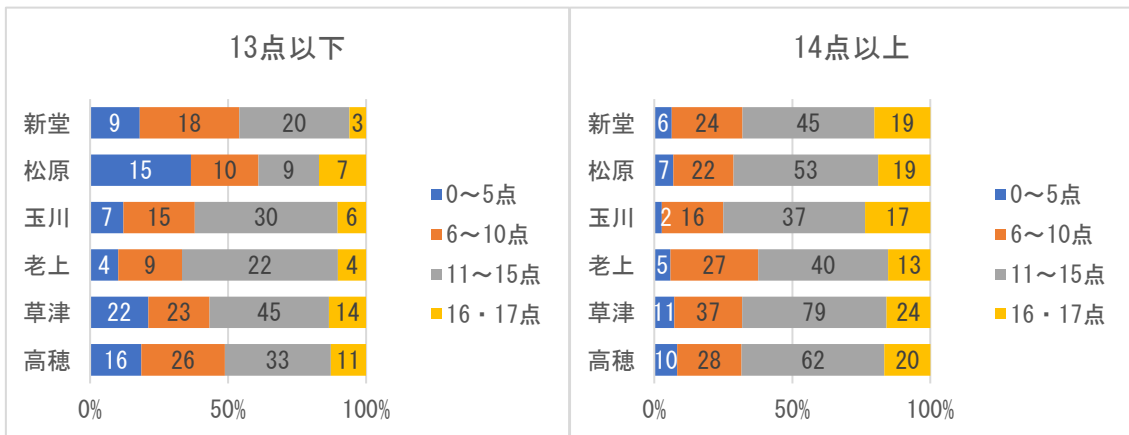


図 3-13 因子 3：食料品入手の社会的動機×モラルスケール

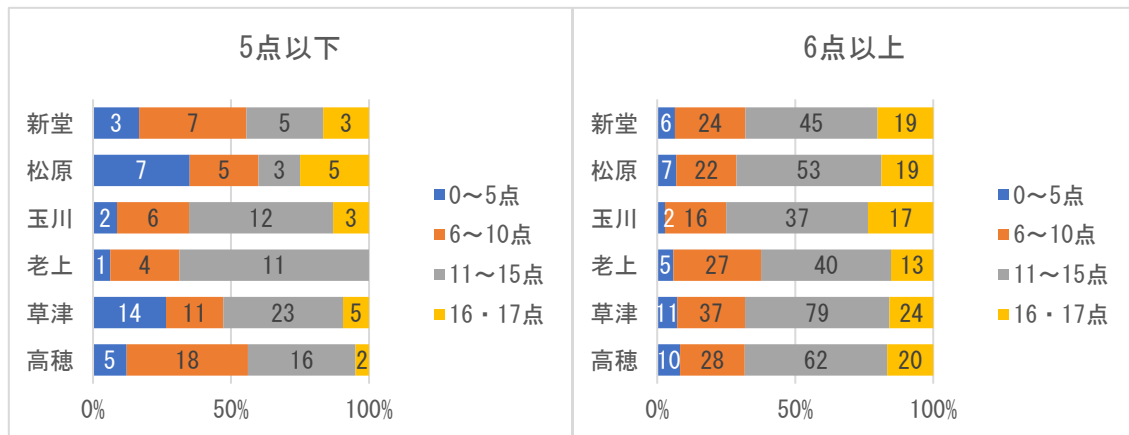


図 3-14 因子 4：食生活面のサポート×モラルスケール

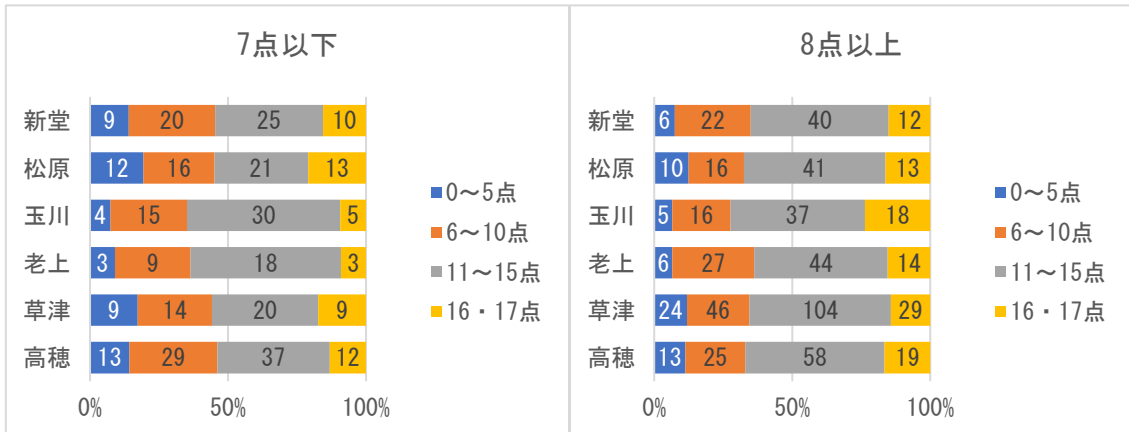


図 3-15 因子 5：食生活の経済的余裕×モラールスケール

同様の手法で食料品アクセス指標とイレブンチェックとの関係を確認した。こちらにおいても回答者が少ないことに留意すべきではあるが、全体的にアクセス困難と判断される層の方が、アクセスが良好と判断される層よりもフレイル度が高かった(図 3-16～図 3-20)。特に因子 1 についてはアクセス困難と判断される層のフレイル度が高かった(図 3-16)。

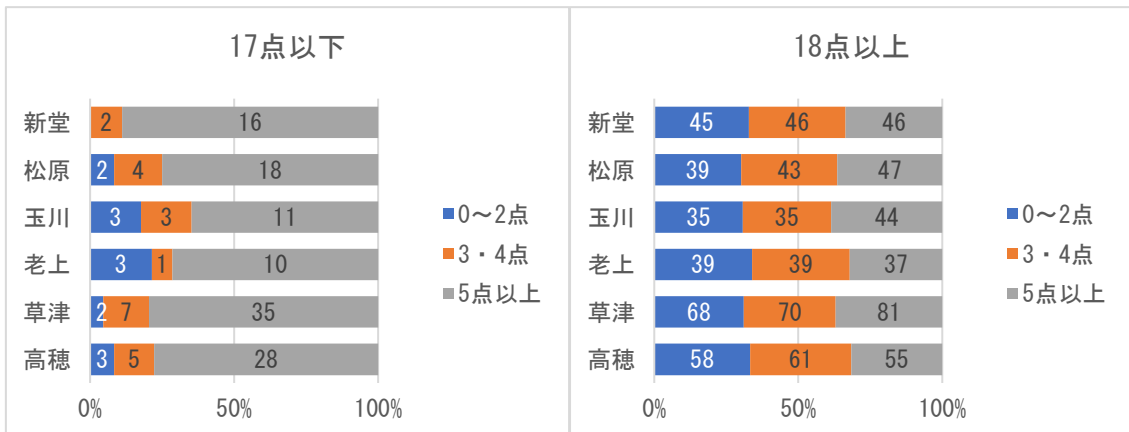


図 3-16 因子 1：買い物自立度×イレブンチェック

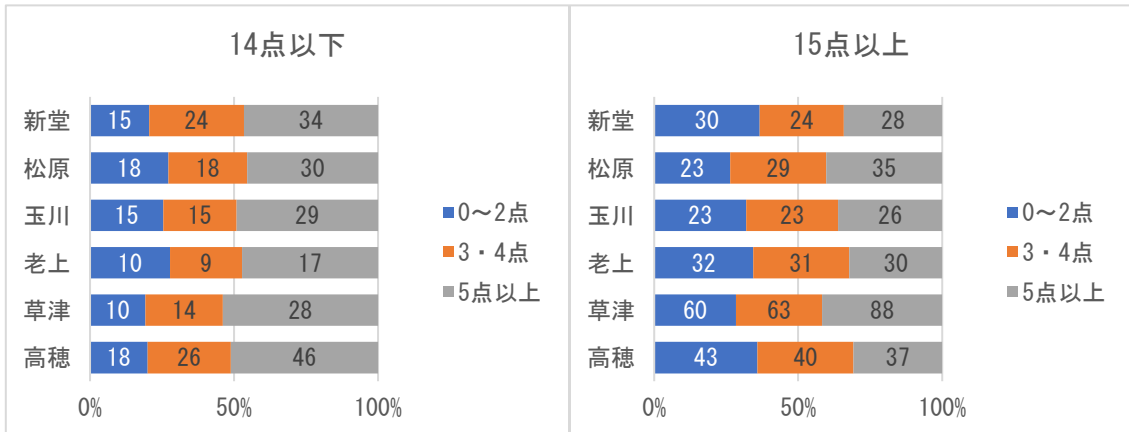


図 3-17 因子 2：買物しやすい環境×イレブンチェック

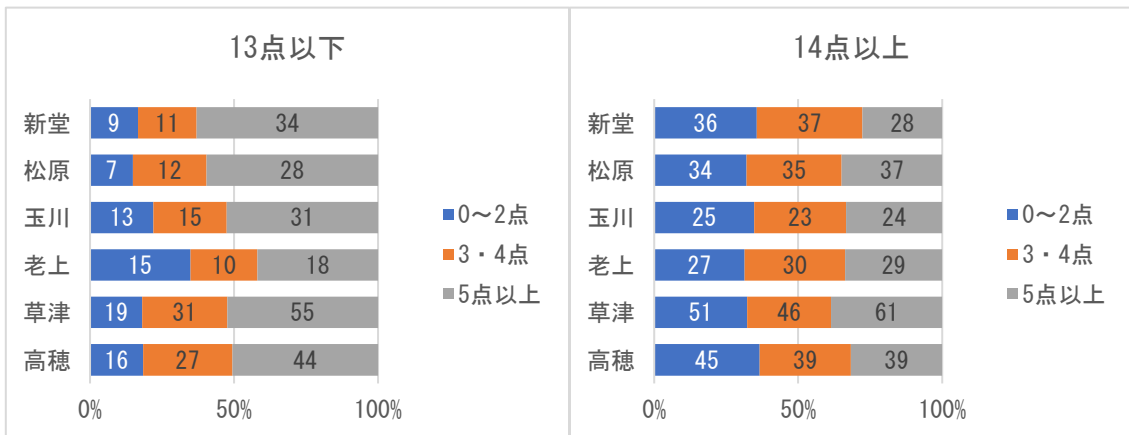


図 3-18 因子 3：食料品入手の社会的動機×イレブンチェック

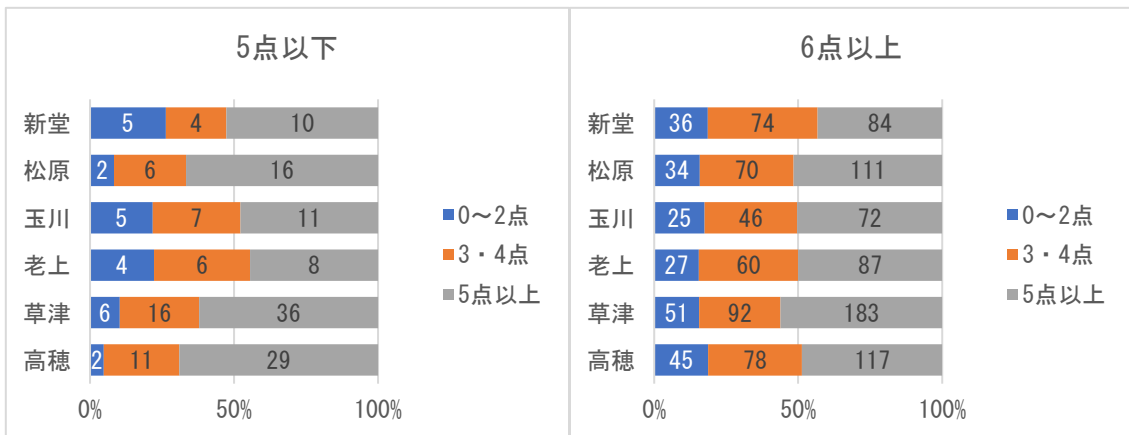


図 3-19 因子 4：食生活面のサポート×イレブンチェック

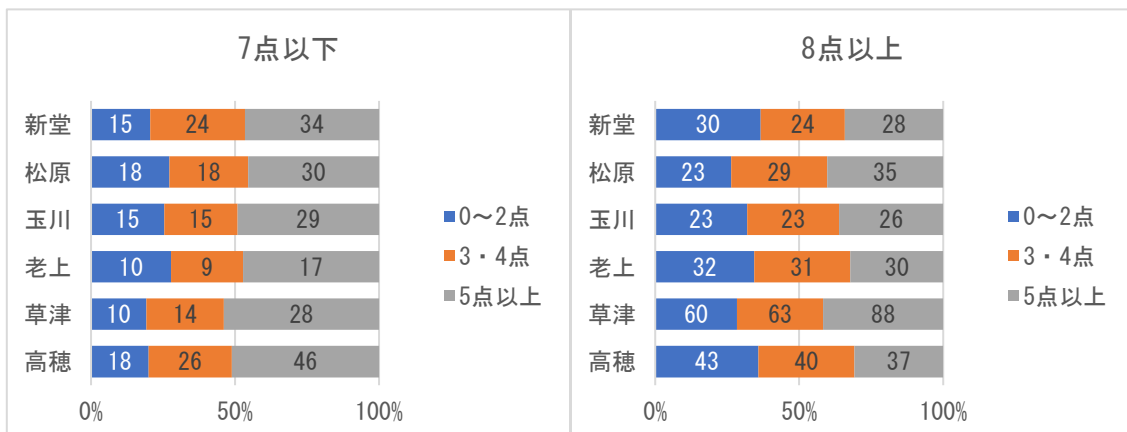


図 3-20 因子 5：食生活の経済的余裕×イレブンチェック

⑤相関関係

回答者属性、食料品アクセス指標、モラルスケールおよびイレブンチェックにおいて相関関係の有無を確認した。なお、ここでいう有効回答数は、食料品アクセス指標、モラルスケールおよびイレブンチェックの3質問すべてに回答した者であり、Excel2016のCORREL関数を用い、結果は小数点以下第4位を四捨五入している。

相関分析の結果、食料品アクセス指標とモラルスケールに正の相関、食料品アクセス指標とイレブンチェックに負の相関、モラルスケールとイレブンチェックに負の相関が示唆された(図3-21)。

市内全域		有効回答数	981						
	性別	年齢	要介護度	家族構成	学区	アクセス尺度	PCGモラルスケール	イレブンチェック	
性別	1	-0.028	-0.034	-0.051	0.051	0.160	-0.017	-0.064	
年齢		1	-0.247	-0.155	-0.041	-0.112	-0.056	0.087	
要介護度			1	0.098	0.045	0.211	0.083	-0.139	
家族構成				1	0.033	0.082	0.059	-0.089	
学区					1	0.036	0.034	-0.003	
アクセス尺度						1	0.421	-0.458	
PCGモラルスケール							1	-0.512	
イレブンチェック								1	

図 3-21 相関関係(市内全域)

各日常生活圏域において上記同様相関関係の有無を確認したところ、地域により結果

は異なっていた(図3-22～図3-27)。特に老上においては、相関関係は示唆されなかった(図3-24)。また、玉川においては食料品アクセス指標とモラールスケールにのみ正の相関(図3-25)、反対に新堂では、食料品アクセス指標とイレブンチェックに負の相関、モラールスケールとイレブンチェックに負の相関が示唆された(図3-27)。

高穂 有効回答数 193								
	性別	年齢	要介護度	家族構成	学区	アクセス尺度	PCGモラールスケール	イレブンチェック
性別	1	-0.034	0.053	0.108	-0.029	0.232	0.054	-0.193
年齢		1	-0.334	-0.292	0.008	-0.245	-0.045	0.161
要介護度			1	0.153	-0.035	0.236	0.042	-0.171
家族構成				1	0.068	0.192	0.027	-0.144
学区					1	-0.065	0.066	0.001
アクセス尺度						1	0.469	-0.579
PCGモラールスケール							1	-0.504
イレブンチェック								1

図 3-22 相関関係(高穂)

草津 有効回答数 250								
	性別	年齢	要介護度	家族構成	学区	アクセス尺度	PCGモラールスケール	イレブンチェック
性別	1	0.034	-0.150	-0.169	0.007	0.092	-0.081	0.020
年齢		1	-0.272	-0.134	-0.031	-0.060	-0.084	0.134
要介護度			1	0.135	-0.002	0.243	0.120	-0.167
家族構成				1	-0.167	0.121	0.119	-0.112
学区					1	0.061	-0.050	0.022
アクセス尺度						1	0.451	-0.546
PCGモラールスケール							1	-0.602
イレブンチェック								1

図 3-23 相関関係(草津)

老上 有効回答数 122								
	性別	年齢	要介護度	家族構成	学区	アクセス尺度	PCGモラルスケール	イレブンチェック
性別	1	-0.020	-0.037	-0.043	0.029	0.312	-0.143	-0.125
年齢		1	-0.130	-0.202	0.130	-0.103	0.006	0.062
要介護度			1	0.026	0.123	0.023	0.135	0.001
家族構成				1	-0.127	0.002	-0.156	-0.048
学区					1	-0.094	0.017	0.009
アクセス尺度						1	0.286	-0.280
PCGモラルスケール							1	-0.289
イレブンチェック								1

図 3-24 相関関係(老上)

玉川 有効回答数 124								
	性別	年齢	要介護度	家族構成	学区	アクセス尺度	PCGモラルスケール	イレブンチェック
性別	1	-0.075	-0.075	-0.060	-0.055	0.023	0.028	-0.030
年齢		1	-0.105	-0.042	-0.168	-0.157	-0.090	0.069
要介護度			1	0.036	0.071	0.001	-0.024	-0.123
家族構成				1	0.076	0.092	0.163	-0.069
学区					1	0.005	0.157	-0.127
アクセス尺度						1	0.427	-0.306
PCGモラルスケール							1	-0.383
イレブンチェック								1

図 3-25 相関関係(玉川)

松原 有効回答数 139								
	性別	年齢	要介護度	家族構成	学区	アクセス尺度	PCGモラルスケール	イレブンチェック
性別	1	-0.133	0.138	-0.154	0.006	0.243	-0.041	-0.065
年齢		1	-0.279	-0.016	0.053	-0.101	-0.048	-0.085
要介護度			1	0.046	0.159	0.223	0.008	-0.007
家族構成				1	-0.074	0.018	0.088	-0.091
学区					1	0.266	0.037	-0.089
アクセス尺度						1	0.472	-0.413
PCGモラルスケール							1	-0.574
イレブンチェック								1

図 3-26 相関関係(松原)

新堂		有効回答数		142				
	性別	年齢	要介護度	家族構成	学区	アクセス尺度	PCGモラルスケール	イレブンチェック
性別	1	-0.002	-0.108	0.007	-0.052	0.070	0.078	-0.037
年齢		1	-0.249	-0.195	0.027	-0.096	-0.059	0.170
要介護度			1	0.082	0.010	0.313	0.140	-0.230
家族構成				1	0.172	-0.026	0.037	-0.012
学区					1	-0.294	-0.048	0.102
アクセス尺度						1	0.350	-0.444
PCGモラルスケール							1	-0.541
イレブンチェック								1

図 3-27 相関関係(新堂)

(2) その他の項目

①食料品店までの移動手段

アンケート項目の一つとして、よく利用する食料品店までの主な移動手段を質問した。その結果、ほとんどの地域で「自動車・バイク」による手段が多数であったが、草津のみ「徒歩」が1位となっていた(図3-28)。また、「まめタク(デマンド型乗合タクシー)」と回答した方はいなかった。

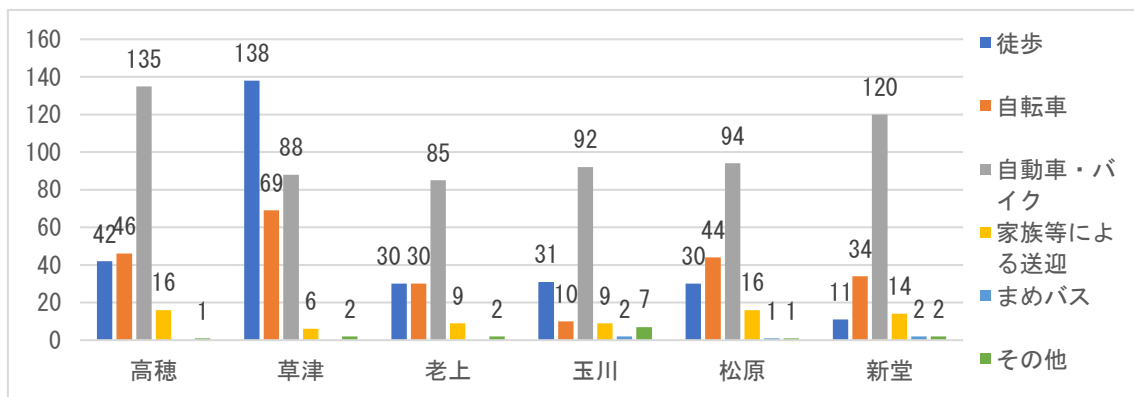


図 3-28 よく利用する移動手段

②今後利用したいサービス

買い物をしやすくするため、今後、最も利用したいサービスについて質問したところ、「クーポンやポイント制度による価格支援」がどの地域でも多く、次に多いのが「まめタク・まめバスなど地域公共交通の充実」であったが、草津のみ「小分け販売・少量パックの導入」が2位になっていた(図3-29)。

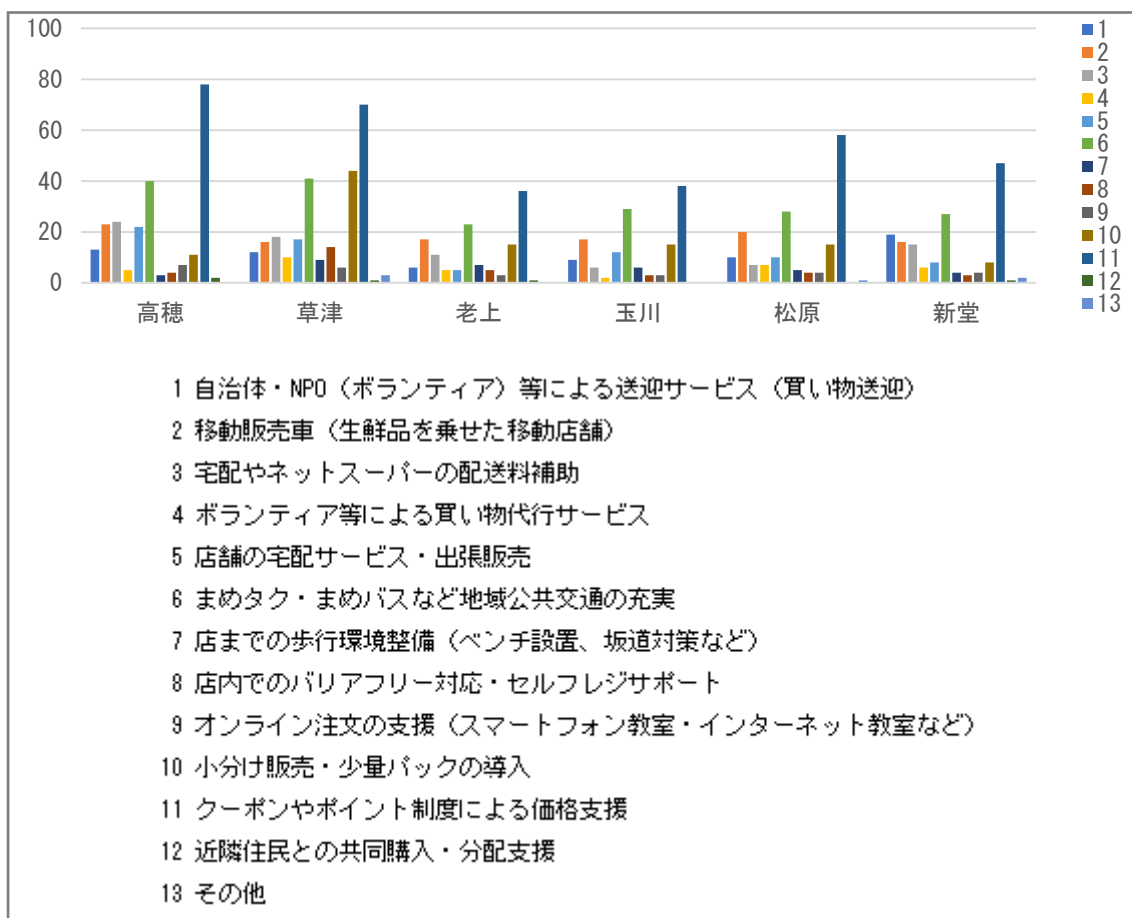


図 3-29 今後利用したいサービス

3 その他調査との比較

(1) 市民意識調査

草津市においては、第6次総合計画の各期計画における市の施策を評価するため、市民意識調査を実施している（参考資料5）。今回、2024（令和6）年10月に実施された「令和6年度草津市のまちづくりについての市民意識調査²¹」の回答者の中から、居住地を回答した65歳以上の回答者を抽出し、「買物をする環境が整っていると思えますか。（以下、「買物環境の質問」という。）」、「健幸（生きがいをもち、健やかで幸せであること）に暮らしていると思えますか。（以下、「健幸の質問」という。）」の二つの質問に関する回答を集計した（表3-5）。

²¹ 2024（令和6）年10月1日から10月21日までを調査期間として、市民3,000人を対象に住居基本台帳の18歳以上の者から、年齢、居住地域に2段階による無作為抽出により実施。有効回答数795件、有効回答率26.5%。

表3-5 市民意識調査有効回答数（65歳以上抜粋）

日常生活圏域	有効回答数
高穂	62
草津	76
老上	40
玉川	35
松原	48
新堂	31
合計	292

①居住年数

居住年数については、40～49年が21.2%で最も多く、50～59年が17.1%、30～39年が12.7%であった(図3-30)。この居住年数ごとに、「買物環境の質問」「健幸の質問」についての回答の分析を試みた。

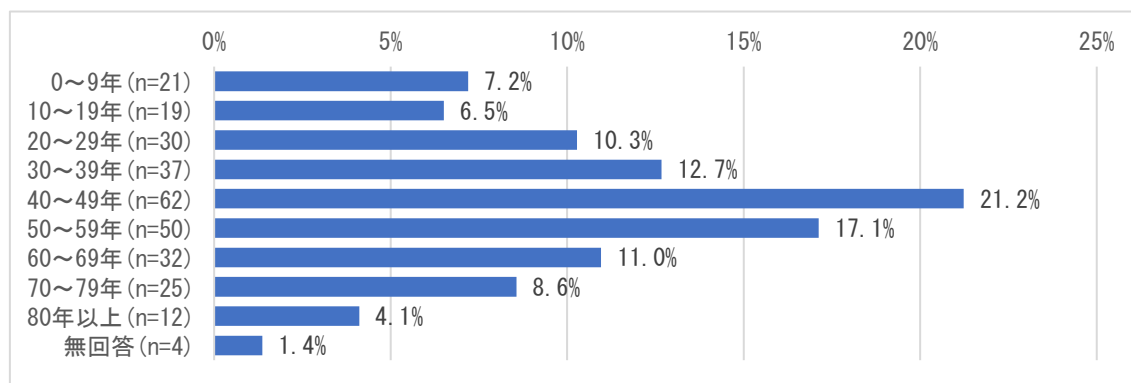


図3-30 居住年数

居住年数を10年ごとに分け、「買物環境の質問」とクロス集計を行ったところ、居住年数10～19年の回答者の満足度(「そう思う」「ややそう思う」の合計)が最も高かった(図3-31)。

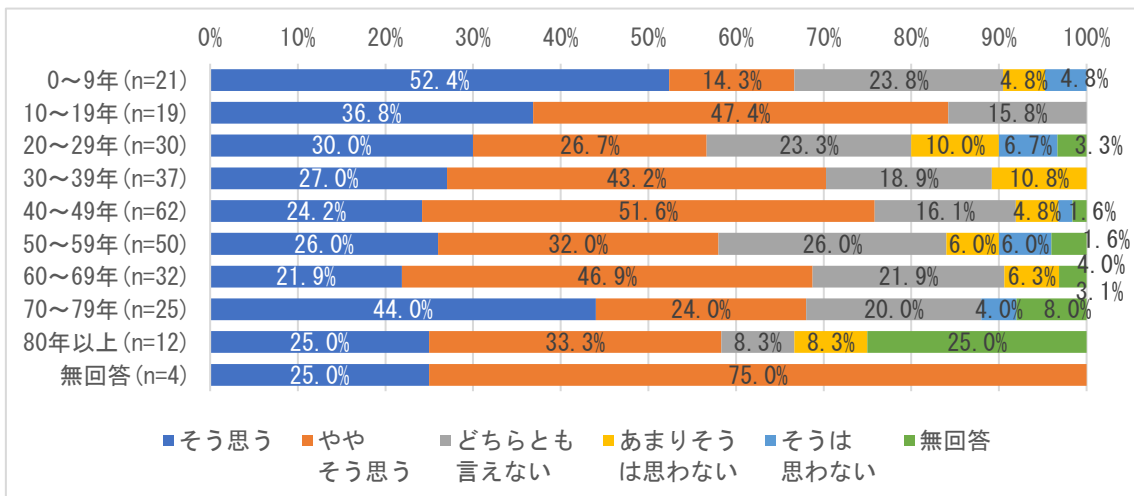


図 3-31 居住年数 × 「買物環境の質問」

同様に、「健幸の質問」の回答と居住年数のクロス集計を行った。居住年数が短いほど肯定的な回答が多く、居住年数が長くなるほど否定的な回答が多くなる大まかな傾向が見られた(図 3-32)。

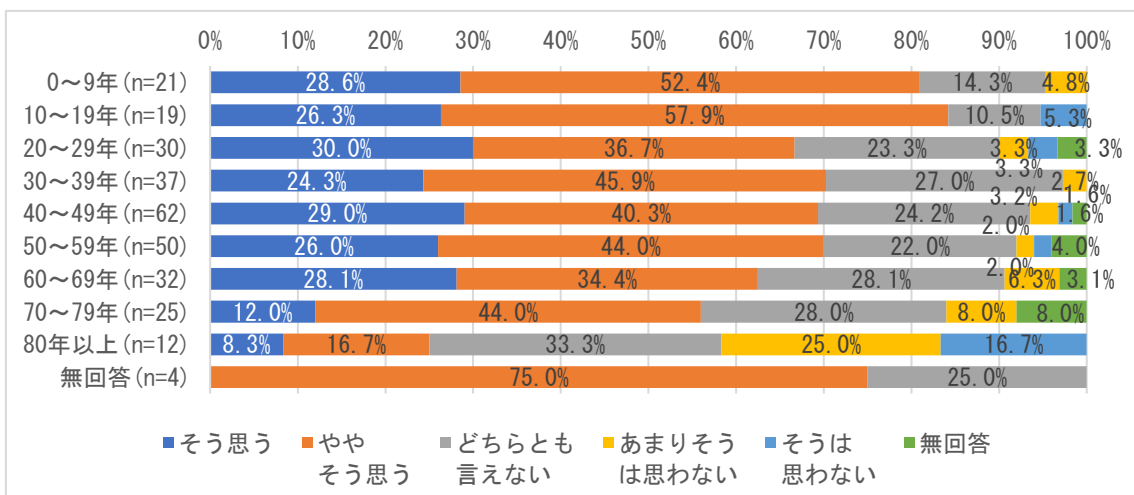


図 3-32 居住年数 × 「健幸の質問」

②転入歴

転入歴について、「生まれてからずっと住んでいる」が 18.5%、「転入してきた」が 81.2%であった(図 3-33)。①居住年数の項目でみた満足度が、「生まれてからずっと住んでいる」と「転入してきた」かの転入歴で特徴がでるのか確認した。

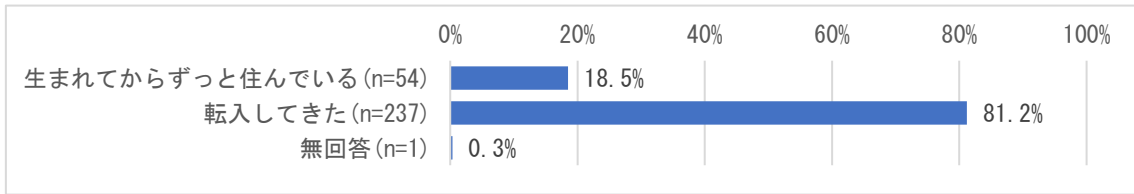


図 3-33 転入歴

回答者が少ないことに留意すべきではあるが、生まれてからずっと住んでいる回答者の満足度は 65～69 年、70～79 年、80 年以上のいずれの居住年数においても、「そう思う」「ややそう思う」の回答が 6 割以上あり、満足度が高かった(図 3-34)。

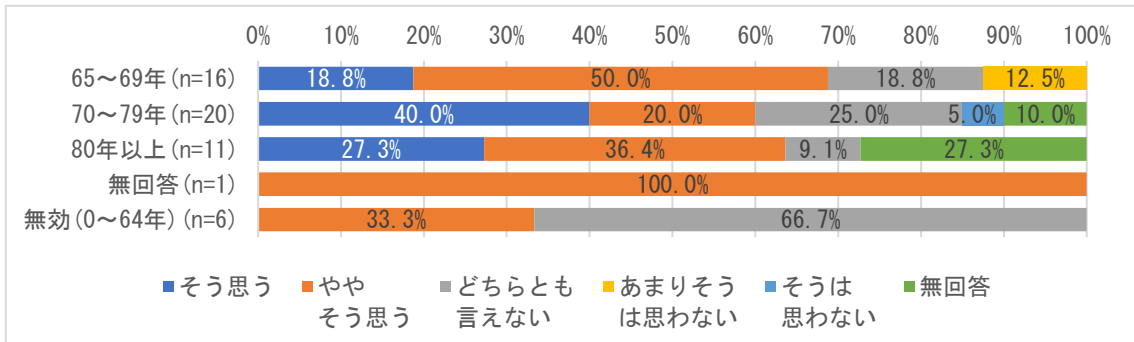


図 3-34 居住年数×「買物環境の質問」(生まれてからずっと住んでいる)

また、こちらに関しても回答者が少ないことに留意すべきではあるが、転入者の居住年数が 70～79 年、10～19 年、60～69 年の回答者の満足度(「そう思う」「ややそう思う」の合計)が高かった(図 3-35)。

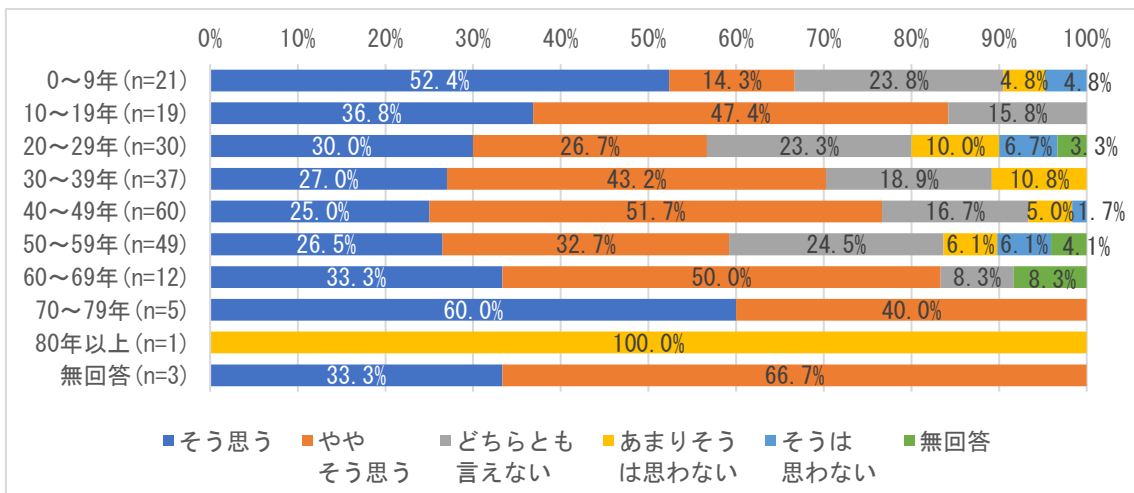


図 3-35 居住年数×「買物環境の質問」(転入してきた)

「健幸の質問」については、転入してきた回答者の方が、生まれてからずっと住んでいる回答者よりも「そう思う」「ややそう思う」の回答が多かった。生まれてからずっと住んでいる回答者は、居住年数が長いほど肯定的な意見が少なくなり、否定的な意見が多くなった。一方で、転入してきた回答者は、0～19年では8割を超えていた満足度（「そう思う」「ややそう思う」の合計）が、20～59年で7割前後にまで落ち込み、60年以上で再び増加に転じた（図3-36、図3-37）。

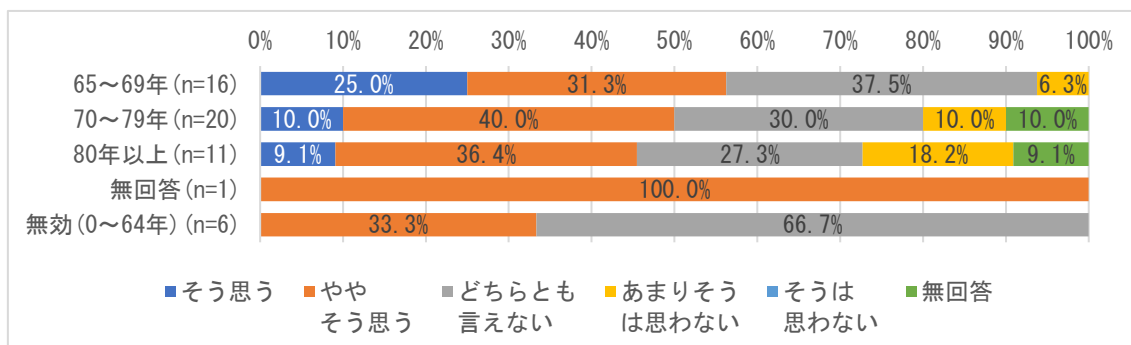


図3-36 居住年数×「健幸の質問」（生まれてからずっと住んでいる）

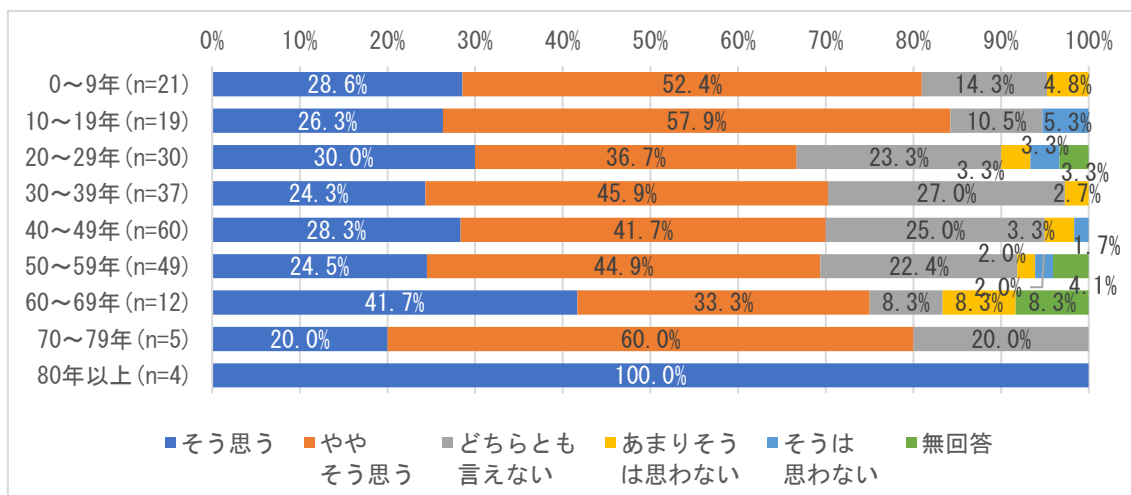


図3-37 居住年数×「健幸の質問」（転入してきた）

③日常生活圏域

「買物環境の質問」に対して、すべての地域で、「そう思う」「ややそう思う」と肯定的な回答が6割を超え、草津と老上では、最も肯定的な「そう思う」の回答が4割を

超えた。反対に「そうは思わない」「あまりそうは思わない」を合わせた否定的な回答は、少ない地域で6.4%、多い地域でも14.3%と少数であった(図3-38)。

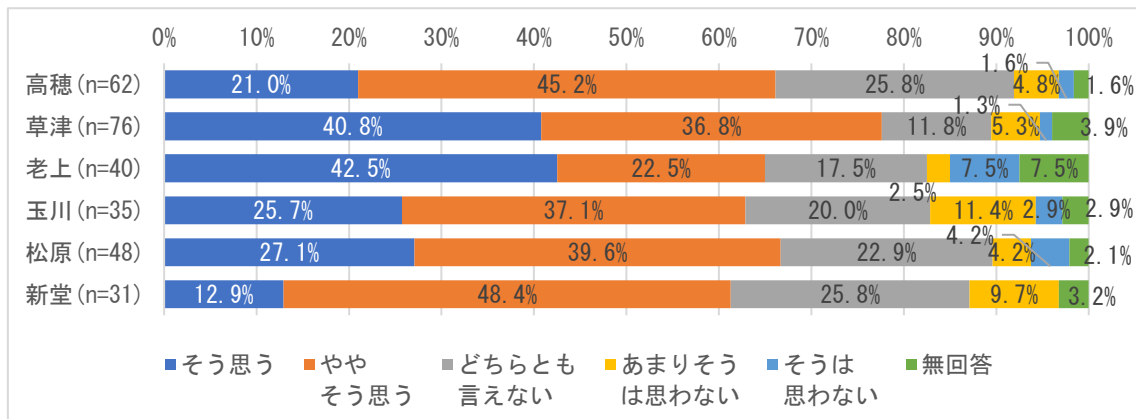


図3-38 日常生活圏域×「買物環境の質問」

一方、「健幸の質問」質問に対しても、「そう思う」「ややそう思う」と肯定的な回答がすべての地域で6割以上となり、最も多い玉川では8割を占めた。反対に「そうは思わない」「あまりそうは思わない」と否定的な回答は、いずれの地域も1割に満たなかった(図3-39)。

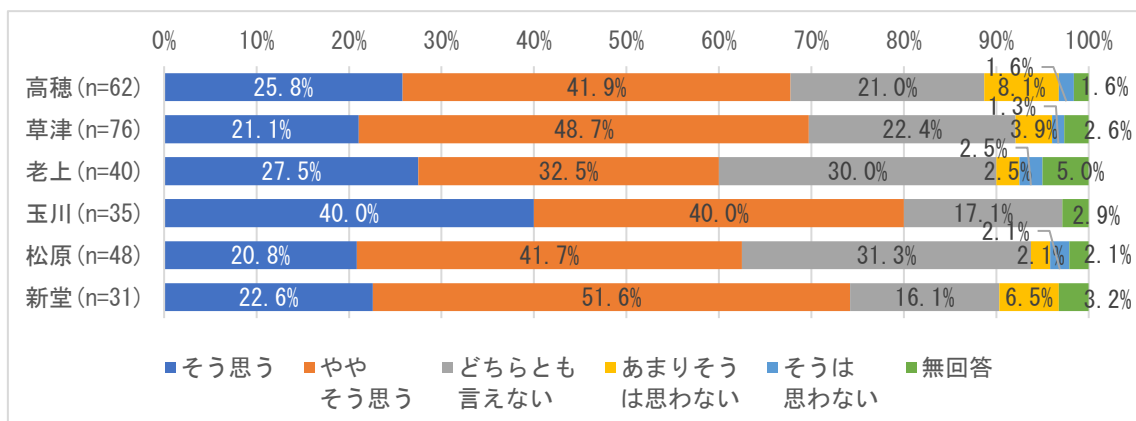


図3-39 日常生活圏域×「健幸の質問」

④買物環境と健幸

「買物環境の質問」「健幸の質問」をクロス集計し、「買物環境の質問」の満足度別に「健幸の質問」に対してどう回答しているかを見た(図3-40)。買物環境に対して「そう思う」と最も肯定的に捉えている回答者は、健幸に対しても肯定的であり、健幸に暮

らせていると思うかについて「そう思う」「ややそう思う」を合わせると9割を占めた。買物環境が整っているかに「ややそう思う」と回答した回答者においても、健幸に対して「そう思う」「ややそう思う」を合わせると7割を超えた。

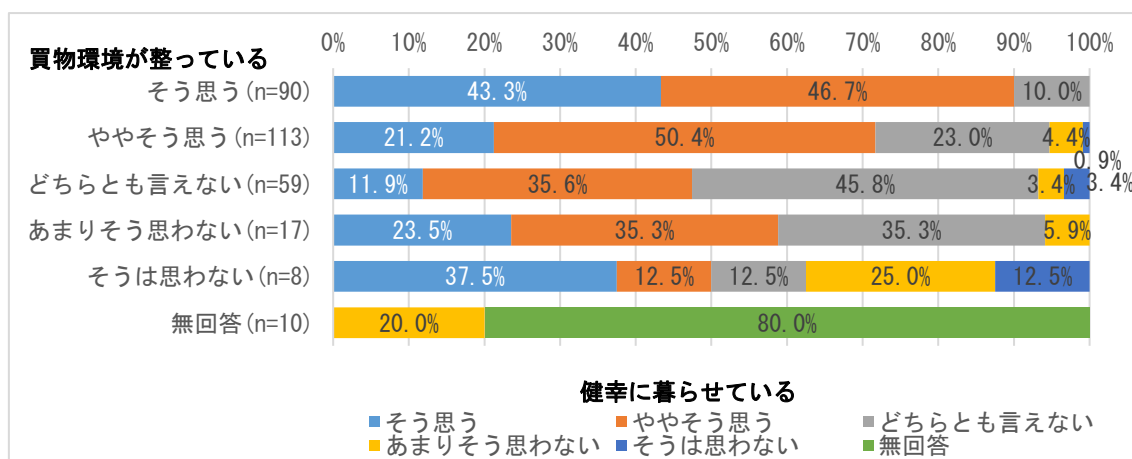


図 3-40 「買物環境の質問」 × 「健幸の質問」

第4章 地域特性

食料品アクセス指標については、駅を中心とした市街地を要する地域は因子2「買物しやすい環境」が良好で困難度は低い傾向が見られたが、その他の因子については、因子2ほど大きな差は見られなかった。多くの地域において、食料品アクセス指標とモラールスケールに正の相関、食料品アクセス指標とイレブンチェックに負の相関、モラールスケールとイレブンチェックに負の相関が示唆された。

また、市民意識調査の「健幸の質問」においては、居住年数が短い方が肯定的な回答が多く、居住年数が長くなるほど否定的な回答が多くなる傾向が見られた。また、草津市に生まれてからずっと住んでいる回答者よりも、転入してきた回答者の方が肯定的な意見が多かった。「買物環境の質問」と「健幸の質問」を見てみると、買物環境に満足している回答者ほど、健幸に対しての満足度は高かった。

以下は、それぞれの地域における特徴を、他地域との比較という観点で整理した。

1 地域における状況

(1) 高穂中学校区

他地域と比べ、包括的食料品アクセスは良好とはいえない。

食料品アクセス指標5因子の合計点を総合的評価として見ると、アクセスが良好とされる合計点数の上位1/3(70~92点)の割合が、他地域と比べ最も低かった。また、食料品アクセス指標の各因子の基準点以下の割合を全市と比較すると、全5因子において基準点以下の割合が全市より高く、因子1「買い物自立度」、因子5「食生活の経済的余裕」は、基準点以下の割合が最も高かった。これらのことから、買い物に困難を抱えている可能性が高い人が多く、高穂の包括的食料品アクセスは良好とはいえない。因子2「買物しやすい環境」の基準点以下の割合は全市より7.7ポイント高く、買物環境に困難を抱える人が多いが、志津学区まちづくりプランによると、山寺町や馬場町など、商業施設の徒歩圏人口カバー率が0%と、徒歩圏内に1,000㎡以上の商業施設が存在しない町もあり(志津まちづくり協議会・草津市(2021))、そうした状況も一因であることが考えられる。食料品アクセス指標、モラールスケール、イレブンチェック、各々の相関関係については、全市と同様の関係が示唆された。

(2) 草津中学校区

買物の移動手段は「徒歩」が多く、買い物しやすい環境は良好である。主観的幸福感は高くない。「小分け販売や少量パックの導入」を望む声が多い。

草津では、特徴的な点がいくつか見られた。まず、食料品アクセス指標の因子2「買物しやすい環境」の基準点以下の割合が全市と比較して16.9ポイント少なかった。加えて、よく利用する食料品店までの移動手段について、他地域では「自動車・バイク」の回答が最多なのに対し、草津のみ「徒歩」が最多で、回答者の45.5%が「徒歩」と回答した。これらのことから、草津では徒歩圏内に買い物できる環境が揃っており、因子2「買物しやすい環境」の困難度が最も低い結果となったと考えられる。次に、モラールスケールを見ると、主観的幸福感が低いとされる0～5点と回答した人の割合が13.6%と6中学校区中2番目に高く、各質問に対し主観的幸福感が高いと評価される加点回答者が7割を超える質問数が、6中学校区中最も少なかった。これらのことから、草津の主観的幸福感は他の地域と比較し、高いとはいえない。次に、利用したいサービスについて、他地域ではいずれも「クーポンやポイント制度による価格支援」が1位、「まめタク・まめバスなど地域公共交通の充実」が2位となっているが、草津のみ「小分け販売・少量パックの導入」が2位で、「まめタク・まめバスなど地域公共交通の充実」は3位となっていることが特徴的である。因子4「食生活面のサポート」の基準点以下の割合が6中学校区中最も高いこともあり、単身者が多いことが要因の一つであると考えられる。食料品アクセス、モラールスケール、イレブンチェック、各々の相関関係については、全市と同様の関係が示唆された。

総合的な食料品アクセスは老上とともに他地域より良好で、市民意識調査の「買物環境の質問」も、草津の満足度が他の地域よりも高かった。

(3) 老上中学校区

因子2「買物しやすい環境」は6中学校区中2番目に良好で、総合的なアクセスは最も良好である。全市で確認された各指標間の相関関係は示唆されなかった。

食料品アクセスの因子2「買物しやすい環境」の基準点以下の割合が全市より8.5ポイント少なく、困難度は他地域と比較して高くない。因子1から4のいずれも他地域と比べ基準点以下の割合が低いが、因子5のみ他地域と同程度となっている。3指標において相関関係は示唆されなかった。市民意識調査における「健幸の質問」に対する肯定

的な意見(そう思う、ややそう思う)は6中学校区中最低であったが、モラールスケールも16・17点(主観的幸福感が高い)の割合が最も低く、健幸、主観的幸福感是他地域より低めである。

(4) 玉川中学校区

包括的食料品アクセスは他地域と比較して良好とはいえない。主観的幸福感是他地域と比較して高い。食料品アクセスとモラールスケールに相関関係が示唆された。

食料品アクセス指標5因子の合計点を総合的評価としてみると、アクセスが良好とされる合計点数の上位1/3(70～92点)の割合が、他地域と比べて少なかった。加えて、食料品アクセスの基準点以下の割合を全市と比較すると、5因子中4因子(買い物自立度以外)において、アクセス困難と評価される基準点以下の割合が高かった。特に、因子3「食料品入手の社会的動機」は基準点以下が最も多かった。これらのことから、玉川の総合的な食料品アクセスは他地域と比較して良好とはいえない。次に、点数が高いほど主観的幸福感が高いとされるモラールスケールを見ると、16～17点の割合が16.9%と6中学校区の中で最も高く、逆に10点以下の割合、0～5点以下の割合は6中学校区中最も低い。加えて、各質問に対し加点となる回答をした回答者の割合が7割を超える質問数を見ると、他地域の中で1番多くなっている。これらのことから、玉川の主観的幸福感是他地域と比較して高い。また、食料品アクセス指標とモラールスケールに正の相関が示唆された。

今回の調査と市民意識調査において、モラールスケールと「健幸の質問」について比較すると、玉川の満足感が高いことが共通していた。

(5) 松原中学校区

他地域と比較して、主観的幸福感は低く、フレイル度は高い。

食料品アクセスについて、因子3「食料品入手の社会的動機」の基準点以下の割合が6中学校区中最も低かった。この因子は知り合いとの会話やおすそわけなどが質問項目としてあり、近所の人間関係が他地域と比較して親密であることが考えられる。モラールスケールについては、主観的幸福感が低いとされる0～5点と回答した人の割合が16.0%と、他地域と比較して1番多く、10点以下で見ても43.2%と1番多かった。このことから、松原の主観的幸福感是他地域と比較して相対的に低い。次に、イレブンチェ

ックにおいては、フレイル度が高いとされる5点以上の回答者の割合が47.5%と他地域と比較して最も多く、反対にフレイル度が低いとされる0～2点の回答者の割合が24.0%と最も低かった。相関関係については、全市と同様の関係が示唆された。

今回の調査と市民意識調査において、モラールスケールと「健幸の質問」について比較すると、松原の満足感が低いことが共通していた。

(6) 新堂中学校区

フレイル度は低い。移動手段が「自動車・バイク」である割合が、他地域と比べ高い。

因子2「買物しやすい環境」は基準点以下の割合が最も高く、因子4「食生活面のサポート」は最も低かった。これは、食料品店へのアクセスは良くないものの、買い物を頼める人がいるなどサポートを受けられる状況にあることが考えられる。また、よく利用する移動手段について、回答者の65.6%が「自動車・バイク」と回答し、6中学校区中、回答割合が最多であった。イレブンチェックにおいて、フレイル度が高い人の割合が38.3%と6中学校区で最も低かった。食料品アクセス指標とイレブンチェック、モラールスケールとイレブンチェックに負の相関関係が示唆された。

2 まとめ

今回の実態調査については、主に日常生活圏域ごとの地域特性の有無を確認することを中心に分析を実施した。

草津中学校区は「よく利用する食料品店までの移動手段」や「今後利用したいサービス」に他地域と異なる結果が確認できたことは興味深い成果の一つである。

今回は特徴となるような点があまり挙げられなかった地域もあるが、より詳細かつ多方面からの分析をすることで、他地域でも特徴を発見できる可能性があると思われる。

おわりに

今回の調査研究は、65歳以上の地域在住高齢者を対象とし、アンケート調査を行ったところ、1,200を超える多くの回答を得た。まずはアンケートに御協力いただいた市民の皆様に感謝申し上げたい。

アンケートについては単純集計、クロス集計を通じ日常生活圏域である中学校区ごとの傾向や特徴、各指標間の相関関係を中心に分析を実施したが、本調査は横断的調査であり、各指標間の関係は関連を示すものであって因果関係を示すものではない。引き続き、立命館大学との共同研究として、今回の調査研究を基礎に詳細な関連性の分析を行う予定をしている。

今後、地域特性の詳細分析や、回答者の買い物、健幸、居住などに関わる個としての類型化などを行い、結果に即した政策を検討することで、今後迎えるであろう更なる高齢化に備え、草津市の買い物環境や市民の主観的幸福感の向上につなげていきたい。

◎関係者一覧

○アドバイザー

清家 理 立命館大学スポーツ健康科学部教授(草津未来研究所 運営委員)

○草津未来研究所

角 一朗 草津市総合政策部 理事(草津未来研究所担当)

横江 美香 草津市総合政策部 草津未来研究所 統括研究員(主担当)

前川 直成 草津市総合政策部 草津未来研究所 参事

山本 裕美 草津市総合政策部 草津未来研究所 研究員

◎参考文献

朝日新聞 Re ライフ.net つながる。変わる。人生ここからホームページ

〈<https://www.asahi.com/relife/article/13230017>〉 (2025. 8. 8 閲覧)

飯坂真司研究室(2025)「買い物便利帳令和7年9月発行」

飯坂真司ほか(2021)「地域在住高齢者に対する包括的アクセス評価尺度の妥当性の検証」

イオンモールホームページ 〈<https://www.aeonmall.com/facility/detail/3312/>〉

(2025. 8. 8 閲覧)

一般社団法人日本老年医学会、国立長寿医療研究センター(2018)『フレイル診療ガイド

2018年版』株式会社ライフ・サイエンス

老上西学区まちづくり協議会・草津市「老上西学区まちづくりプラン令和4年3月」

笠縫東学区まちづくり協議会・草津市「笠縫東学区まちづくりプラン令和4年3月」

草津市「草津あんしんいきいきプラン第9期計画」

草津市「草津市産業振興計画」

草津市「草津市地域公共交通計画」

草津市「草津市版地域再生計画」

草津市「草津市立地適正化計画」

草津市「第6次草津市総合計画」

草津市「令和6年度草津市のまちづくりについての市民意識調査結果報告書」

草津市社会福祉協議会ホームページ

〈<https://www.kusashakyo.or.jp/chiiki/support/carry.html>〉 (2025. 11. 19 閲覧)

経済産業省(2010)「地域生活インフラを支える流通のあり方研究会報告書～地域社会と

ともに生きる流通～」

経済産業省(2015)「買物弱者・フードデザート問題等の現状及び今後の対策のあり方に

関する調査報告書」

公益財団法人長寿科学振興財団(2024)『Aging&Health』No. 111 2024年第33巻第3号

P20-24

公益社団法人東京自治研究センター・公益財団法人生協総合研究所(2022)「都内基礎

自治体データブック(2020年度版) 阿部康弘『深刻化する東京の買物弱者問題、

課題と対策の視点』

国土交通省(2018)「都市構造の評価に関するハンドブック」

国土交通省(2024)「地域の関係者による連携・協働のカタログ」

国立国会図書館(2020)「買物弱者問題」『レファレンス 834号 2020.7』

滋賀県「滋賀の交通」

志津まちづくり協議会・草津市「志津学区まちづくりプラン令和3年3月」

下笠町自治連合会・草津市「笠縫学区まちづくりプラン令和3年3月」

全国市長会(2024)「特集：都市が進める買い物弱者対策」『市制 2024年9月号』

総務省(2017)「買物弱者対策に関する実態調査結果報告書」

東京大学・高齢社会総合研究機構「やってみようフレイルチェック 2016年8月版」

常盤学区活性化プロジェクト検討委員会・草津市「常盤学区まちづくりプラン令和2年3月(令和6年3月改訂)」

農林水産省ホームページ

〈https://www.maff.go.jp/j/shokusan/eat/syoku_akusesu.html〉(2025.8.7閲覧)

農林水産省(2025)「食品アクセス問題(買物困難者)に関する市町村アンケート調査結果」

農林水産省(2025)「地域連携で実現する食品アクセスの確保に関する先進事例集」

農林水産政策研究所ホームページ

〈https://www.maff.go.jp/primaff/seika/fsc/faccess/a_map.html〉(2025.8.7閲覧)

前田ら(1989)「日本全国を調査対象とした representative sample による調査結果」

松岡英子(1996)「独居高齢者の幸福感とその関連要因」

山田学区まちづくり協議会・草津市「山田学区まちづくりプラン令和2年3月(令和6年3月改訂)」

UNHCR ホームページ 〈<https://www.unhcr.org/jp/what-is-refugee>〉(2025.8.8閲覧)

〈https://www.meti.go.jp/policy/economy/distribution/150427_report_2.pdf〉

◎参考資料

参考資料 1	アンケート調査票	54
参考資料 2	アンケート単純集計結果	55
参考資料 3	日常生活圏域地図	65
参考資料 4	買い物便利帳	66
参考資料 5	令和 6 年度草津市のまちづくりについての市民意識調査票	67

参考資料1 アンケート調査票

【調査票】

【御記入のお願い】 当てはまる選択肢に○をつけてください。
送う場合は、一番近いものをお選びください。○の数は、表示に合わせてください。

【御本人の情報】 (○はひとつだけ)

性別	1. 男性 2. 女性 3. その他 (どちらともいえない・わからない・答えたくない)
年齢	1. 65歳～69歳 2. 70歳～74歳 3. 75歳～79歳 4. 80歳～84歳 5. 85歳～89歳 6. 90歳以上
要介護度	1. 要支援1 2. 要支援2 3. 事業対象者 4. 受けていない 5. わからない ※お持ちの介護保険被保険者証で御確認ください。
家族構成	1. 一人暮らし 2. 夫婦二人暮らし (配偶者 65歳以上) 3. 夫婦二人暮らし (配偶者 64歳以下) 4. その他
学区	1. 志津 2. 志津南 3. 津津 4. 大路 5. 沢川 6. 矢倉 7. 老上 8. 老上西 9. 玉川 10. 南笠東 11. 山田 12. 笠縫 13. 笠縫東 14. 常盤
町名 (記入)	

【買い物や生活について】

問1：現在、あなたは自動車の運転をしていますか。(○はひとつだけ)

1. 運転している	2. (免許はあるが) 運転しない
3. (もともと) 運転免許がない	4. 運転免許を返納した

問2：食料品を買いに行くときに、利用しているサービスはありますか。(利用するものすべてに○)

1. 福祉タクシー運賃助成事業	2. 介護予防・生活支援サービス
3. 地域交流い運送支援事業 (社協)	4. 福祉有償運送 (NPO 法人等)
5. その他 ()	
6. 利用しているサービスはない	7. わからない

問3：よく利用する食料品店までの、主な移動手段は何ですか。(○はひとつだけ)

1. 徒歩	2. 自転車
3. 自動車・バイク	4. 家族等による送迎
5. まめバス (コミュニティバス)	6. まめタク (デマンド型乗合タクシー)
7. その他 ()	

問4：自宅からよく利用する食料品店まで、(問3で回答した移動手段で)片道でどのくらいの時間がかかりますか。(○はひとつだけ)

1. 5分以内	2. 10分以内
3. 15分以内	4. 30分以内
5. 30分以上	

問5：どのくらいの頻度で食料品を購入しますか。(○はひとつだけ)

1. ほぼ毎日	2. 週4～5日
3. 週2～3日	4. 週1回程度
5. 月1～2回	

問6：普段の食事の準備は自分でしますか。(○はひとつだけ)

1. 自分でする	2. 自分でできるが、していない
3. 自分でできない	

問7：コンビニやスーパーの宅配サービスを利用していますか。(○はひとつだけ)

1. 利用している	2. 知っているが、利用していない
3. (宅配をしている店を) 知らない	

【問7で「2. 知っているが、利用していない」と回答した方】

問7-1：宅配サービスを利用しない理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

1. 手続きが難しい	2. 手続きがわずらわしい
3. 手数料など費用がかかる	4. 品物を自分で確認できない
5. その他 ()	

問8：(食料品以外も含め)インターネットで買い物をしますか。(○はひとつだけ)

1. する	2. できるが、しない
3. できない	

【問8で「2. できるが、しない」と回答した方】

問8-1：インターネットでの買い物をしない理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

1. 操作が難しい	2. 操作がわずらわしい
3. 送料など費用がかかる	4. 品物を自分で確認できない
5. その他 ()	

問9：買い物をしやすくするため、今後、以下のようなサービスがあれば利用したい(あったら役立つ)と思いますか。利用したい(役立つ)と思う程度を教えてください。

1 = 利用したいと思わない	2 = あまり利用したくない	3 = どちらともいえない	4 = 利用したい	5 = ぜひ利用したい
----------------	----------------	---------------	-----------	-------------

No	利用したいサービス (あったら役立つ)	選択肢				
1	自治体・NPO (ボランティア) 等による送迎サービス (買い物送迎)	1	2	3	4	5
2	移動販売車 (生鮮品を乗せた移動店舗)	1	2	3	4	5
3	宅配やネットスーパーの配達料補助	1	2	3	4	5
4	ボランティア等による買い物代行サービス	1	2	3	4	5
5	店舗の宅配サービス・出張販売	1	2	3	4	5
6	まめタク・まめバスなど地域公共交通の充実	1	2	3	4	5
7	店までの歩行環境整備 (ベンチ設置、坂道対策など)	1	2	3	4	5
8	店内でのバリアフリー対応・セルフレジサポート	1	2	3	4	5
9	オンライン注文の支援 (スマートフォン教室・インターネット教室など)	1	2	3	4	5
10	小分け販売・少量パックの導入	1	2	3	4	5
11	クーポンやポイント制度による価格支援	1	2	3	4	5
12	近隣住民との共同購入・分配支援	1	2	3	4	5
13	その他 ()	1	2	3	4	5

問9-1：上記の中で、最も利用したいサービスはどれですか。 番

問9-2：今後利用したいと思うサービスに費用がかかる場合、1回当たりいくらまでを利用しますか。

1. 100円以内	2. 101円～300円	3. 301円～500円
4. 501円～1000円	5. 1001円以上	

【食料品アクセスについて】

問10：この一週間の食料品の買い物を想定し、あてはまるもの一つを選んでください。

No	質問	あてはまる		あてはまらない	
		とても	やや	あまり	まったくない
1	自分が行きたい時に、買い物に行くことができない	1	2	3	4
2	体の問題で、買い物に行くのに苦労する	1	2	3	4
3	体の問題で、買った品を持ち帰るのに苦労する	1	2	3	4
4	道路の問題 (坂道、階段、狭さなど) で、買い物に行くのに苦労する	1	2	3	4
5	お会計に手間取ったり、焦ったりする	1	2	3	4
6	カートや杖をもって、店内を移動するのに苦労する	1	2	3	4
7	私の住んでいる地域では、スーパーが充実している	4	3	2	1
8	私の住んでいる地域では、食料品を買うのに色々な店を使い分けられる	4	3	2	1
9	よく食料品を買いに行く店は、家から歩いて行ける場所にある	4	3	2	1
10	よく食料品を買いに行く店は、何かのついでに行くことができる場所にある	4	3	2	1
11	よく食料品を買いに行く店は、必要な食料品がすべてそろう	4	3	2	1
12	近所の人と料理をおすそわけしたり、買ったものを分けあったりする	4	3	2	1
13	よく行くお店の店員は親切だと感じる	4	3	2	1
14	買い物に行った時に、知り合いと会って会話をすることがある	4	3	2	1
15	近所の人や友人と一緒に買い物に行く	4	3	2	1
16	買い物は日常の楽しみの一つである	4	3	2	1
17	食事は日常の楽しみの一つである	4	3	2	1
18	買い物に行きたい時に、送り迎えしてもらえる人がいる	4	3	2	1
19	体調の悪い時に、代わりに買い物頼める人がいる	4	3	2	1
20	1日1回は、誰かと一緒に食事をする	4	3	2	1
21	食事にはなるべくお金をかけたくない	1	2	3	4
22	家計が苦しいため、欲しい食料品を購入できない	1	2	3	4
23	少しでも安い店や割引がある店を優先して利用する	1	2	3	4

【主観的幸福感について】
問11：現在のあなたのお気持ちについて、当てはまるのはどちらですか。(わからない場合、どちらに近いですか。)

No	質問	はい	いいえ
1	人生は年をとるにつれて、悪くなっていくと思いますか	0	1
2	去年と同じくらい元気ですか	1	0
3	さびしいと思うことがありますか	0	1
4	最近になって、ささいなことが気になるようになりましたか	0	1
5	家族や親戚や友人によく会いますか	1	0
6	年をとるにつれて役に立たなくなると思いますか	0	1
7	心配だったり気になったりして、眠れないことがありますか	0	1
8	年をとるということは、若い時に考えていたよりも良いことだと思いますか	1	0
9	生きていても仕方がないと思うことがよくありますか	0	1
10	若い時と同じように幸福ですか	1	0
11	悲しいことがたくさんありますか	0	1
12	心配なことがたくさんありますか	0	1
13	前より腰を立てることが多くなりましたか	0	1
14	生きることが大変なことだと思いますか	0	1
15	今の生活に満足していますか	1	0
16	物事を深刻に考えるほうですか	0	1
17	心配事があると、すぐにおろおろするほうですか	0	1

【フレイル度について】
問12：各質問について、当てはまると思う方はどちらですか。

No	質問	はい	いいえ
1	ほぼ同じ年齢の同性と比較して、健康に気をつけた食事を心がけていますか	0	1
2	野菜料理と主菜（肉か魚）を両方とも、毎日2回以上は食べていますか	0	1
3	「さきいか」「たくあん」くらいの固さの食品を、普通にかみ切れますか	0	1
4	お茶や汁物でむせることがありますか	1	0
5	1回30分以上の汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していますか	0	1
6	日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していますか	0	1
7	ほぼ同じ年齢の同性と比較して、歩く速度が速いと思いますか	0	1
8	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1	0
9	1日に1回以上は、誰かと一緒に食事をしていますか	0	1
10	自分が活気にあふれていると思いますか	0	1
11	何よりもまず、もの忘れが気になりますか	1	0

※フレイルとは…加齢により心身が衰えた状態

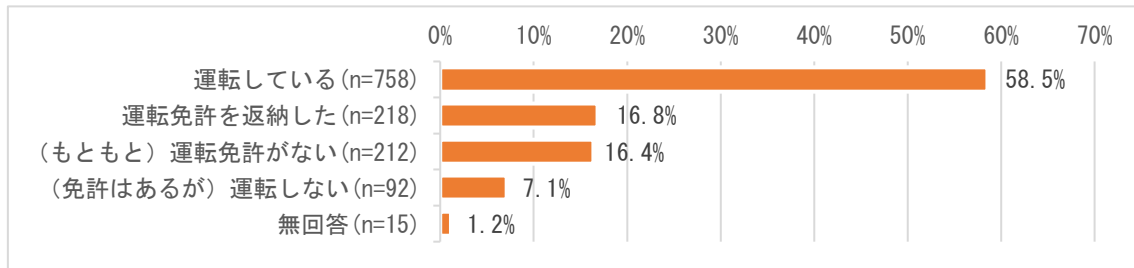
質問は以上です。御協力ありがとうございました。

この調査票は、同封の返信用封筒に入れて、11月20日(木)までに投函してください。

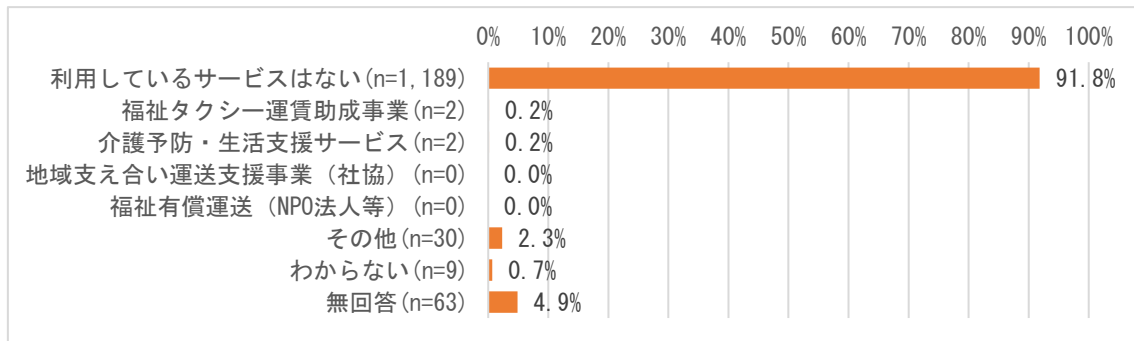
参考資料2 アンケート単純集計結果

※掲載している図表は、端数処理の関係上合計が100%とならない場合がある。

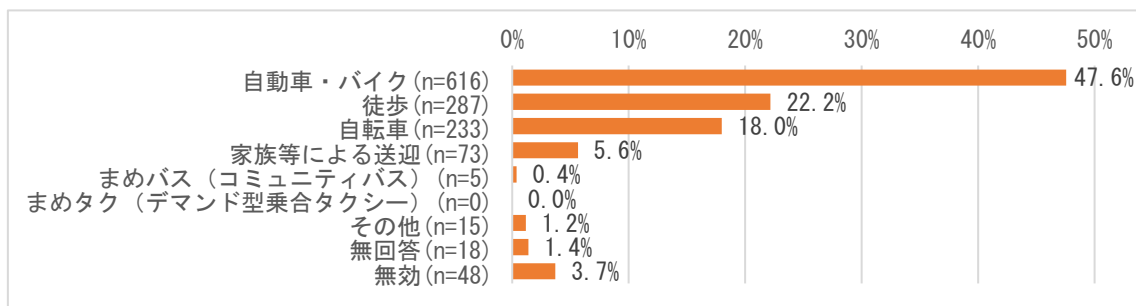
問1 現在、あなたは自動車の運転をしていますか。



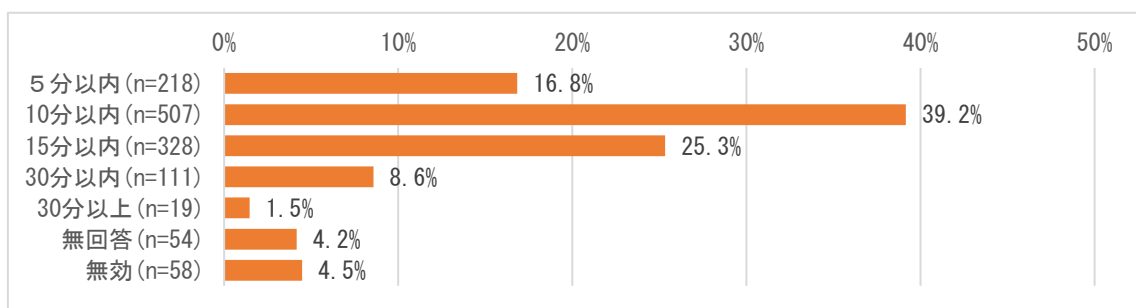
問2 食料品を買いに行くときに、利用しているサービスはありますか。(複数回答可)



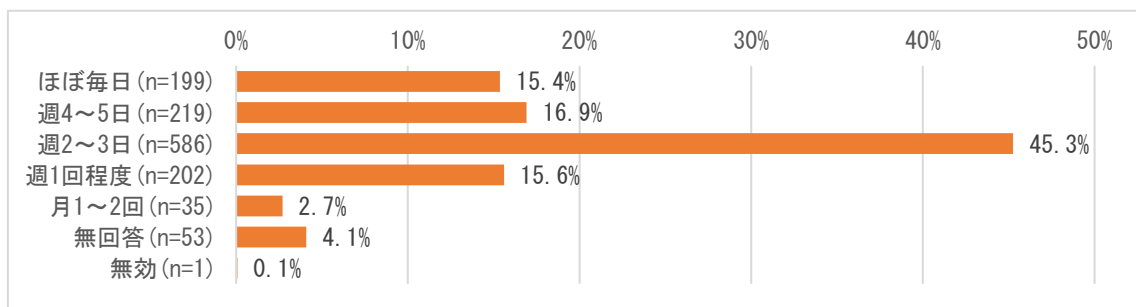
問3 よく利用する食料品店までの、主な移動手段は何ですか。



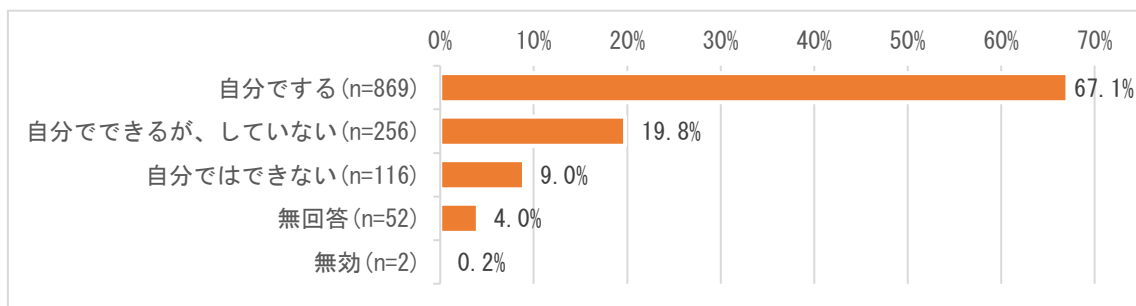
問4 自宅からよく利用する食料品店まで、(問3で回答した移動手段で)片道でどのくらい時間がかかりますか。



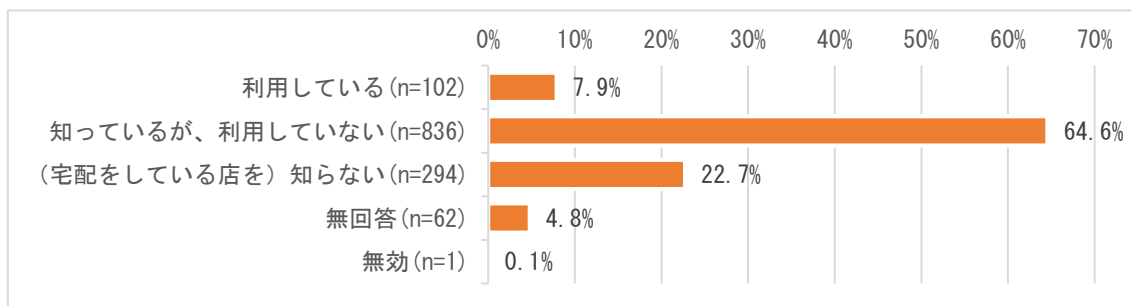
問5 どのくらいの頻度で食料品を購入しますか。



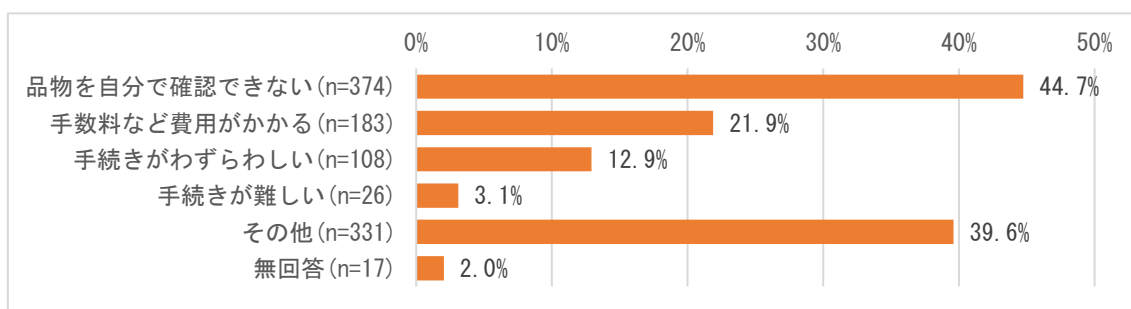
問6 普段の食事の準備は自分でしますか。



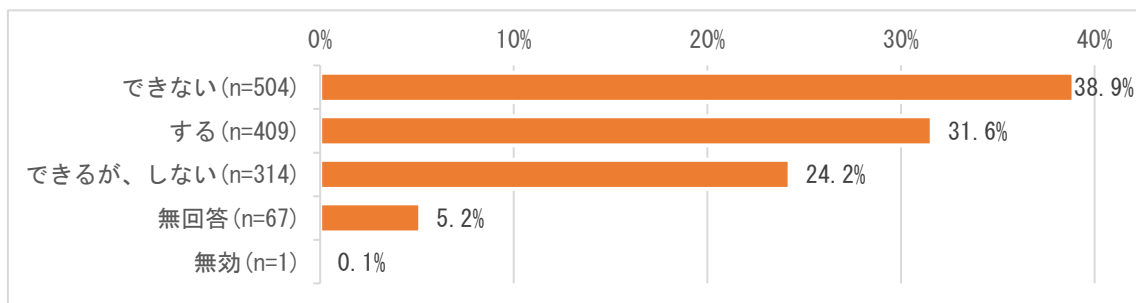
問7 コンビニやスーパーの宅配サービスを利用していますか。



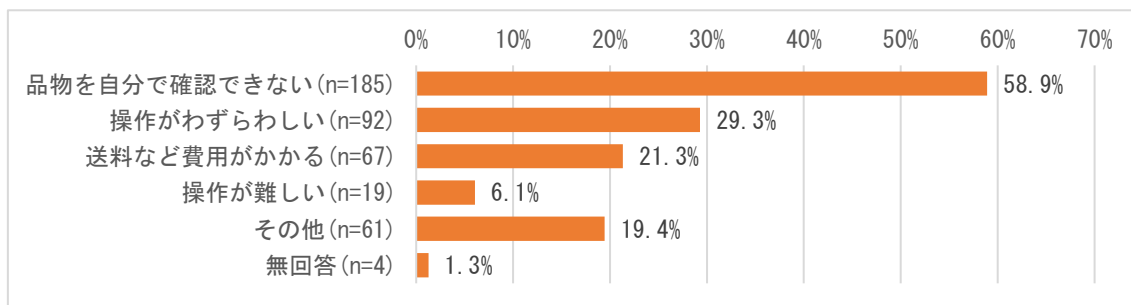
問7-1 宅配サービスを利用しない理由は何ですか。(複数回答可)



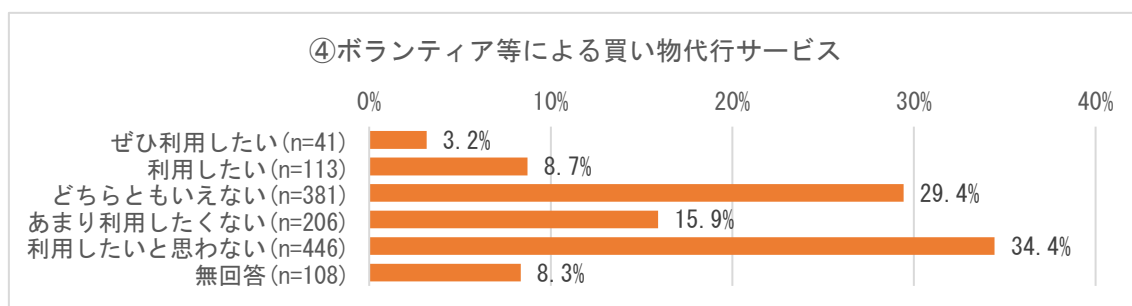
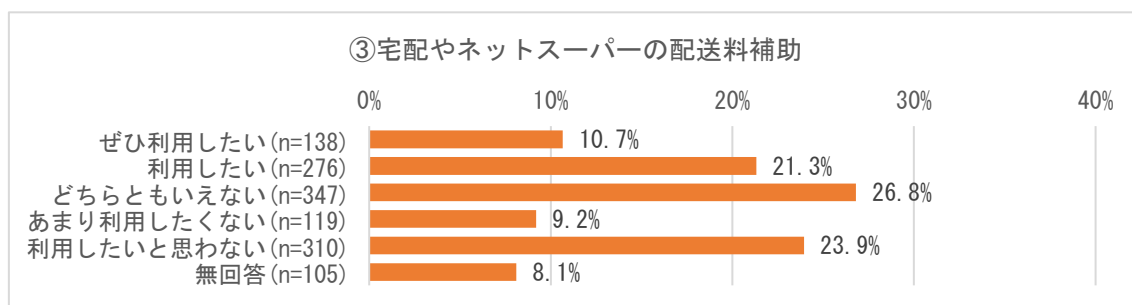
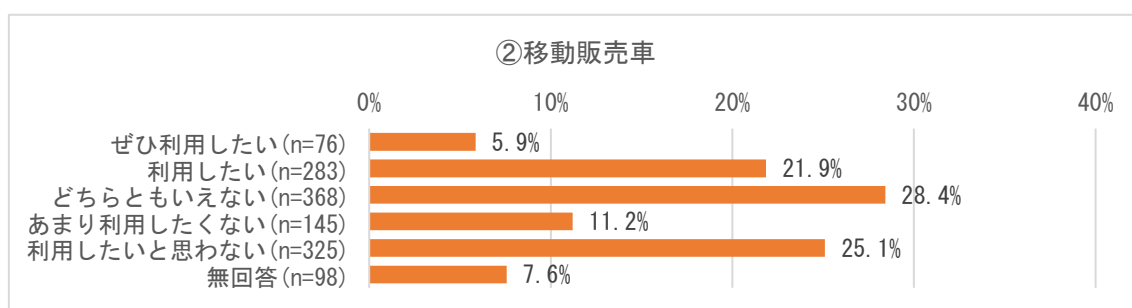
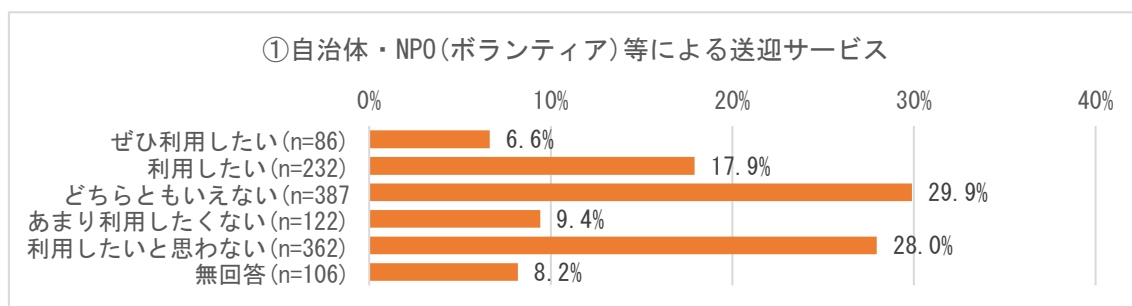
問8 (食料品以外も含め) インターネットで買い物をしますか。



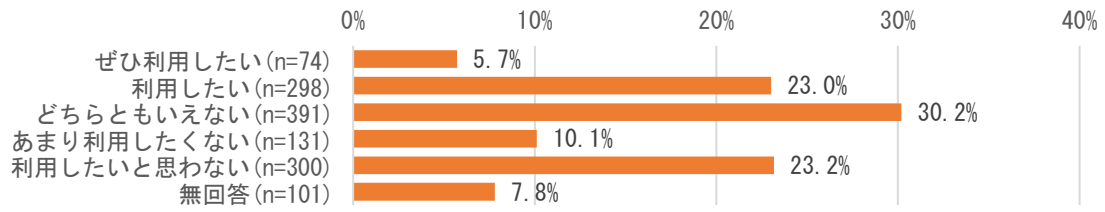
問8-1 インターネットでの買い物をしない理由は何ですか。(複数回答可)



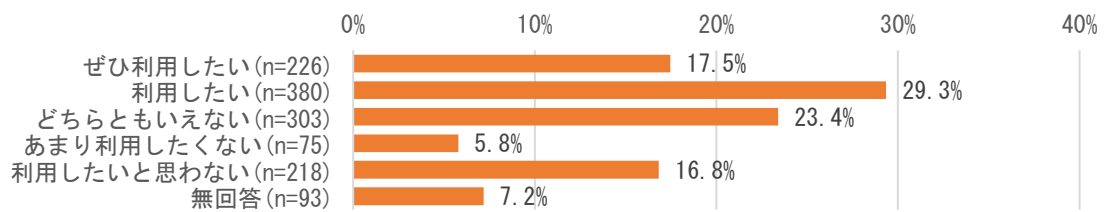
問9 買い物をしやすくするため、今後、以下のようなサービスがあれば利用したい(あったら役立つ)と思いますか。利用したい(役立つ)と思う程度を教えてください。



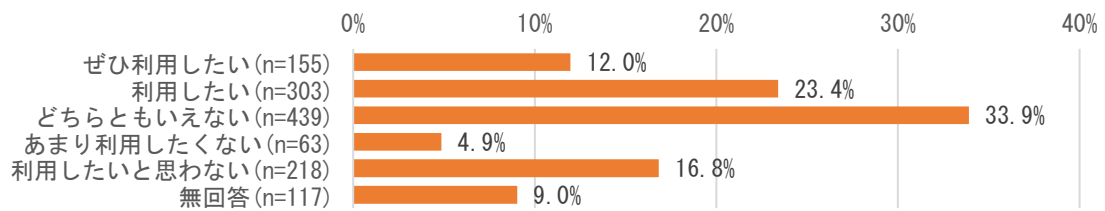
⑤店舗の宅配サービス・出張販売



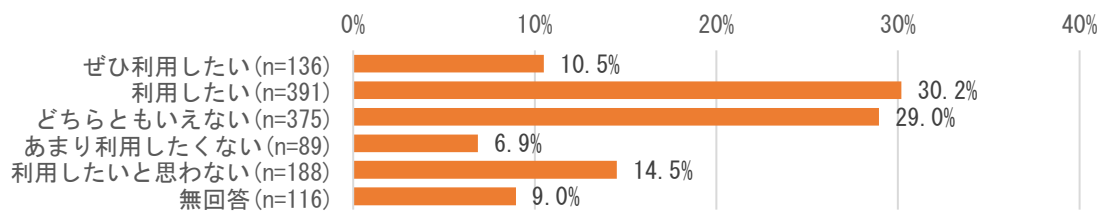
⑥まめタク・まめバスなど地域公共交通の充実



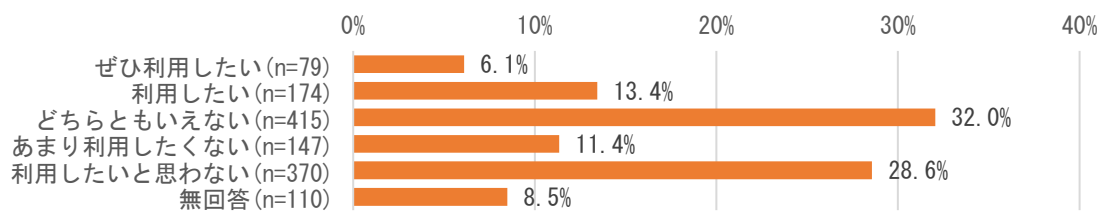
⑦店までの歩行環境整備

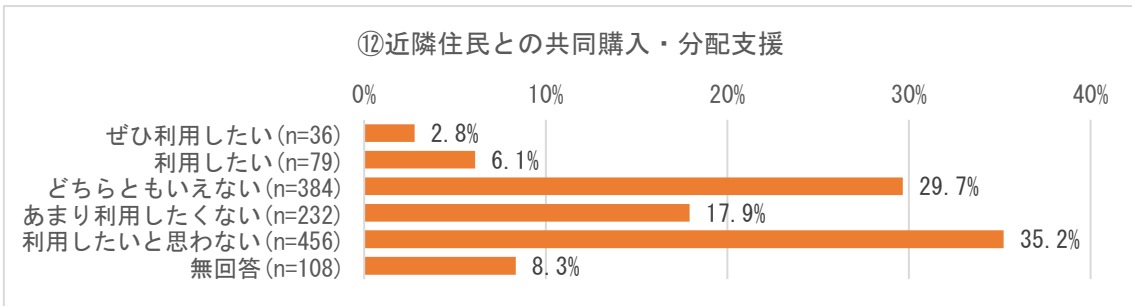
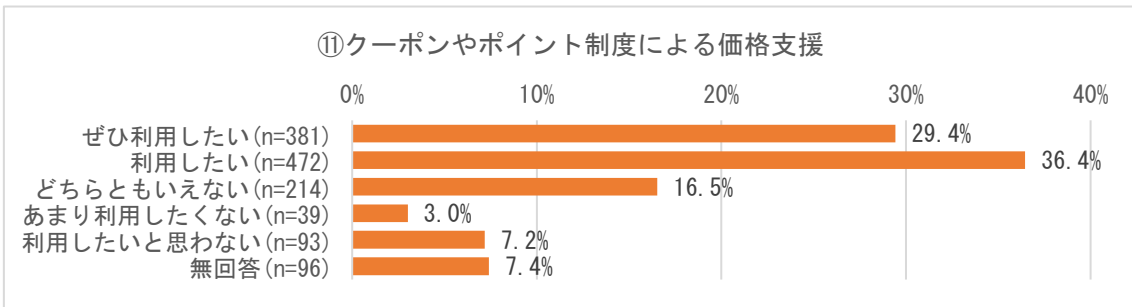
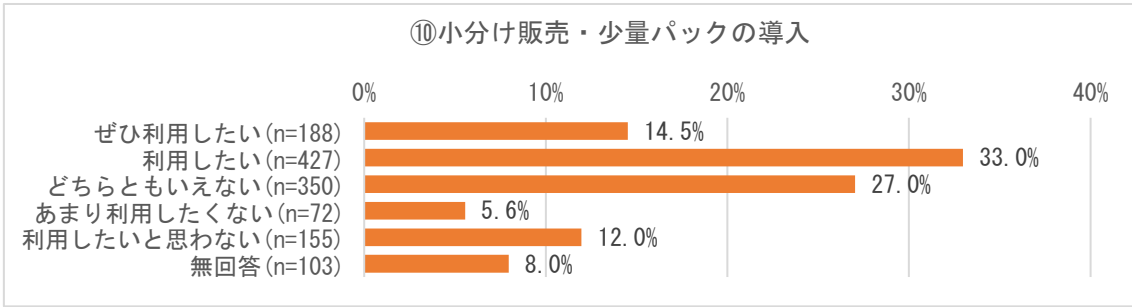


⑧店内でのバリアフリー対応・セルフレジサポート

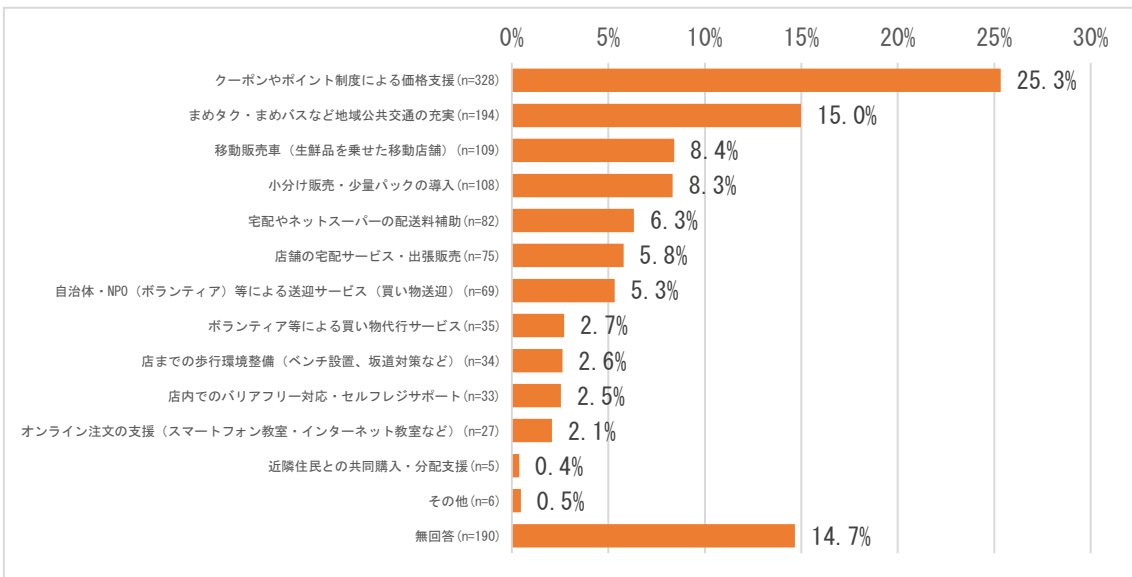


⑨オンライン注文の支援

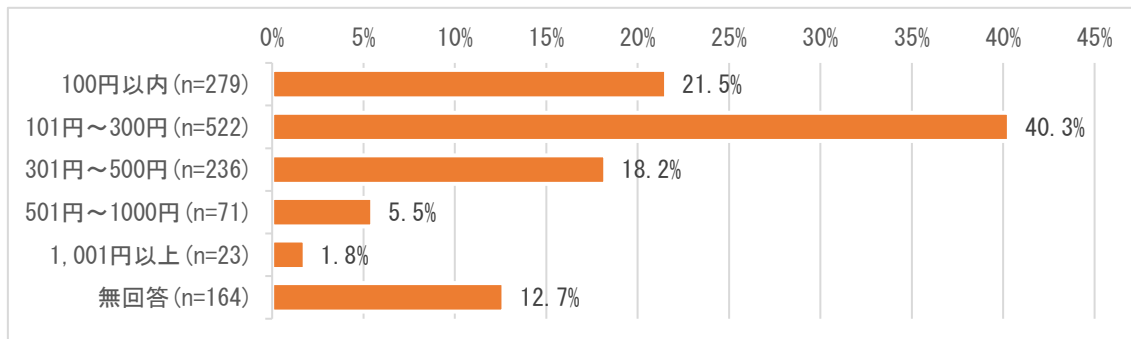




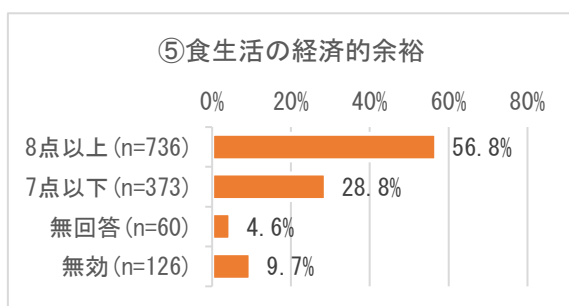
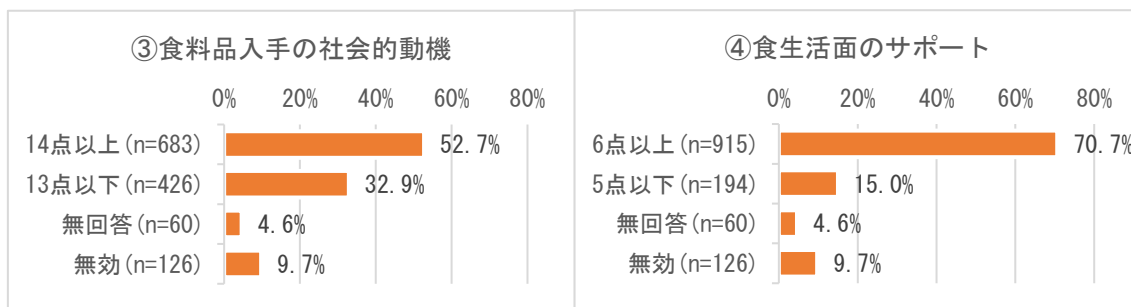
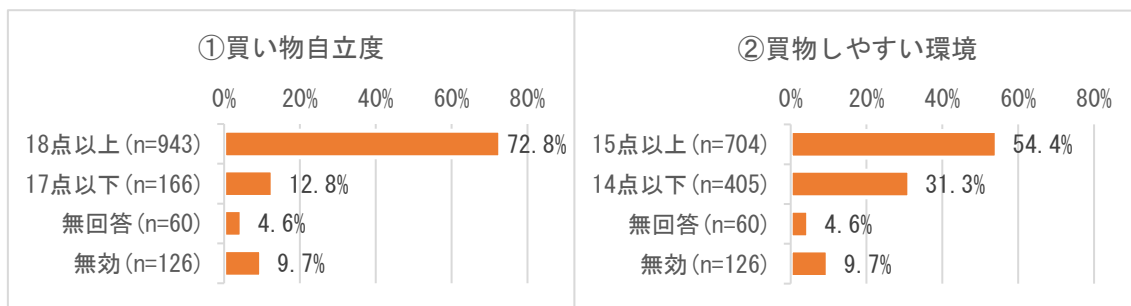
問 9-1 上記の中で、最も利用したいサービスはどれですか。



問9-2 今後利用したいと思うサービスに費用がかかる場合、1回当たりいくらまでなら利用しますか。

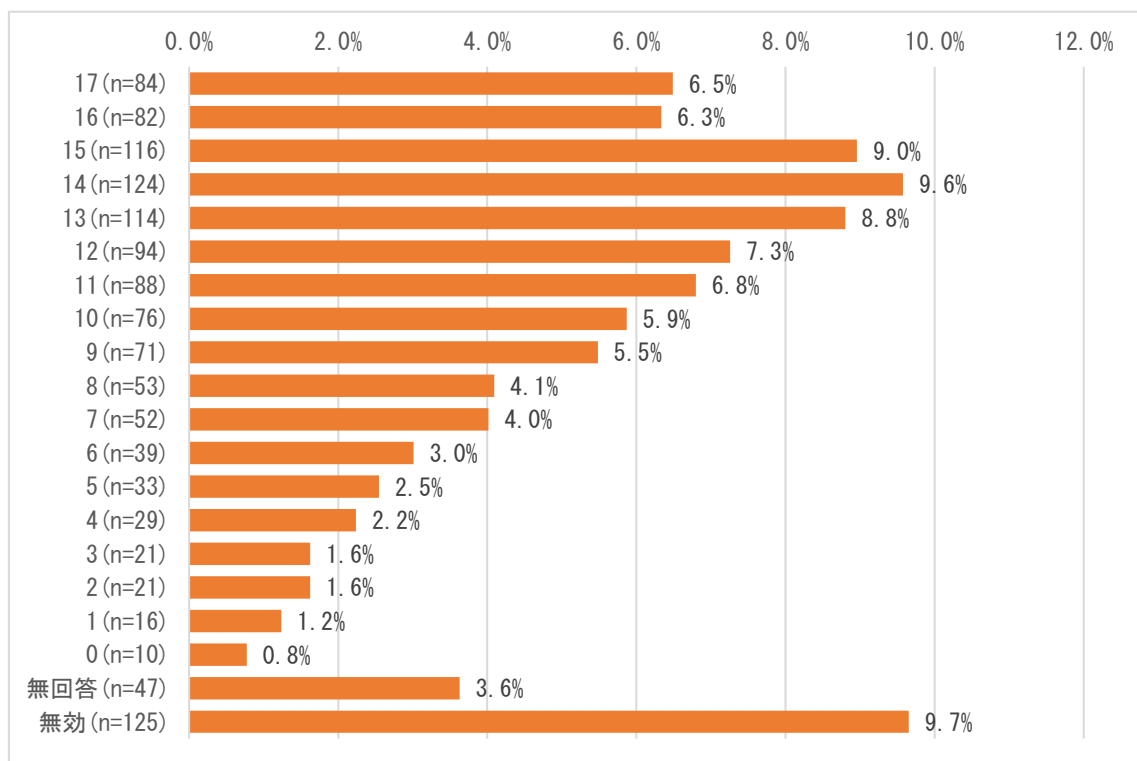


問10 この一週間の食料品の買い物を想定し、あてはまるものを一つ選んでください。



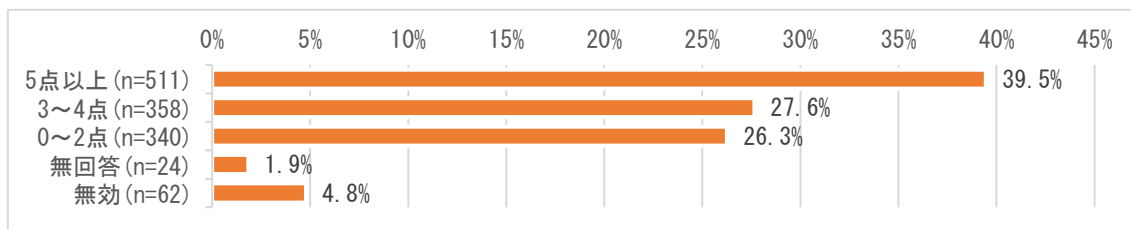
問 11 現在のあなたのお気持ちについて、当てはまるのはどちらですか。(わからない場合、どちらに近いですか。)

問	質問	点数	
		はい	いいえ
1	人生は年をとるにつれて、悪くなっていくと思いますか	0	1
2	去年と同じくらい元気ですか	1	0
3	さびしいと思うことがありますか	0	1
4	最近になって、ささいなことが気になるようになりましたか	0	1
5	家族や親戚や友人によく会いますか	1	0
6	年をとるにつれて役に立てなくなると思いますか	0	1
7	心配だったり気になったりして、眠れないことがありますか	0	1
8	年をとるということは、若い時に考えていたよりも良いことだと思いますか	1	0
9	生きていても仕方がないと思うことがよくありますか	0	1
10	若い時と同じように幸福ですか	1	0
11	悲しいことがたくさんありますか	0	1
12	心配なことがたくさんありますか	0	1
13	前より腹を立てることが多くなりましたか	0	1
14	生きることが大変なことだと思いますか	0	1
15	今の生活に満足していますか	1	0
16	物事を深刻に考えるほうですか	0	1
17	心配事があると、すぐにおろおろするほうですか	0	1



問 12 各質問について、当てはまると思う方はどちらですか。

問	質問	点数	
		はい	いいえ
1	ほぼ同じ年齢の同性と比較して、健康に気をつけた食事を心がけていますか	0	1
2	野菜料理と主菜（肉か魚）を両方とも、毎日2回以上は食べていますか	0	1
3	「さきいか」「たくあん」くらいの固さの食品を、普通にかみ切れますか	0	1
4	お茶や汁物でむせることがありますか	1	0
5	1回30分以上の汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していますか	0	1
6	日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していますか	0	1
7	ほぼ同じ年齢の同性と比較して、歩く速度が速いと思いますか	0	1
8	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1	0
9	1日に1回以上は、誰かと一緒に食事をしていますか	0	1
10	自分が活気にあふれていると思いますか	0	1
11	何よりもまず、もの忘れが気になりますか	1	0

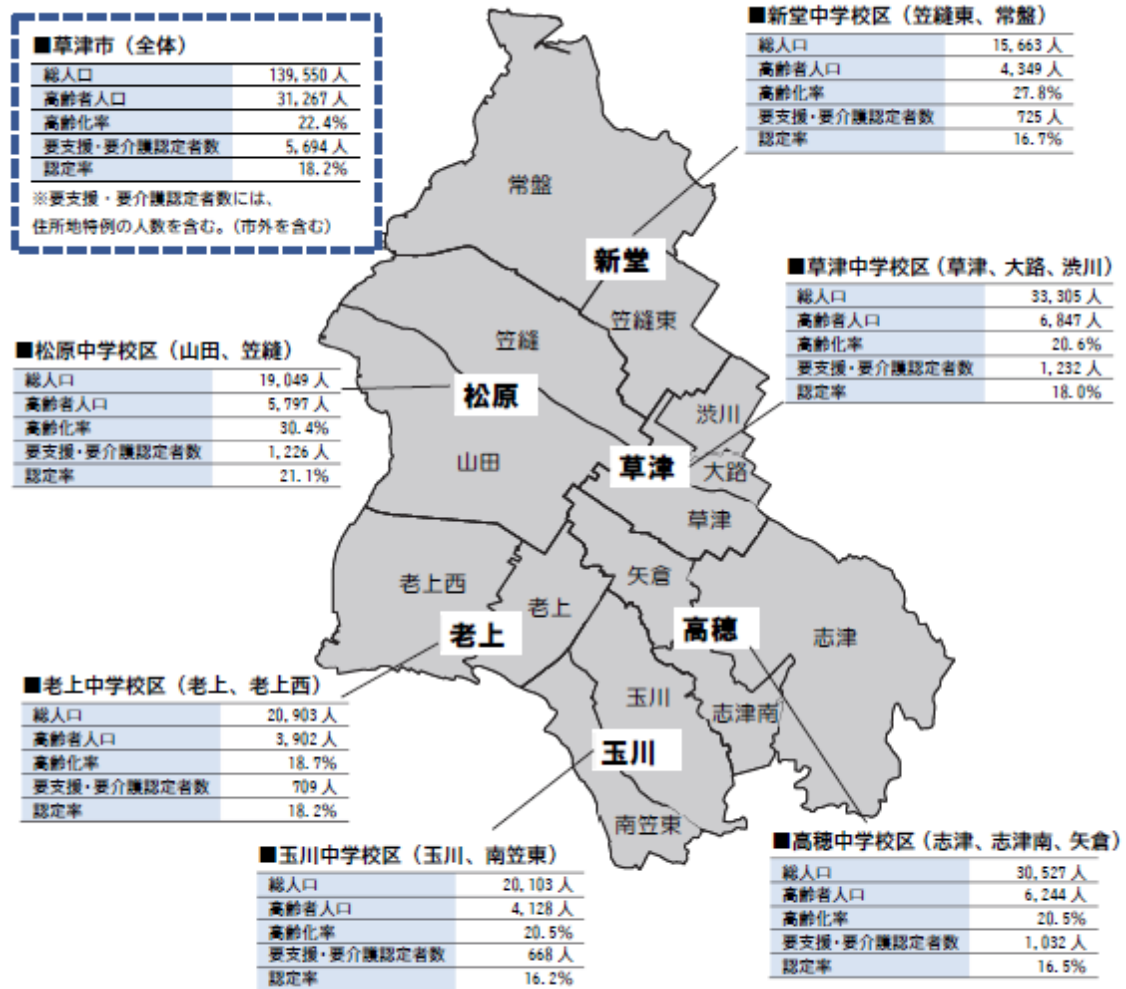


単純集計結果まとめ

※単純集計は、無回答・無効を含む。

- ・回答者の58.5%が自動車を「運転している」、「運転免許を返答した」は16.8%だった。
- ・9割以上が買物に当たって「利用しているサービスはない」と回答した。
- ・よく利用する食料品店までの主な移動手段は「自動車・バイク」が半数近くを占め、次に多いのが「徒歩」「自転車」だった。
- ・よく利用する食料品店まで、自宅から片道「5分以内」が16.8%、「10分以内」が39.2%で、回答者の半数以上が「10分以内」だった。
- ・食料品を購入する頻度は「週2～3日」が45.3%、「ほぼ毎日」が15.4%、「週4～5日」が16.9%で、8割近くが週2回以上食料品を購入している。
- ・普段の食事の準備を「自分でする」は67.1%、「自分でできるが、していない」が19.8%、「自分ではできない」は9.0%であった。
- ・コンビニやスーパーの宅配サービスを「利用している」のは7.9%で、64.6%が「知っているが、利用していない」であった。利用しない理由は「品物を自分で確認できない」が最も多かった。
- ・食料品以外も含め、インターネットを使って買物を「する」は31.6%、「できるがしない」が24.2%、「できない」が38.9%だった。「できるがしない」理由は「品物を自分で確認できない」が最多であった。
- ・あれば最も利用したいサービスは、「⑩クーポンやポイント制度による価格支援」が最も多かった。
- ・あれば利用したいサービスに費用がかかる場合の1回当たりの費用負担は、「101円～300円」が40.3%、「100円以内」21.5%、「301円～500円」が18.2%だった。
- ・包括的食料品アクセス指標の基準以下の回答者が多かったのは、③食料品入手の社会的動機で32.9%、②買物しやすい環境で31.3%、反対に、基準以上の回答者が多かったのは、①買い物自立度72.8%、④食生活面のサポートで70.7%だった。
- ・モラールスケールは、回答者の合計得点の平均は11.24となり、日本全国を調査対象とした平均値11.23(前田ら、1989)とほぼ同じであった。
- ・イレブンチェック結果は、フレイルの可能性が高いとされる5点以上は39.5%、3～4点が27.6%、0～2点が26.3%だった。

参考資料3 日常生活圏域地図



資料：総人口、高齢者人口は住民基本台帳、要支援・要介護認定者数(第1号被保険者のみ)は草津市資料（令和5年10月1日）

出所 草津あんしんいきいきプラン第9期計画

参考資料4 買い物便利帳

あなたの「食料品アクセス度」を チェックしてみましょう					合計		あなたのタイプ	おすすめ 買い物術・サービス
No.	この1週間の食料品の買い物を想定し、各質問にあてはまる選択肢を1つ選んでください	あてはまる とても	あてはまる やや	あてはまらない あまり	あてはまらない まったく	合計	あなたのタイプ	おすすめ 買い物術・サービス
1	自分が行きたい時に、買い物に行くことができない	1	2	3	4	点	① 買い物 体力低下 タイプ	P7~8
2	体の問題で、買い物に行くのに苦労する	1	2	3	4			
3	体の問題で、買った品を持ち帰るのに苦労する	1	2	3	4			
4	道路の問題（坂道、階段、狭さなど）で、買い物に行くのに苦労する	1	2	3	4			
5	お会計に手間取ったり、焦ったりする	1	2	3	4			
6	カートや杖をもって、店内を移動するのに苦労する	1	2	3	4			
7	私の住んでいる地域では、スーパーが充実している	4	3	2	1	点	② 食の 砂漠化 タイプ	P7~8
8	私の住んでいる地域では、食料品を買うのに色々な店を使い分けられる	4	3	2	1			
9	よく食料品を買いに行く店は、家から歩いていける場所にある	4	3	2	1			
10	よく食料品を買いに行く店は、何かのついでに行くことができる場所にある	4	3	2	1			
11	よく食料品を買いに行く店は、必要な食料品がすべてそろっている	4	3	2	1			
12	近所の人と料理をおすそわけしたり、買ったものを分けあったりする	4	3	2	1	点	③ 買い物の 楽しみ 不足 タイプ	P9
13	よく行くお店の店員は親切だと感じる	4	3	2	1			
14	買い物に行った時に、知り合いと会って会話することがある	4	3	2	1			
15	近所の人や友人と一緒に買い物に行く	4	3	2	1			
16	買い物は日常の楽しみの一つである	4	3	2	1			
17	食事は日常の楽しみの一つである	4	3	2	1	点	④ 将来心配 タイプ	P7~9
18	買い物に行きたい時に、送り迎えしてくれる人がいる	4	3	2	1			
19	体調の悪い時に、代わりに買い物を頼める人がいる	4	3	2	1			
20	1日1回は、誰かと一緒に食事をする	4	3	2	1	点	⑤ 食費心配 タイプ	P9
21	食事にはなるべくお金をかけたくない	1	2	3	4			
22	家計が苦しいため、欲しい食料品を購入できない	1	2	3	4			
23	少しでも安い店や割引がある店を優先して利用する	1	2	3	4	点		

飯坂真司ほか、厚生労働省の指標2021(68)(3)33-42.

10

11

出所 飯坂真司研究室発行「買い物便利帳」より抜粋

参考資料5 令和6年度草津市のまちづくりについての市民意識調査票

草津市のまちづくりについての市民意識調査

日頃はお世話になり、御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。
さて、草津市では、令和3年4月から「第6次草津市総合計画」に基づく市政運営に取り組んでおり、「ひと・まち・をきをつなぐ 絆をつくる 心をつくる 健康創造都市 草津」を未来ビジョンとして掲げ、その実現のために、様々な施策の取組を進めております。
この調査は、「第6次草津市総合計画第1期基本計画（令和3年度～令和6年度）」の本市の取組の評価をいただくため実施するものです。
御多量の所託とは存じますが、最善の御理解いただき御協力くださいますようお願い申し上げます。
令和6年10月 草津市長 橋川 渉

【調査への回答にあたって】

● この調査は、令和6年9月1日現在で草津市にお住まいの18歳以上の皆様の中から、0.01万人を無作為に選んで御協力をお願いしております。
封筒のあて名が御本人が御回答ください。
※ 何らかの理由で御本人による回答が難しい場合は、御本人のお考えを尊重し、代理の方が御記入いただきますようお願いいたします。

● 住所・氏名・連絡先を回答いただく必要はありません。なお、すべての回答内容は統計的に処理して、調査結果は所期の目的にのみ用い、プライバシーの保護に全力を期します。

【郵送提出を希望される場合】
▶ 回答は、この調査票に直接記入してください。
▶ 記入後は、この調査票を同封の返信用封筒に入れて封を、無記名のまま、最寄りの郵便ポストに投函してください。切手は不要です。
▶ この調査票の左上に付されている番号は、インターネット回答との重複を避けるために記載しているもので、個人を特定するための番号ではありません。

【インターネット回答を希望される場合】
▶ パソコン、スマートフォンいずれか一つの方法で回答してください。
▶ インターネットと郵送で重複して提出された場合、インターネット回答を優先します。
▶ スマートフォンで回答される場合、「問4」はこの調査票をお手元に置いていただき、「取組の満足度」「令和6年度の主な取組」を確認しながら回答してください。

【回答期間】 郵送・インターネットとも 10月21日（月）まで

(お問い合わせ先)
草津市 総合政策課 企画調整課 電話 (077) 561-2320 (直通)
ファクス (077) 561-2489
メール kikkafcity.kusatsu.lg.jp

草津市市制施行70周年

住みよでランキング2024で、全国10位(8129位中)、近畿3位(111位中)になりました。

※住みよでランキングは、株式会社新洋新報社から毎年発表されており、「安心度」、「利便度」、「快適度」、「富裕度」の4つの観点から20指標について満足度を算出し、すべての指標の満足度を平均したものを総合評価としています。草津市は、10年以上連続して近畿トップ5にランクインし、近畿圏内では12年連続で1位となっています。

全国順位	2024	2023	2022	2021	2020	2019	2018	2017	2016	2015	2014	2013	2012	2011	2010
全国順位	210	170	140	200	240	410	750	340	420	380	200	100			
近畿3位	1位	1位	1位	1位	1位	3位	5位	3位	2位	3位	1位	3位			
近畿圏内	1位														

■あなた(あて名の方)御自身のことについておたずねします。

Q1 あなたの性別をおたずねします。あてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけてください。
また、あなたの年齢を記入してください。

性別	1. 男性	2. 女性	3. 回答しない
年齢	()歳		

Q2 あなたは草津市にどれくらいお住まいですか。おおよその居住年数を数字で御記入ください。
また、草津市外から転入してこられたかどうかについて、あてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけてください。

草津市におよそ()年住んでいる

1. 生まれからずっと草津市に住んでいる 2. 草津市外から転入してきた

Q3 あなたのお住まいの地域はどこですか。以下の地域から選んであてはまるものに○印をつけてください。

1. 志津	5. 湊川	9. 玉川	13. 笠縫東
2. 志津南	6. 矢倉	10. 南栄庄	14. 常盤
3. 草津	7. 老上	11. 山田	15. 不明(町名や自治会名を書いてください)
4. 大浜	8. 老上西	12. 笠縫	()

■市の取組に対する満足度や重要度についておたずねします。

Q4 草津市のまちづくりについて、あなたがどのように感じられるかお聞かせください。
市が行っている取組について、次の項目の「取組の満足度」と「令和6年度の主な取組」を参考にしていただき、「満足度」と「重要度」※について、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んで○印をつけてください。

◆記入例

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要度	重要	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからない
-----	----	------	----	------	----	-------	-----	----	----	------	----	---------	------	-------

※満足度:現在の状態で満足しているか ※重要度:重点的に取り組むべきかと思うか。

◆1.「人権の尊重」について、満足度と重要度をおたずねします。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要度	重要	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからない
-----	----	------	----	------	----	-------	-----	----	----	------	----	---------	------	-------

取組の概要: あらゆる差別をなくし、人権意識の向上を図るとともに、すべての人があたたかい心を持ちあつて明るく住みよまちは実現するため、人権教育・啓発に関する取組の推進や相談体制の充実を図ります。

令和6年度の主な取組: 人権セミナー、糾問問題市民連絡会議、いのち・愛・人権のついで等の啓発事業の実施、人権相談窓口の設置、地域や団体での人権学習の支援、人権学習母子「めぐみ」等の発行、多様な価値観・生き方を認め合える社会の実現のため、パートナーシップ宣誓制度を導入

◆2.「男女共同参画社会の構築」について、満足度と重要度をおたずねします。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要度	重要	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからない
-----	----	------	----	------	----	-------	-----	----	----	------	----	---------	------	-------

取組の概要: 男女共同参画についての意識啓発を図り、男女がともに喜びと責任を分かち合える男女共同参画社会の構築を進めます。

令和6年度の主な取組: 女性の新たな一歩を応援する起業塾(個人事業)や女性の料理教室等の学習会を実施、誰もが安心して、かつ、自立して暮らせるよう、DVなどの困難な問題、不安を抱える方への相談支援や生活用品などの提供を通じた支援、女性のための専門相談を実施

◆3.「子どもの生き生き力を育む教育の推進」について、満足度と重要度をおたずねします。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要度	重要	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからない
-----	----	------	----	------	----	-------	-----	----	----	------	----	---------	------	-------

取組の概要: “豊かな心と健やかな体” “豊かな学力” の育成を図るため、各種事業を効果的に展開することにより、子どもの生き生き力を育む教育を推進します。

令和6年度の主な取組: 一人一台タブレット端末や電子辞書、AIタブレットドリルなどICT機器の活用、子ども一人ひとりに合わせた学びの支援を行うための、多様な職員の配置、全小中学校で身近な地域について学び、課題解決に向け行動・発信する学習の実施

◆4.「学校の教育力の向上」について、満足度と重要度をおたずねします。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要度	重要	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからない
-----	----	------	----	------	----	-------	-----	----	----	------	----	---------	------	-------

取組の概要: 学校の教育力の向上を図るため、教職員の資質向上や学校経営の充実、学校施設の計画的な整備等の各種事業を効果的に展開します。

令和6年度の主な取組: 熱中対策、防災機能強化のための県内で初めての全小中学校の体育館等にエアコン整備、教員の業務を支援するスクール・サポート・スタッフを全小中学校に配置、不登校傾向の子どもたちの居場所として全小中学校に登校支援室を設置し、職員を配置

◆5.「生涯学習の推進」について、満足度と重要度をおたずねします。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要度	重要	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからない
-----	----	------	----	------	----	-------	-----	----	----	------	----	---------	------	-------

取組の概要: 市民の心豊かに、生きがいをもって生活を送れるよう、学習情報の提供と学習機会の充実を図り、生涯学習を推進します。

令和6年度の主な取組: 地域の特色を生かし、子どもと大人が世代を超えて学びあう「地域協働会」を実施、立命館草津市びわこ講座や家庭教育関連講座、学びの地域支援講座を実施、読書活動推進のため、移動図書館車の巡回エリアの拡大

◆6.「スポーツの充実」について、満足度と重要度をおたずねします。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要度	重要	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからない
-----	----	------	----	------	----	-------	-----	----	----	------	----	---------	------	-------

取組の概要: 市民が楽しく健康で、生き生きとした生活を送れるよう、スポーツの充実や多様な価値の実現に取り組むため、スポーツ文化の醸成されたまちづくりを推進します。

令和6年度の主な取組: スポーツ実施率向上のため、各種大会の開催支援等、スポーツに取り組む機会を創出、スポーツ環境の充実のため、草津市アールの整備やスポーツ施設の管理・運営、国スポ・障スポ開催に向けて、啓発活動等の機運醸成の取組やリハーサル大会の実施

◆7.「文化財の保存と活用」について、満足度と重要度をおたずねします。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要度	重要	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからない
-----	----	------	----	------	----	-------	-----	----	----	------	----	---------	------	-------

取組の概要: 本市の財産である文化財を後世に守り伝えるため、適切な保存を図るとともに、豊かな歴史文化の醸成や魅力を活用するための施策の充実を図ります。

令和6年度の主な取組: 埋蔵文化財の調査や指定文化財の保護継承への補助、国指定史跡の保存整備等の実施、歴史文化を学ぶ講座等の開催や、地域や学校で歴史文化等に触れる機会の創出、史跡草津宿本陣の復元工事の実施や、草津宿街道交流館での展示・講座等を開催

◆8.「文化・芸術の振興」について、満足度と重要度をおたずねします。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要度	重要	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからない
-----	----	------	----	------	----	-------	-----	----	----	------	----	---------	------	-------

取組の概要: 文化の薫り高い“出会い”と“交流”に満ちた活力と魅力にあふれるまちを築くため、誰もが文化に触れることができる機会を充実させるとともに、都市の魅力としての文化の創造と発展に取り組み、文化・芸術の振興を図ります。

令和6年度の主な取組: 芸術作品の発表と鑑賞の機会を提供する草津市美術鑑賞会を開催、アートフェスタくさつなど、子どもや若者が文化芸術に関心をもつ機会を創出、ミカホール改修工事や、クラレホールを含めたホールの適切な管理運営

◆9.「市民自治の確立」について、満足度と重要度をおたずねします。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要度	重要	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからない
-----	----	------	----	------	----	-------	-----	----	----	------	----	---------	------	-------

取組の概要: 市民主体のまちづくりを進めるため、多様なつながりの形成と協働の促進により、地域や世代を超えた力の結集を図るとともに、まちづくり活動の拠点となる施設の積極的な活用を促進します。

令和6年度の主な取組: 地域の課題解決や更なる地域づくりの推進のための取組に交付金を交付、地域のまちづくりの拠点である地域まちづくりセンターの適切な管理運営および整備、市民交流の拠点である市民総合交流センター(キラエ草津)の適切な管理運営

◆10.「基礎的コミュニティの活性化」について、満足度と重要度をおたずねします。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要度	重要	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからない
-----	----	------	----	------	----	-------	-----	----	----	------	----	---------	------	-------

取組の概要: 住みよまちなを築くため、基礎的コミュニティ(町内会や地縁に基づく各種団体)を中心とした見える地域社会の形成を図ります。

令和6年度の主な取組: 多様な多様な地域課題の現状把握・分析のため、町内会へアンケート調査を実施、町内会活動の活性化のため、保険加入などに対する各種補助金を交付、町内会への交流促進のため、転入者に対し町内会の意義などを周知し加入を案内

◆11.「市民公益活動の促進」について、満足度と重要度をおたずねします。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要度	重要	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからない
-----	----	------	----	------	----	-------	-----	----	----	------	----	---------	------	-------

取組の概要: 市民公益活動や各地域のまちづくりを担う団体の活動を促進するため、中間支援組織である(公財)草津コミュニティ事業推進センターを創設します。

令和6年度の主な取組: ボランティア活動をはじめとする多様なまちづくり活動の促進のため、事業団を通じた助成事業や相談・コンサルティング、他団体とのコーディネートの実施、事業団が発行する情報誌「コミュニティくさつ」を通じた市民公益活動団体等の紹介

◆12.「多文化共生社会の構築」について、満足度と重要度をおたずねします。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要度	重要	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからない
-----	----	------	----	------	----	-------	-----	----	----	------	----	---------	------	-------

取組の概要: 多様な人材が活躍でき、活気あるまちづくりを進めるため、国籍や民族などの異なる人々がお互いの違いを認め合い、対等な関係で築けるよう多文化共生の推進に努めます。

令和6年度の主な取組: 外国人にもわかりやすい「やさしい日本語」を講座や広報くさつにより普及・啓発、国際交流協会を通じて多文化交流イベントや外国人向け日本語講座の実施、外国人住民が市役所において各種行政手続きを円滑に進めるための通訳支援

◆13. 「地域力」のあるまちづくりについて、満足度と重要度を教えてください。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからぬ	重要度	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからぬ
-----	----	------	----	------	----	------	-----	----	------	----	---------	------	------

取組の概要 地域社会の閉鎖性に住民が気づき、主体的に、または関係する組織や行政等との協働を図りながら、問題解決や地域の価値を創造し、地域における多様な人々による助け合い、支え合いを推進します。

中核的な取組 ・(組) 草津市社会福祉協議会と連携し、地域における「助け合い、支え合い」活動を支援
・地域福祉の担い手である民生委員・児童委員の活動を支援
・災害時の助け合いの輪を広げるため、避難行動要支援者登録制度を推進

◆14. 「福祉の総合的な相談・支援の充実」について、満足度と重要度を教えてください。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからぬ	重要度	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからぬ
-----	----	------	----	------	----	------	-----	----	------	----	---------	------	------

取組の概要 複合的な生活課題を抱える人、ひきこもりや生きづらさを感じている人・世帯の早期発見に努め、様々な福祉課題に対して、総合的な相談・支援を行います。

中核的な取組 ・分野横断的な支援体制整備の推進や、福祉の総合相談、就労相談、生活困窮者の自立支援、障害児者の基幹相談支援センターによる相談、生活保護の実施
・住いにくい高齢者への市営住宅などの供給

◆15. 「市民の健康づくり」について、満足度と重要度を教えてください。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからぬ	重要度	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからぬ
-----	----	------	----	------	----	------	-----	----	------	----	---------	------	------

取組の概要 「誰もが健康で生き生きできるまち草津」を目標とし、健康寿命の延伸を図るため、体とこころの健康づくりや感染症予防への関心を高めるとともに、周囲の人の心身の不調に気づく重要性を周知し、心身の疾病予防・重症化予防を強化します。

中核的な取組 ・がん検診、带状疱疹予防接種補助、こころと体の健康づくりに関する情報を発信
・健康都市づくりの実現のため、健康づくりのきっかけとなるイベントや啓発を実施
・地域特性に応じ、住民や様々な関係団体との協働による健康づくりを支援

◆16. 「医療保険制度の適正運用」について、満足度と重要度を教えてください。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからぬ	重要度	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからぬ
-----	----	------	----	------	----	------	-----	----	------	----	---------	------	------

取組の概要 国民健康保険制度および後期高齢者医療制度について、国民健康保険の創設が単年度の高齢化のさらなる進展を踏まえ、市民が安心して医療を利用できるよう安定運営を行うとともに、社会的に強い立場にある方に対する増給医療助成を行い、医療にかかる経済的負担を軽減を図ります。また、特定医療費や特定医療指導等の医療事業を実施し、医療者の健康寿命の延伸や医療費の適正化を図ります。

中核的な取組 ・手続や申請書類などの発注時に、パンフレットなどにより制度説明・周知を実施
・若い世代向けに高齢者のための、集団けんがら会場での託児サービスを実施
・障害のある人やひとり親家庭などを対象とした医療費助成を実施

◆17. 「切れ目のない子育て支援」について、満足度と重要度を教えてください。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからぬ	重要度	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからぬ
-----	----	------	----	------	----	------	-----	----	------	----	---------	------	------

取組の概要 妊娠から子育てまでの切れ目のない相談・支援・情報提供を行い、子育ての不安を軽減します。また、医療機関や子育て支援に関する団体との連携を図ることで、より安心して子育てのできる環境を整えるとともに、市民に取組を認識されるよう周知に努めます。

中核的な取組 ・妊娠期間から子育てまでの切れ目のない情報提供を実施
・子どもの健やかな成長・発達や健康増進を図るため、乳幼児健診を実施
・ミナカサひろば等の市庁7か所で親子がいきいきと交流・相談できる居場所の提供

◆22. 「あんなにできる高齢期の生活への支援」について、満足度と重要度を教えてください。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからぬ	重要度	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからぬ
-----	----	------	----	------	----	------	-----	----	------	----	---------	------	------

取組の概要 高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう、介護サービスの充実や医療と介護の切れ目のない提供体制の構築、地域での支え合いの体制づくりに取り組みます。また、認知症の人や家族が安心して暮らせるまちづくりを進めます。

中核的な取組 ・高齢者等が気軽に相談できる地域包括支援センターを各学区区で運営
・認知症高齢者等個人賠償責任保険など、認知症があっても安心なまちづくりを推進
・在宅の要介護者の衛生向上と介護者の負担軽減のため、紙おむつ等を自宅まで配達

◆23. 「共に生きる社会の推進」について、満足度と重要度を教えてください。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからぬ	重要度	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからぬ
-----	----	------	----	------	----	------	-----	----	------	----	---------	------	------

取組の概要 地域における障害のある人へのききこもるサービス提供の強化や人材の育成、社会参加の促進を行うことで、地域に暮らす誰もが互いを尊重し安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます。

中核的な取組 ・地域での支援体制づくりを進め、希望に寄り添った障害福祉サービスの提供を実施
・障害と障害のある人への理解促進および虐待防止にかかる取組を実施
・障害のある人の社会参加促進のため、外出支援や意思疎通支援などを実施

◆24. 「自助・共助による防災対策の充実」について、満足度と重要度を教えてください。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからぬ	重要度	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからぬ
-----	----	------	----	------	----	------	-----	----	------	----	---------	------	------

取組の概要 市民の防災意識の高揚と自主防災体制の確立を図るとともに、住宅密集化の促進や適切な避難行動の周知等を進めます。また、避難所における感染症対策などの防災対策を進めます。

中核的な取組 ・災害時に自力で避難することが難しい方を対象とした個別避難計画の作成
・マンション管理組合が設置する自主防災組織への補助の新設および資機材補助の拡充
・シニアクラブ等組織（一斉防災訓練）や防災意識の喚起

◆25. 「災害に強いまちづくり」について、満足度と重要度を教えてください。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからぬ	重要度	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからぬ
-----	----	------	----	------	----	------	-----	----	------	----	---------	------	------

取組の概要 防災備蓄の整備等、消防・防災の体制や、危機管理体制の充実を図って、災害に強いまちづくりを進めます。

中核的な取組 ・学区まちづくり協議会との連携による草津市総合防災訓練の実施
・県内初のトイレトレーラーの導入やペットボトル回収機等の防災・災害用品の拡充
・学区が作成する災害時の行動・連絡体制などを記した地区防災計画の策定と支援

◆26. 「治水対策の推進」について、満足度と重要度を教えてください。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからぬ	重要度	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからぬ
-----	----	------	----	------	----	------	-----	----	------	----	---------	------	------

取組の概要 治水対策のため、河川・排水路の適切な整備と管理を行います。

中核的な取組 ・大雨時の治水対策の軽減のため、雨合幹線(未通)の排水能力向上を図る整備を推進
・地域からの危険箇所の通報や要望に基づき、河川等の速やかな改修、修繕を実施
・河川への侵食防止の観点から、河川に面した河川の草刈等の環境整備活動を支援

◆18. 「就学前教育・保育の充実」について、満足度と重要度を教えてください。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからぬ	重要度	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからぬ
-----	----	------	----	------	----	------	-----	----	------	----	---------	------	------

取組の概要 子どもの発達や特性に合わせた質の高い就学前教育・保育の一体的な提供と、保育人材の確保・育成を推進し、子育て期の保護者が安心して仕事や子育てが両立できるよう支援します。

中核的な取組 ・保育所などに通う保護者負担や、おむつ管理に係る保育士負担の軽減による保育の質の向上を目指すため、引き続き、市内保育園等へおむつの無償配布を実施
・保育士の確保に向け職場への定着を図るため、奨学金や就職定着支援金の補助を実施

◆19. 「安心して子育てができる環境づくり」について、満足度と重要度を教えてください。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからぬ	重要度	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからぬ
-----	----	------	----	------	----	------	-----	----	------	----	---------	------	------

取組の概要 安心して子育てができるよう、児童虐待の防止、早期発見・早期対応に努めます。また、ひとり親家庭や経済的困窮家庭、発達支援が必要な子どものいる家庭等への相談・支援を充実させるほか、子育ての経済的負担の軽減や、児童育成クラブの充実と施設の整備を図ります。

中核的な取組 ・定員の超過が予想される小学校区を対象に、児童育成クラブの新規開設の支援を実施
・児童虐待の早期発見や相談体制および関係機関連携を強化
・10月から児童手当の対象年齢を高校生年代まで引上げおよび所得制限の撤廃等を実施

◆20. 「子ども・若者の育成支援」について、満足度と重要度を教えてください。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからぬ	重要度	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからぬ
-----	----	------	----	------	----	------	-----	----	------	----	---------	------	------

取組の概要 教育環境や体験、他者との交流の機会を充実し、子ども・若者の生きる力の育成と社会とのつながりがつくりを支援します。また、教育や福祉等の様々な関係機関や地域、NPOや市民活動団体、企業等と連携し、関係機関や企業ネットワークの構築等により、ひきこもりの困窮を有する子ども・若者や家族への切れ目のない支援を充実します。

中核的な取組 ・青少年育成市民会議と共に「青少年育成大会」「青少年主張発表大会」を開催
・少年センター・あすく草津での、青少年とその家族への相談支援及び街頭啓発活動
・子ども・若者とその家族を対象とした「子ども・若者総合相談窓口」での相談支援

◆21. 「いきいきとした高齢社会の実現」について、満足度と重要度を教えてください。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからぬ	重要度	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからぬ
-----	----	------	----	------	----	------	-----	----	------	----	---------	------	------

取組の概要 いきいきとした高齢社会の実現のため、健康寿命の延伸に向け、高齢者の健康づくりや介護予防の取組を推進するとともに、教育やボランティア活動、コミュニティ活動など高齢者の社会参加を促進する取組を進めます。

中核的な取組 ・シルバー人材センターの運営や地域サロン、老人クラブの活動に補助金を交付
・地域でスポーツを通じた介護予防、草津市立プールを活用した介護予防教室を実施
・長寿の輝くハコ、なごみの郷の運営による多世代交流や生きがいづくりの促進

◆27. 「暮らしの安心の確保」について、満足度と重要度を教えてください。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからぬ	重要度	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからぬ
-----	----	------	----	------	----	------	-----	----	------	----	---------	------	------

取組の概要 暮らしの安心の確保のため、市民生活の様々な不安や悩みに受け止めるとともに、生活衛生の向上のための各種の取組を行います。

中核的な取組 ・市民が安心して生活できるよう、暮らしの困りごと相談を実施
・消費者トラブルに関する相談、被害防止のための情報提供や消費者教育・啓発を実施
・草津市行政事務組合が実施する新火葬場整備に向けた取組を策定し連携して支援

◆28. 「犯罪のないまちづくり」について、満足度と重要度を教えてください。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからぬ	重要度	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからぬ
-----	----	------	----	------	----	------	-----	----	------	----	---------	------	------

取組の概要 犯罪が発生しにくい環境を整える取組として、地域防犯活動の展開を充実させながら市民の防犯意識の高揚を図り、犯罪のないまちづくりを進めます。

中核的な取組 ・県内最多防犯カメラ350台の運用と警察連携協力による子どもや女性への犯罪抑止
・地域への防犯カメラ、防犯灯設置の補助および市による防犯灯や設置
・警察と連携した特殊詐欺、窃盗対策などの出前講座、街頭啓発、パトロールを実施

◆29. 「良好な環境の保全と創出」について、満足度と重要度を教えてください。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからぬ	重要度	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからぬ
-----	----	------	----	------	----	------	-----	----	------	----	---------	------	------

取組の概要 環境施策の多面的な広がりやつながりを推進するため、今ある地域資源を保全・活用し、環境の創出だけでなく、環境・経済・社会の統合的な向上を図ります。自然環境の保全や公害対策等の施策を多様な主体と協働で推進します。また、環境について学び・活動する地域社会づくりを進めます。

中核的な取組 ・将来を担う子どもと大人が環境について話し合う「草津市子ども環境会議」を開催
・公害の未然防止のため、事業所等に対し環境基準遵守の指導・啓発などを実施
・自然環境の保全のため、自然環境保全地区助成金を交付

◆30. 「脱炭素社会への転換」について、満足度と重要度を教えてください。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからぬ	重要度	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからぬ
-----	----	------	----	------	----	------	-----	----	------	----	---------	------	------

取組の概要 脱炭素社会への転換を図るため、市民・団体・事業者とともに省エネルギー対策、再生可能エネルギーの利用ならびに気候変動の影響による被害を防止・軽減するための適応策を推進します。

中核的な取組 ・家庭用太陽光発電等の設置や節電啓発等に対する補助金による支援を実施
・環境に配慮した行動等に対して商品等と交換できるポイントを付与する事業を実施
・子どもたちが地球温暖化対策をあらわしたエコ新聞をポスター等で募集し発表

◆31. 「資源循環型社会の構築」について、満足度と重要度を教えてください。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからぬ	重要度	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからぬ
-----	----	------	----	------	----	------	-----	----	------	----	---------	------	------

取組の概要 資源循環型社会の構築を図るため、ごみの発生抑制(リデュース)・再使用(リユース)・資源化(リサイクル)を進めます。

中核的な取組 ・生ごみの減量のため、生ごみ処理費用削減費補助金の予算を増額
・クリーンセンターの見学の受け入れや各種イベントでの啓発などによる3Rの推進
・ごみの不法投棄や抜き取り防止のため、パトロールの回数を増加

◆32.「公共交通ネットワークの構築」について、満足度と重要度をおたずねします。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからぬ	重要度	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからぬ
-----	----	------	----	------	----	------	-----	----	------	----	---------	------	------

取組の概要 誰もがいつでも安心して移動できる交通まちづくりの実現のため、市民（地域）・事業者等一行が連携し、効率的かつ効果的な利便性の高い持続可能な公共交通ネットワークの形成を目指します。

中核的取組と主要取組 ・まちの入り、くるとバス等の駅周辺のサービス充実と利便性向上を図るため、10月から(1)交通系ICカード等によるキャッシュレス決済を導入(2)運行ダイヤ・ルートやリアルタイムの運行状況等がWebで確認できるシステムを導入

◆33.「交通安全対策の推進」について、満足度と重要度をおたずねします。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからぬ	重要度	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからぬ
-----	----	------	----	------	----	------	-----	----	------	----	---------	------	------

取組の概要 交通事故のない安全で安心なまちを形成するため、市民一人ひとりの交通安全に対する意識の高揚を図るとともに、交通安全教育や啓発を充実させるなど、交通安全対策に取り組めます。

中核的取組と主要取組 ・幼少期における交通安全意識を高めるため、交通指導員による交通安全教室を開催・自転車の安全で安心な利用の促進とマナーに対する意識を高めるため、自転車安全利用指導員による街頭指導・啓発、防犯診断の実施や自転車安全利用教室を開催

◆34.「安全・安心な道路の整備」について、満足度と重要度をおたずねします。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからぬ	重要度	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからぬ
-----	----	------	----	------	----	------	-----	----	------	----	---------	------	------

取組の概要 広域主要幹線道路から生活道路、歩道、自転車道まで、誰もが安全で快適に移動できるように安全安心なまちづくりの一環として、道路の整備を計画的に進めるとともに、道路施設の適切な維持管理に努めます。

中核的取組と主要取組 ・カラー舗装や歩道の拡張、段差解消等により、歩道の安全性を向上・舗装や側溝などの修繕、浸水対策により、道路の安全性を向上・市の幹線道路や区道などが通る幹線道路の整備に向け、関係機関協議により事業を推進

◆35.「水の安定供給」について、満足度と重要度をおたずねします。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからぬ	重要度	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからぬ
-----	----	------	----	------	----	------	-----	----	------	----	---------	------	------

取組の概要 安全で安定した水を供給するため、上水道施設の計画的な更新・災害対策や適切な維持管理を行うとともに、経営基盤の強化など、将来にわたり安定的で持続可能な水道事業の運営を図ります。

中核的取組と主要取組 ・浄水場の適切な維持管理により安全で安定した水を供給・災害対策のため、浄水場の耐震化・浸水対策、管路の耐震化・計画的な更新を実施・健全経営を行うため、水道料金の10%還元（引き下げ）を実施

◆36.「下水道の安定運営」について、満足度と重要度をおたずねします。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからぬ	重要度	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからぬ
-----	----	------	----	------	----	------	-----	----	------	----	---------	------	------

取組の概要 快適な生活環境を保全するため、下水道施設の計画的な更新・災害対策や適切な維持管理を行うとともに、経営基盤の強化など、将来にわたり安定的で持続可能な下水道事業の運営を図ります。

中核的取組と主要取組 ・適切な維持管理のため、管路のカメラ調査を実施・計画的な施設管理のため、マンホールポンプの更新工事を実施・災害発生時の下水道機能確保のため、管路の耐震対策工事を実施

◆42.「観光の振興」について、満足度と重要度をおたずねします。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからぬ	重要度	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからぬ
-----	----	------	----	------	----	------	-----	----	------	----	---------	------	------

取組の概要 地域観光を活性化させるため、観光事業者、関係機関、関係団体等と連携して、日本遺産などの歴史・文化、産業、自然等の観光資源の発掘・磨き上げや魅力の発信などを行います。

中核的取組と主要取組 ・「街歩きツアー」、「イオンマラソンフェス」等のイベントの開催を支援・観光ボランティアガイドと連携した「取組推進」の観光案内所の運営・(一社)草津市観光産業協会の活動を支援

◆43.「勤労者福祉の向上」について、満足度と重要度をおたずねします。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからぬ	重要度	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからぬ
-----	----	------	----	------	----	------	-----	----	------	----	---------	------	------

取組の概要 勤労者福祉の向上を図るため、行政・事業者等・勤労者がそれぞれの役割を担いながら、ともによりよい労働環境づくりに向けた取組を促進します。

中核的取組と主要取組 ・勤労者福祉の向上を図るため、行政・事業者等・勤労者がそれぞれの役割を担いながら、ともによりよい労働環境づくりに向けた取組を促進します。・勤労者福祉の向上を図るため、勤労者福祉団体が実施する福利厚生事業（視察活動、交流事業助成など）を支援

◆44.「都市と住環境の質・魅力向上」について、満足度と重要度をおたずねします。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからぬ	重要度	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからぬ
-----	----	------	----	------	----	------	-----	----	------	----	---------	------	------

取組の概要 人口減少や高齢化が進行する将来においても持続可能な都市構造を実現、維持するため、地域特性に応じた土地利用や建物の適切な誘導を図ることで、都市と住環境の質や魅力を守り、高めます。

中核的取組と主要取組 ・開発申請等に対して審査や指導を行うことで、適切な土地利用を誘導・法令に基づく確認・検査の実施や認定制度の活用により、良質な住宅の普及を促進・「草津市空き家対策計画」に基づき、空き家の発生抑制や適正管理、利活用を促進

◆45.「まちなかの魅力向上と地域再生の推進」について、満足度と重要度をおたずねします。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからぬ	重要度	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからぬ
-----	----	------	----	------	----	------	-----	----	------	----	---------	------	------

取組の概要 「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の考え方に基づき、JR草津駅・南草津駅周辺地区を核として広がる「まちなか」の整備の促進や活性化とともに、郊外部における持続可能なまちを構築するため、まちなかの魅力向上と地域再生を推進します。

中核的取組と主要取組 ・草津駅周辺の未利用ビルを市民とのワークショップ等を通じて策定・草津パークランドエリアと連携した旧製鉄所跡地エリア活性化基本構想を推進・市街化調整区域における生活環境などを守るため「草津市市街地再生計画」を推進

◆46.「良好な景観の保全と創出」について、満足度と重要度をおたずねします。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからぬ	重要度	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからぬ
-----	----	------	----	------	----	------	-----	----	------	----	---------	------	------

取組の概要 うらおいと広がりのある自然景観や暮らしの中で育まれた歴史景観の保全と活用、にぎやかな心地よさを感じる都市景観の創出を目指し、市民・事業者と協働の景観まちづくりを進めます。

中核的取組と主要取組 ・東海道統一案内看板の普及に向けた市内外へのPR活動の実施・景観法に基づく届出・検査の実施などにより、良好な都市景観の形成を促進・屋外広告物の適正化に向けて、市民や事業者へ周知啓発を実施

◆37.「農業の振興」について、満足度と重要度をおたずねします。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからぬ	重要度	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからぬ
-----	----	------	----	------	----	------	-----	----	------	----	---------	------	------

取組の概要 持続可能な農業経営を促すとともに、市民生活に豊かな味わいをもたらす「農」のあるまちづくりを進めます。

中核的取組と主要取組 ・優良農地の保全や草津山寺基礎整備事業（農地の整備等）の推進・経営所得安定対策や担い手育成事業等を活用して農業経営を支援・草津ブランドをはじめとした草津市産農産物のPRを実施

◆38.「水産物の振興」について、満足度と重要度をおたずねします。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからぬ	重要度	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからぬ
-----	----	------	----	------	----	------	-----	----	------	----	---------	------	------

取組の概要 漁業環境の保全・確保を図るとともに、漁港や水産を資源とした多面的機能の利活用を図ります。

中核的取組と主要取組 ・水産への関心を持ってもらうための水産まつりを開催し、ニジマスのかみどりや稚魚放流体験のほか、外来魚問題への意識向上のための外来魚釣り大会を実施・水産の除去やヨシ等の保全活動など、漁港や水産の多面的機能の発揮を支援

◆39.「中心市街地の活性化」について、満足度と重要度をおたずねします。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからぬ	重要度	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからぬ
-----	----	------	----	------	----	------	-----	----	------	----	---------	------	------

取組の概要 中心市街地の活性化と都市の魅力向上のため、「草津市中心市街地活性化基本計画」に基づき事業を推進します。

中核的取組と主要取組 ・周辺商業施設と連携した草津マイルミ（イルミネーション事業）の開催・n i w a等の公共空間に魅力ある店舗を誘致する取組・空き家、空き店舗への新規出店者を支援する取組

◆40.「商業の振興」について、満足度と重要度をおたずねします。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからぬ	重要度	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからぬ
-----	----	------	----	------	----	------	-----	----	------	----	---------	------	------

取組の概要 地域商業を活性化させるため、関係団体と連携して、商業基盤の強化を図ります。

中核的取組と主要取組 ・「みなくさまつり」、「くさつあかりフェスタ」等のイベントの開催を支援・草津商工会議所や草津市商店街連盟などの活動を支援・草津ブランド認証商品のSNSでの認知活動や新たな商品の発信などを支援

◆41.「工業の振興」について、満足度と重要度をおたずねします。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからぬ	重要度	思う	やや思う	普通	あまり思わない	思わない	わからぬ
-----	----	------	----	------	----	------	-----	----	------	----	---------	------	------

取組の概要 工業振興を促進するため、立地環境の優位性を生かし、企業の集積を図るとともに、就業機会の創出や産業を推進します。

中核的取組と主要取組 ・創業者等に向けた「くさつビズサガ」による専門家相談や創業者セミナー等を実施・工場等の設備投資に対する税制支援やスタートアップ企業等への活動支援を実施・新たな産業用地創出に向けた可能性調査（候補地検討、アンケート調査等）を実施

草津市における買物弱者の実態に関する調査研究報告書

2026 (令和 8)年 3 月 発行

草津市 草津未来研究所

〒525-8588 滋賀県草津市草津三丁目 13 番 30 号

TEL 077-561-6009 FAX 077-561-2489

E-Mail [kusatumirai@city.kusatsu.lg.jp](mailto:kusatsumirai@city.kusatsu.lg.jp)